

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7389160号
(P7389160)

(45)発行日 令和5年11月29日(2023.11.29)

(24)登録日 令和5年11月20日(2023.11.20)

(51)国際特許分類

F I

A 6 3 F	13/69 (2014.01)	A 6 3 F	13/69
A 6 3 F	13/79 (2014.01)	A 6 3 F	13/79
A 6 3 F	13/46 (2014.01)	A 6 3 F	13/46

請求項の数 4 (全96頁)

(21)出願番号	特願2022-53832(P2022-53832)	(73)特許権者	511249637 株式会社C y g a m e s 東京都渋谷区南平台町16番17号
(22)出願日	令和4年3月29日(2022.3.29)	(74)代理人	110000936 弁理士法人青海国際特許事務所
(65)公開番号	特開2023-146584(P2023-146584 A)	(72)発明者	黒田 敏男 東京都渋谷区南平台町16番17号
(43)公開日	令和5年10月12日(2023.10.12)	(72)発明者	磯嶋 光春 東京都渋谷区南平台町16番17号
審査請求日	令和4年7月4日(2022.7.4)	(72)発明者	高橋 玲央 東京都渋谷区南平台町16番17号
早期審査対象出願		審査官	相川 俊
前置審査			

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 情報処理プログラム、情報処理方法および情報処理システム

(57)【特許請求の範囲】**【請求項1】**

所定ゲームで使用され、複数のキャラクタのうちのいずれかが紐付けられ、かつ、前記所定ゲーム中にもたらされる効用が紐付けられたゲーム媒体のうち、予め設定された所持条件が成立した前記ゲーム媒体に対して、所持情報を紐付ける処理と、
 前記所定ゲームのうち、いずれかの前記ゲーム媒体が特定ゲーム媒体として設定される対象ゲームで使用する前記ゲーム媒体を、プレイヤの操作に基づいて、使用ゲーム媒体として設定する処理、および、前記対象ゲーム中に、前記使用ゲーム媒体に紐付けられた前記効用をもたらす処理を含む、前記対象ゲームを実行する処理と、
 前記使用ゲーム媒体として設定されているか否かに拘わらず、前記対象ゲームの前記特定ゲーム媒体に設定され、かつ、前記所持情報が紐付けられた前記ゲーム媒体を対象ゲーム媒体として抽出する処理と、

抽出された前記対象ゲーム媒体に基づいて適用効果値を決定する処理と、

前記対象ゲームの終了に伴い、前記適用効果値に基づいてプレイヤに報酬を付与する処理と、

をコンピュータに遂行させ、

複数の前記キャラクタには、前記対象ゲームの特定キャラクタに設定されているキャラクタが複数含まれ、

前記特定ゲーム媒体は、前記対象ゲームの前記特定キャラクタが紐付けられた前記ゲーム媒体であり、

前記特定ゲーム媒体に設定されている前記ゲーム媒体には、それぞれ効果値が設定され、前記対象ゲーム媒体を抽出する処理は、

前記特定キャラクタごとに前記対象ゲーム媒体を抽出し、

前記対象ゲームの前記特定ゲーム媒体に設定されており、同一の前記特定キャラクタが紐付けられ、かつ、前記所持情報が紐付けられた前記ゲーム媒体が複数ある場合、同一の前記特定キャラクタが紐付けられた複数の前記ゲーム媒体のうち、最も有利な前記効果値が設定されている1の前記ゲーム媒体を前記対象ゲーム媒体として抽出し、

前記適用効果値を決定する処理は、

前記特定キャラクタごとに抽出された前記対象ゲーム媒体に設定されている前記効果値に基づいて、前記適用効果値を決定する、

情報処理プログラム。

【請求項2】

前記ゲーム媒体は、第1種別および第2種別を含む複数の種別のいずれかに分類され、

前記ゲーム媒体をプレイヤの操作に基づいて設定する処理は、

前記第1種別および前記第2種別それぞれの前記ゲーム媒体を、プレイヤの操作に基づいて設定する、

請求項1に記載の情報処理プログラム。

【請求項3】

1または複数のコンピュータが遂行する情報処理方法であって、

前記コンピュータが、

所定ゲームで使用され、複数のキャラクタのうちのいずれかが紐付けられ、かつ、前記所定ゲーム中にもたらされる効用が紐付けられたゲーム媒体のうち、予め設定された所持条件が成立した前記ゲーム媒体に対して、所持情報を紐付ける処理と、

前記所定ゲームのうち、いずれかの前記ゲーム媒体が特定ゲーム媒体として設定される対象ゲームで使用する前記ゲーム媒体を、プレイヤの操作に基づいて、使用ゲーム媒体として設定する処理、および、前記対象ゲーム中に、前記使用ゲーム媒体に紐付けられた前記効用をもたらす処理を含む、前記対象ゲームを実行する処理と、

前記使用ゲーム媒体として設定されているか否かに拘わらず、前記対象ゲームの前記特定ゲーム媒体に設定され、かつ、前記所持情報が紐付けられた前記ゲーム媒体を対象ゲーム媒体として抽出する処理と、

抽出された前記対象ゲーム媒体に基づいて適用効果値を決定する処理と、

前記対象ゲームの終了に伴い、前記適用効果値に基づいてプレイヤに報酬を付与する処理と、

を遂行し、

複数の前記キャラクタには、前記対象ゲームの特定キャラクタに設定されているキャラクタが複数含まれ、

前記特定ゲーム媒体は、前記対象ゲームの前記特定キャラクタが紐付けられた前記ゲーム媒体であり、

前記特定ゲーム媒体に設定されている前記ゲーム媒体には、それぞれ効果値が設定され、前記対象ゲーム媒体を抽出する処理は、

前記特定キャラクタごとに前記対象ゲーム媒体を抽出し、

前記対象ゲームの前記特定ゲーム媒体に設定されており、同一の前記特定キャラクタが紐付けられ、かつ、前記所持情報が紐付けられた前記ゲーム媒体が複数ある場合、同一の前記特定キャラクタが紐付けられた複数の前記ゲーム媒体のうち、最も有利な前記効果値が設定されている1の前記ゲーム媒体を前記対象ゲーム媒体として抽出し、

前記適用効果値を決定する処理は、

前記特定キャラクタごとに抽出された前記対象ゲーム媒体に設定されている前記効果値に基づいて、前記適用効果値を決定する、

情報処理方法。

【請求項4】

10

20

30

40

50

1または複数のコンピュータを備え、
前記コンピュータが、

所定ゲームで使用され、複数のキャラクタのうちのいずれかが紐付けられ、かつ、前記所定ゲーム中にもたらされる効用が紐付けられたゲーム媒体のうち、予め設定された所持条件が成立した前記ゲーム媒体に対して、所持情報を紐付ける処理と、
前記所定ゲームのうち、いずれかの前記ゲーム媒体が特定ゲーム媒体として設定される対象ゲームで使用する前記ゲーム媒体を、プレイヤの操作に基づいて、使用ゲーム媒体として設定する処理、および、前記対象ゲーム中に、前記使用ゲーム媒体に紐付けられた前記効用をもたらす処理を含む、前記対象ゲームを実行する処理と、

前記使用ゲーム媒体として設定されているか否かに拘わらず、前記対象ゲームの前記特定ゲーム媒体に設定され、かつ、前記所持情報が紐付けられた前記ゲーム媒体を対象ゲーム媒体として抽出する処理と、

抽出された前記対象ゲーム媒体に基づいて適用効果値を決定する処理と、

前記対象ゲームの終了に伴い、前記適用効果値に基づいてプレイヤに報酬を付与する処理と、
を遂行し、

複数の前記キャラクタには、前記対象ゲームの特定キャラクタに設定されているキャラクタが複数含まれ、

前記特定ゲーム媒体は、前記対象ゲームの前記特定キャラクタが紐付けられた前記ゲーム媒体であり、

前記特定ゲーム媒体に設定されている前記ゲーム媒体には、それぞれ効果値が設定され、
前記対象ゲーム媒体を抽出する処理は、

前記特定キャラクタごとに前記対象ゲーム媒体を抽出し、

前記対象ゲームの前記特定ゲーム媒体に設定されており、同一の前記特定キャラクタが紐付けられ、かつ、前記所持情報が紐付けられた前記ゲーム媒体が複数ある場合、同一の前記特定キャラクタが紐付けられた複数の前記ゲーム媒体のうち、最も有利な前記効果値が設定されている1の前記ゲーム媒体を前記対象ゲーム媒体として抽出し、

前記適用効果値を決定する処理は、

前記特定キャラクタごとに抽出された前記対象ゲーム媒体に設定されている前記効果値に基づいて、前記適用効果値を決定する、

情報処理システム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、情報処理プログラム、情報処理方法および情報処理システムに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、例えば非特許文献1に示される育成ゲームが知られている。育成ゲームでは、プレイヤが選択した育成対象キャラクタが育成可能となる。また、プレイヤは、育成ゲームの開始時に、サポートカードをデッキに編成することができる。デッキに編成されたサポートカードにより、プレイヤは、育成対象キャラクタの育成を有利に進めることができる。

【0003】

また、非特許文献1に開示される育成ゲームでは、期間限定のイベントが開催される。イベントの開催中、プレイヤは、育成ゲームをプレイすることでイベントポイントを獲得することができる。獲得したイベントポイントの累計値によって、アイテム等の報酬がプレイヤに付与される。

【0004】

また、イベントでは、複数のキャラクタが特効キャラクタに設定される。育成対象キャラクタや、デッキに編成されたサポートカードが、特効キャラクタに対応している場合、ボーナスポイントが算出される。ボーナスポイントにより、1回の育成ゲームでプレイヤ

10

20

30

40

50

に付与されるイベントポイントが増加する。

【先行技術文献】

【非特許文献】

【0005】

【文献】おろぶろぐ [令和3年11月2日掲載], インターネット URL : <https://www.orooroktgameblog.net/entry/2021/11/02/052522>

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

上記の育成ゲームでは、イベントの開催中、より多くのイベントポイントを短期間で獲得するために、プレイヤは、多数の特効キャラクタをデッキに編成しなければならない。そのため、プレイヤの選択肢が狭まり、ゲームをプレイする意欲が低下するという課題がある。

【0007】

本発明は、プレイヤのプレイ意欲を向上することができる情報処理プログラム、情報処理方法および情報処理システムを提供することを目的としている。

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記課題を解決するために、情報処理プログラムは、
所定ゲームで使用され、複数のキャラクタのうちのいずれかが紐付けられ、かつ、前記所定ゲーム中にもたらされる効用が紐付けられたゲーム媒体のうち、予め設定された所持条件が成立した前記ゲーム媒体に対して、所持情報を紐付ける処理と、
前記所定ゲームのうち、いずれかの前記ゲーム媒体が特定ゲーム媒体として設定される対象ゲームで使用する前記ゲーム媒体を、プレイヤの操作に基づいて、使用ゲーム媒体として設定する処理、および、前記対象ゲーム中に、前記使用ゲーム媒体に紐付けられた前記効用をもたらす処理を含む、前記対象ゲームを実行する処理と、
前記使用ゲーム媒体として設定されているか否かに拘わらず、前記対象ゲームの前記特定ゲーム媒体に設定され、かつ、前記所持情報が紐付けられた前記ゲーム媒体を対象ゲーム媒体として抽出する処理と、

抽出された前記対象ゲーム媒体に基づいて適用効果値を決定する処理と、

前記対象ゲームの終了に伴い、前記適用効果値に基づいてプレイヤに報酬を付与する処理と、

をコンピュータに遂行させ、

複数の前記キャラクタには、前記対象ゲームの特定キャラクタに設定されているキャラクタが複数含まれ、

前記特定ゲーム媒体は、前記対象ゲームの前記特定キャラクタが紐付けられた前記ゲーム媒体であり、

前記特定ゲーム媒体に設定されている前記ゲーム媒体には、それぞれ効果値が設定され、前記対象ゲーム媒体を抽出する処理は、

前記特定キャラクタごとに前記対象ゲーム媒体を抽出し、

前記対象ゲームの前記特定ゲーム媒体に設定されており、同一の前記特定キャラクタが紐付けられ、かつ、前記所持情報が紐付けられた前記ゲーム媒体が複数ある場合、同一の前記特定キャラクタが紐付けられた複数の前記ゲーム媒体のうち、最も有利な前記効果値が設定されている1の前記ゲーム媒体を前記対象ゲーム媒体として抽出し、

前記適用効果値を決定する処理は、

前記特定キャラクタごとに抽出された前記対象ゲーム媒体に設定されている前記効果値に基づいて、前記適用効果値を決定する。

【0010】

また、前記ゲーム媒体は、第1種別および第2種別を含む複数の種別のいずれかに分類され、

10

20

30

40

50

前記ゲーム媒体をプレイヤの操作に基づいて設定する処理は、
前記第1種別および前記第2種別それぞれの前記ゲーム媒体を、プレイヤの操作に基づいて設定してもよい。

【0011】

上記課題を解決するために、情報処理方法は、

1または複数のコンピュータが遂行する情報処理方法であって、

前記コンピュータが、

所定ゲームで使用され、複数のキャラクタのうちのいずれかが紐付けられ、かつ、前記所定ゲーム中にもたらされる効用が紐付けられたゲーム媒体のうち、予め設定された所持条件が成立した前記ゲーム媒体に対して、所持情報を紐付ける処理と、

10

前記所定ゲームのうち、いずれかの前記ゲーム媒体が特定ゲーム媒体として設定される対象ゲームで使用する前記ゲーム媒体を、プレイヤの操作に基づいて、使用ゲーム媒体として設定する処理、および、前記対象ゲーム中に、前記使用ゲーム媒体に紐付けられた前記効用をもたらす処理を含む、前記対象ゲームを実行する処理と、

前記使用ゲーム媒体として設定されているか否かに拘わらず、前記対象ゲームの前記特定ゲーム媒体に設定され、かつ、前記所持情報が紐付けられた前記ゲーム媒体を対象ゲーム媒体として抽出する処理と、

抽出された前記対象ゲーム媒体に基づいて適用効果値を決定する処理と、

前記対象ゲームの終了に伴い、前記適用効果値に基づいてプレイヤに報酬を付与する処理と、

20

を遂行し、

複数の前記キャラクタには、前記対象ゲームの特定キャラクタに設定されているキャラクタが複数含まれ、

前記特定ゲーム媒体は、前記対象ゲームの前記特定キャラクタが紐付けられた前記ゲーム媒体であり、

前記特定ゲーム媒体に設定されている前記ゲーム媒体には、それぞれ効果値が設定され、前記対象ゲーム媒体を抽出する処理は、

前記特定キャラクタごとに前記対象ゲーム媒体を抽出し、

前記対象ゲームの前記特定ゲーム媒体に設定されており、同一の前記特定キャラクタが紐付けられ、かつ、前記所持情報が紐付けられた前記ゲーム媒体が複数ある場合、同一の前記特定キャラクタが紐付けられた複数の前記ゲーム媒体のうち、最も有利な前記効果値が設定されている1の前記ゲーム媒体を前記対象ゲーム媒体として抽出し、

30

前記適用効果値を決定する処理は、

前記特定キャラクタごとに抽出された前記対象ゲーム媒体に設定されている前記効果値に基づいて、前記適用効果値を決定する。

【0012】

上記課題を解決するために、情報処理システムは、

1または複数のコンピュータを備え、

前記コンピュータが、

所定ゲームで使用され、複数のキャラクタのうちのいずれかが紐付けられ、かつ、前記所定ゲーム中にもたらされる効用が紐付けられたゲーム媒体のうち、予め設定された所持条件が成立した前記ゲーム媒体に対して、所持情報を紐付ける処理と、

40

前記所定ゲームのうち、いずれかの前記ゲーム媒体が特定ゲーム媒体として設定される対象ゲームで使用する前記ゲーム媒体を、プレイヤの操作に基づいて、使用ゲーム媒体として設定する処理、および、前記対象ゲーム中に、前記使用ゲーム媒体に紐付けられた前記効用をもたらす処理を含む、前記対象ゲームを実行する処理と、

前記使用ゲーム媒体として設定されているか否かに拘わらず、前記対象ゲームの前記特定ゲーム媒体に設定され、かつ、前記所持情報が紐付けられた前記ゲーム媒体を対象ゲーム媒体として抽出する処理と、

抽出された前記対象ゲーム媒体に基づいて適用効果値を決定する処理と、

50

前記対象ゲームの終了に伴い、前記適用効果値に基づいてプレイヤに報酬を付与する処理と、

を遂行し、

複数の前記キャラクタには、前記対象ゲームの特定キャラクタに設定されているキャラクタが複数含まれ、

前記特定ゲーム媒体は、前記対象ゲームの前記特定キャラクタが紐付けられた前記ゲーム媒体であり、

前記特定ゲーム媒体に設定されている前記ゲーム媒体には、それぞれ効果値が設定され、前記対象ゲーム媒体を抽出する処理は、

前記特定キャラクタごとに前記対象ゲーム媒体を抽出し、

前記対象ゲームの前記特定ゲーム媒体に設定されており、同一の前記特定キャラクタが紐付けられ、かつ、前記所持情報が紐付けられた前記ゲーム媒体が複数ある場合、同一の前記特定キャラクタが紐付けられた複数の前記ゲーム媒体のうち、最も有利な前記効果値が設定されている1の前記ゲーム媒体を前記対象ゲーム媒体として抽出し、

前記適用効果値を決定する処理は、

前記特定キャラクタごとに抽出された前記対象ゲーム媒体に設定されている前記効果値に基づいて、前記適用効果値を決定する。

【発明の効果】

【0013】

本発明によれば、プレイヤのプレイ意欲を向上することができる。

10

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図1】図1は、情報処理システムの概略的な構成を示した説明図である。

【図2】図2Aは、プレイヤ端末のハードウェアの構成を説明する図である。図2Bは、サーバのハードウェアの構成を説明する図である。

【図3】図3Aは、ホーム画面の一例を説明する図である。図3Bは、オプション設定画面の一例を説明する図である。図3Cは、プロフィール設定画面の一例を説明する図である。図3Dは、ホーム設定画面の一例を説明する図である。

【図4】図4は、育成ゲームのおおまかな進行の流れを説明するための図である。

【図5】図5Aは、育成対象キャラクタ選択画面を説明する図である。図5Bは、キャラクタ詳細画面を説明する第1の図である。図5Cは、キャラクタ詳細画面を説明する第2の図である。

20

【図6】図6Aは、能力パラメータ(初期値)テーブルを説明する図である。図6Bは、適性パラメータ(初期値)テーブルを説明する図である。図6Cは、スキルテーブルを説明する図である。図6Dは、キャラクタ所持イベントテーブルを説明する図である。

【図7】図7Aは、継承キャラクタ選択画面を説明する第1の図である。図7Bは、育成キャラクター覧画面を説明する第1の図である。図7Cは、継承キャラクタ選択画面を説明する第2の図である。図7Dは、継承キャラクタ選択画面を説明する第3の図である。

【図8】図8は、継承の系統を説明する図である。

【図9】図9は、因子情報を説明する図である。

30

【図10】図10Aは、相性の判定対象を説明する図であり、図10Bは、相性の判定項目を説明する図である。

【図11】図11Aは、ソート条件を説明する図である。図11Bは、絞り込み条件を説明する図である。

【図12】図12は、キャラクタ詳細ダイアログを説明する第1の図である。

【図13】図13は、キャラクタ詳細ダイアログを説明する第2の図である。

【図14】図14は、キャラクタ詳細ダイアログを説明する第3の図である。

【図15】図15は、スキル表示ダイアログを説明する図である。

【図16】図16Aは、サポートカード編成画面を説明する第1の図である。図16Bは、サポートカード選択画面を説明する図である。図16Cは、サポートカード編成画面を

40

50

説明する第2の図である。

【図17】図17Aは、サポートカードテーブルを説明する図である。図17Bは、サポート効果テーブルを説明する図である。図17Cは、所持スキルテーブルを説明する図である。図17Dは、サポートイベントテーブルを説明する図である。

【図18】図18Aは、最終確認画面を説明する図である。図18Bは、プリセット選択画面を説明する図である。

【図19】図19は、選択項目テーブルを説明する図である。

【図20】図20Aは、ゲーム画面を説明する図である。図20Bは、特別レース画面を説明する図である。

【図21】図21Aは、トレーニング画面を説明する第1の図である。図21Bは、トレーニング画面を説明する第2の図である。図21Cは、トレーニング結果報知画面を説明する図である。図21Dは、イベント画面を説明する図である。10

【図22】図22Aは、継承イベントを説明する第1の図である。図22Bは、継承イベントを説明する第2の図である。図22Cは、継承イベントを説明する第3の図である。図22Dは、継承イベントを説明する第4の図である。

【図23】図23Aは、スキル画面を説明する第1の図である。図23Bは、スキル画面を説明する第2の図である。

【図24】図24Aは、お出かけ画面を説明する第1の図である。図24Bは、友人お出かけイベント画面を説明する図である。

【図25】図25は、友人お出かけイベントの実行パターンを説明する図である。

【図26】図26Aは、お出かけ画面を説明する第2の図である。図26Bは、お出かけ画面を説明する第3の図である。図26Cは、お出かけ画面を説明する第4の図である。

【図27】図27Aは、所属キャラクタ別イベント画面を説明する第1の図である。図27Bは、所属キャラクタ別イベント画面を説明する第2の図である。図27Cは、全所属キャラクタイベント画面を説明する第1の図である。図27Dは、全所属キャラクタイベント画面を説明する第2の図である。20

【図28】図28は、所属キャラクタ別イベントおよび全所属キャラクタイベントの実行パターンを説明する図である。

【図29】図29Aは、個人レース選択画面を説明する第1の図である。図29Bは、個人レース開始画面を説明する図である。図29Cは、個人レース結果画面を説明する第1の図である。図29Dは、個人レース結果画面を説明する第2の図である。30

【図30】図30は、アイテム交換画面の一例を説明する図である。

【図31】図31は、ターン開始時処理のおおまかな流れを説明する図である。

【図32】図32は、配置有無テーブルを説明する図である。

【図33】図33Aは、トレーニングレベルテーブルを説明する図である。図33Bは、上昇固定値(スピード)テーブルを説明する図である。また、図33Cは、上昇固定値テーブル(パワー)を説明する図である。図33Dは、ボーナス加算率を説明する図である。

【図34】図34は、第2イベントテーブルを説明する図である。

【図35】図35は、グループサポートカードに紐付けられたイベントを説明する図である。40

【図36】図36は、特典ゾーンを説明する図である。

【図37】図37Aは、グループサポートカードの配置キャラクタアイコンを説明する図である。図37Bは、特典演出を説明する図である。

【図38】図38は、配置有無テーブルを説明する図である。

【図39】図39Aは、ゲーム画面におけるライバルキャラクタの配置の報知を説明する図である。図39Bは、個人レース選択画面におけるライバルキャラクタの配置の報知を説明する図である。

【図40】図40Aは、育成完了画面を説明する第1の図である。図40Bは、育成完了画面を説明する第2の図である。図40Cは、育成完了画面を説明する第3の図である。

【図41】図41は、特効情報を説明する図である。50

【図42】図42は、キャラクタカードを説明する図である。

【図43】図43は、サポートカードを説明する図である。

【図44】図44は、キャラクタカードに設定される効果値を説明する図である。

【図45】図45は、サポートカードに設定される効果値を説明する図である。

【図46】図46は、効果値の特定方法を説明する図である。

【図47】図47Aは、期間限定イベント中の最終確認画面を説明する第1の図である。

図47Bは、期間限定イベント中の最終確認画面を説明する第1の図である。

【図48】図48は、ボーナスポイント詳細画面を説明する図である。

【図49】図49は、プレイヤ端末におけるメモリの構成およびコンピュータとしての機能を説明する図である。
10

【図50】図50は、サーバにおけるメモリの構成およびコンピュータとしての機能を説明する図である。

【図51】図51は、育成ゲームに係るプレイヤ端末およびサーバの処理を説明するシーケンス図である。

【図52】図52は、プレイヤ端末における準備段階処理を説明する第1のフローチャートである。

【図53】図53は、プレイヤ端末における準備段階処理を説明する第2のフローチャートである。

【図54】図54は、プレイヤ端末における最終確認画面表示処理を説明するフローチャートである。
20

【図55】図55は、プレイヤ端末における準備段階処理を説明する第3のフローチャートである。

【図56】図56は、サーバにおける育成段階処理を説明するフローチャートである。

【図57】図57は、サーバにおけるターン開始時処理を説明するフローチャートである。

【図58】図58は、サーバにおける友情トレーニング判定処理を説明するフローチャートである。

【図59】図59は、プレイヤ端末における育成段階処理を説明するフローチャートである。

【図60】図60は、プレイヤ端末におけるターン開始時処理を説明するフローチャートである。
30

【図61】図61は、サーバにおけるターン中処理を説明するフローチャートである。

【図62】図62は、サーバにおけるお出かけ選択処理を説明するフローチャートである。

【図63】図63は、サーバにおけるお出かけ関連イベント実行処理を説明するフローチャートである。

【図64】図64は、サーバにおける特典ゾーン設定処理を説明するフローチャートである。

【図65】図65は、プレイヤ端末におけるターン中処理を説明するフローチャートである。

【図66】図66は、サーバにおける育成ゲーム終了処理を説明するフローチャートである。
40

【発明を実施するための形態】

【0015】

以下に添付図面を参照しながら、本発明の実施形態の一様について詳細に説明する。かかる実施形態に示す数値等は、理解を容易とするための例示にすぎず、特に断る場合を除き、本発明を限定するものではない。なお、本明細書および図面において、実質的に同一の機能、構成を有する要素については、同一の符号を付することにより重複説明を省略し、また本発明に直接関係のない要素は図示を省略する。

【0016】

(情報処理システムSの全体の構成)

図1は、情報処理システムSの概略的な構成を示した説明図である。情報処理システム

10

20

30

40

50

Sは、クライアントすなわちゲーム端末として機能するプレイヤ端末1と、サーバ1000と、通信基地局Naを有する通信ネットワークNとを含む、所謂クライアントサーバシステムである。

【0017】

本実施形態の情報処理システムSは、プレイヤ端末1およびサーバ1000がゲーム装置Gとして機能する。プレイヤ端末1およびサーバ1000には、それぞれゲームの進行制御の役割分担がなされており、プレイヤ端末1とサーバ1000との協働によって、ゲームが進行可能となる。

【0018】

プレイヤ端末1は、通信ネットワークNを介してサーバ1000との通信を確立することができる。プレイヤ端末1は、サーバ1000と無線もしくは有線による通信接続が可能な電子機器を広く含む。プレイヤ端末1としては、例えば、スマートフォン、携帯電話、タブレット装置、パーソナルコンピュータ、ゲーム機器等が挙げられる。本実施形態では、プレイヤ端末1として、スマートフォンが用いられる場合について説明する。

10

【0019】

サーバ1000は、複数のプレイヤ端末1と通信接続される。サーバ1000は、ゲームをプレイするプレイヤごとに各種の情報を蓄積する。また、サーバ1000は、主に、プレイヤ端末1から入力される操作に基づき、蓄積された情報の更新や、プレイヤ端末1に対して画像や各種情報をダウンロードさせる等の処理を遂行する。

【0020】

通信基地局Naは、通信ネットワークNと接続され、プレイヤ端末1と無線による情報の送受信を行う。通信ネットワークNは、携帯電話網、インターネット網、LAN(Local Area Network)、専用回線等で構成され、プレイヤ端末1とサーバ1000との無線もしくは有線による通信接続を実現する。

20

【0021】

(プレイヤ端末1およびサーバ1000のハードウェアの構成)

図2Aは、プレイヤ端末1のハードウェアの構成を説明する図である。また、図2Bは、サーバ1000のハードウェアの構成を説明する図である。図2Aに示すように、プレイヤ端末1は、CPU(Central Processing Unit)10、メモリ12、バス14、入出力インターフェース16、記憶部18、通信部20、入力部22、出力部24を含んで構成される。

30

【0022】

また、図2Bに示すように、サーバ1000は、CPU1010、メモリ1012、バス1014、入出力インターフェース1016、記憶部1018、通信部1020、入力部1022、出力部1024を含んで構成される。

【0023】

なお、サーバ1000のCPU1010、メモリ1012、バス1014、入出力インターフェース1016、記憶部1018、通信部1020、入力部1022、出力部1024の構成および機能は、それぞれ、プレイヤ端末1のCPU10、メモリ12、バス14、入出力インターフェース16、記憶部18、通信部20、入力部22、出力部24と実質的に同じである。したがって、以下では、プレイヤ端末1のハードウェアの構成について説明し、サーバ1000については説明を省略する。

40

【0024】

CPU10は、メモリ12に記憶されたプログラムを動作させ、ゲームの進行を制御する。メモリ12は、ROM(Read Only Memory)またはRAM(Random Access Memory)で構成され、ゲームの進行制御に必要となるプログラムおよび各種のデータを記憶する。メモリ12は、バス14を介してCPU10に接続されている。

【0025】

バス14には、入出力インターフェース16が接続される。入出力インターフェース16には、記憶部18、通信部20、入力部22、出力部24が接続されている。

50

【 0 0 2 6 】

記憶部 18 は、DRAM(Dynamic Random Access Memory)等の半導体メモリで構成され、各種プログラムおよびデータを記憶する。プレイヤ端末 1 においては、記憶部 18 に記憶されたプログラムおよびデータが、CPU 10 によってメモリ 12 (RAM) にロードされる。

【 0 0 2 7 】

通信部 20 は、通信基地局 Na と無線により通信接続され、通信ネットワーク N を介して、サーバ 1000 との間で各種データおよびプログラムといった情報の送受信を行う。プレイヤ端末 1 においては、サーバ 1000 から受信したプログラム等が、メモリ 12 または記憶部 18 に格納される。

10

【 0 0 2 8 】

入力部 22 は、例えば、プレイヤの操作が入力される（操作を受け付ける）タッチパネル、ボタン、キーボード、マウス、十字キー、アナログコントローラ等で構成される。また、入力部 22 は、プレイヤ端末 1 に設けられた、あるいは、プレイヤ端末 1 に接続（外付け）された専用のコントローラであってもよい。さらには、入力部 22 は、プレイヤ端末 1 の傾きや移動を検知する加速度センサ、または、プレイヤの音声を検知するマイクで構成されてもよい。すなわち、入力部 22 は、プレイヤの意思を、識別可能に入力させることができる装置を広く含む。

【 0 0 2 9 】

出力部 24 は、ディスプレイ装置およびスピーカを含んで構成される。なお、出力部 24 は、プレイヤ端末 1 に接続（外付け）される機器でもよい。本実施形態では、プレイヤ端末 1 が、出力部 24 としてディスプレイ 26 を備え、入力部 22 として、ディスプレイ 26 に重畠して設けられるタッチパネルを備えている。

20

【 0 0 3 0 】**(ゲーム内容)**

次に、本実施形態の情報処理システム S、ゲーム装置 G により提供されるゲームについて説明する。プレイヤは、所謂ガチャと呼ばれる抽選により獲得したキャラクタカードや、運営側から配布されたキャラクタカードを所持することができる。また、プレイヤは、抽選により獲得したサポートカードや、運営側から配布されたサポートカードを所持することができる。

30

【 0 0 3 1 】

詳しくは後述するが、本実施形態に係るゲームでは、育成ゲームが提供される。プレイヤは、育成ゲームにおいて、プレイヤが所持するキャラクタカードに紐付けられたキャラクタを育成することができる。また、本実施形態における育成ゲームは、キャラクタを、競馬を模したレースに出場させながら育成するといったゲーム性を有している。

【 0 0 3 2 】

図 3A は、ホーム画面 100 の一例を説明する図である。プレイヤ端末 1 においてゲームアプリケーションが起動されると、ディスプレイ 26 にホーム画面 100 が表示される。ホーム画面 100 の下部には、メニューバー 102 が表示される。メニューバー 102 には、プレイヤが操作（タップ）可能な複数の操作部が設けられている。

40

【 0 0 3 3 】

ここでは、メニューバー 102 に、ホーム画面選択操作部 102a、強化画面選択操作部 102b、ストーリ画面選択操作部 102c、レースゲーム選択操作部 102d、ガチャ画面選択操作部 102e が設けられている。なお、メニューバー 102 においては、ディスプレイ 26 に表示中の画面が識別できるように、表示中の画面に対応する操作部が強調表示される。

【 0 0 3 4 】

ホーム画面選択操作部 102a がタップされると、図 3A に示すホーム画面 100 がディスプレイ 26 に表示される。

【 0 0 3 5 】

50

強化画面選択操作部 102b がタップされると、不図示の強化画面が表示される。強化画面では、プレイヤが所持するキャラクタカードやサポートカードを強化することができる。プレイヤは、キャラクタカードやサポートカードを強化することで、キャラクタカードやサポートカードに設定されているレベルを高めることができる。キャラクタカードおよびサポートカードには、各種のパラメータが設定されており、レベルの上昇によりパラメータが上昇する。キャラクタカードおよびサポートカードのパラメータが上昇することで、プレイヤは、育成ゲームにおいてより強力なステータスを有するキャラクタを育成することが可能となる。

【0036】

ストーリ画面選択操作部 102c がタップされると、不図示のストーリ画面が表示される。ここでは、ゲームに登場するキャラクタごとにストーリ画像が設けられている。プレイヤは、ストーリ画面において、キャラクタおよびストーリ画像を選択して視聴することができる。

10

【0037】

レースゲーム選択操作部 102d がタップされると、不図示のレースゲーム選択画面が表示される。本実施形態では、後述する育成ゲームで育成した育成キャラクタを出走させることができるさまざまなレースゲームが提供される。プレイヤは、レースゲーム選択画面において、育成キャラクタを出走させるレースゲームを選択することができる。レースゲームとしては、複数の育成キャラクタによって編成されたチームと、コンピュータにより選択された他のプレイヤのチームとを対戦させるチーム競技ゲームがある。チーム競技ゲームは、他のプレイヤとランキングを競うゲーム性を有している。

20

【0038】

ガチャ画面選択操作部 102e がタップされると、不図示のガチャ画面が表示される。ガチャ画面において、プレイヤは、ゲーム内通貨を消費して、キャラクタカードやサポートカードを抽選で獲得することができる所謂ガチャ抽選を行うことができる。

【0039】

また、ホーム画面 100において、メニューバー 102 の上方には、育成ゲーム操作部 104 が設けられている。育成ゲーム操作部 104 がタップされると、育成ゲーム画面が表示され、後述する育成ゲームが開始される。育成ゲームは、準備段階と育成段階とに大別され、プレイヤは、まず、準備段階において、自身が所持するキャラクタカードの中から 1 つを選択する。キャラクタカードには、1 体のキャラクタが紐付けられている。キャラクタカードに紐付けられたキャラクタが育成対象キャラクタとして設定される。以下では、キャラクタカード、あるいは、キャラクタカードに紐付けられたキャラクタを、単にキャラクタと呼ぶ場合がある。

30

【0040】

また、プレイヤは、準備段階において、育成対象キャラクタを育成する際に使用するデッキを設定する。デッキは、詳しくは後述する複数の継承キャラクタと、複数のサポートカードとで編成される。したがって、育成ゲームでは、デッキに編成された継承キャラクタ、および、サポートカードが使用される。

40

【0041】

育成対象キャラクタおよびデッキ（継承キャラクタおよびサポートカード）の設定が完了すると、準備段階から育成段階に移行し、育成対象キャラクタを育成するためのゲームが開始される。育成ゲームでは、育成対象キャラクタのパラメータを変化させることができる。育成ゲームで育成を完了した育成対象キャラクタは、育成キャラクタとなる。プレイヤは、複数の育成キャラクタを所持することができる。上記のように、プレイヤは、所持する育成キャラクタをチームに編成し、チーム競技ゲーム等で使用することができる。

【0042】

このように、本実施形態のゲームの主な目的は、育成ゲームによって育成キャラクタを生成すること、および、育成キャラクタを用いてチーム競技ゲームのランキングを高めることである。

50

【 0 0 4 3 】

また、本実施形態では、育成キャラクタまたはサポートカードをプレイヤ間で共有するための機能や、複数のプレイヤ間で情報を共有するための機能を備えている。プレイヤは、他のプレイヤが育成ゲームで使用可能となる育成キャラクタおよびサポートカードを設定することができる。具体的には、図3Aに示すように、ホーム画面100の右上部には、設定操作部106が設けられている。設定操作部106がタップされると、オプション設定画面110が表示される。

【 0 0 4 4 】

図3Bは、オプション設定画面110の一例を説明する図である。オプション設定画面110は、各種の情報を確認、設定することができる画面である。オプション設定画面110には、複数の操作部が設けられており、操作部がタップされると、操作部に対応する情報の確認、設定が可能となる。

10

【 0 0 4 5 】

オプション設定画面110の操作部には、プロフィール設定操作部110aおよびクローズ操作部110bが含まれる。クローズ操作部110bがタップされると、オプション設定画面110が閉じられ、ホーム画面100が表示される。プロフィール設定操作部110aがタップされると、プロフィール設定画面120が表示される。

【 0 0 4 6 】

図3Cは、プロフィール設定画面120の一例を説明する図である。プロフィール設定画面120において、プレイヤは、自身のプロフィール情報を確認、設定することができる。プロフィール情報には、プロフィールキャラクタ、プレイヤ名、プレイヤID、所属サークル、代表キャラクタ、レンタルカードが含まれる。

20

【 0 0 4 7 】

プロフィールキャラクタは、プレイヤの情報が、他のプレイヤによって閲覧される際に表示されるキャラクタとして機能する。例えば、プロフィールキャラクタは、他のプレイヤとの情報共有の場であるサークル機能を使用している際に表示される。プロフィール設定画面120には、現在設定中のプロフィールキャラクタ画像122が表示される。プロフィールキャラクタ画像122の近傍には、変更ボタン124が設けられている。変更ボタン124がタップされると、不図示のプロフィールキャラクタ変更画面が表示される。プレイヤは、プロフィールキャラクタ変更画面において、プロフィールキャラクタを変更することができる。

30

【 0 0 4 8 】

また、プロフィール設定画面120には、プレイヤが設定したプレイヤ名、プレイヤに付与されたプレイヤID、プレイヤが所属しているサークルの名称が表示される。また、プロフィール設定画面120には、代表キャラクタ設定操作部126aおよびレンタルカード設定操作部126bが設けられる。

【 0 0 4 9 】

代表キャラクタ設定操作部126aがタップされると、不図示の代表キャラクタ設定画面が表示される。プレイヤは、代表キャラクタ設定画面において、自身が育成した育成キャラクタの中から、いずれか1つを代表キャラクタとして設定することができる。代表キャラクタ設定操作部126aには、現在設定中の代表キャラクタを示すアイコン画像が表示されている。なお、詳しくは後述するが、代表キャラクタは、他のプレイヤがプレイする育成ゲームにおいて、継承キャラクタとしてデッキに編成可能となる。

40

【 0 0 5 0 】

レンタルカード設定操作部126bがタップされると、不図示のレンタルカード設定画面が表示される。プレイヤは、レンタルカード設定画面において、自身が所持するサポートカードの中から、いずれか1つをレンタルカードとして設定することができる。レンタルカード設定操作部126bには、現在設定中のレンタルカードを示すアイコン画像が表示されている。なお、上記したように、レンタルカードとして設定されているサポートカードは、他のプレイヤがデッキに編成可能となり、他のプレイヤがプレイする育成ゲーム

50

で使用される。

【0051】

なお、詳しい説明は省略するが、プロフィール設定画面120において、プロフィール情報の設定変更がなされると、設定変更情報がサーバ1000に送信される。サーバ1000においては、プレイヤごとにプロフィール情報が保存される。

【0052】

また、図3Aに示すように、ホーム画面100には、設定アイコン128が表示される。設定アイコン128がタップされると、ホーム設定画面130が表示される。

【0053】

図3Dは、ホーム設定画面130の一例を説明する図である。プレイヤは、ホーム設定画面130において、ホーム画面100に表示されるホーム画面設定キャラクタ132を設定することができる。プレイヤは、ホーム画面100に表示されるホーム画面設定キャラクタ132を4体設定することができる。

10

【0054】

図示は省略するが、ホーム画面100において、左右方向のフリック操作が入力されると、ディスプレイ26に表示される画面、すなわち、ホーム画面100の表示が切り替わる。ホーム画面100には、現在設定されている4体のホーム画面設定キャラクタ132が表示される。ホーム画面設定キャラクタ132には、メニューバー102に表示される各操作部としての機能が割り当てられる。したがって、ホーム画面100に表示されるホーム画面設定キャラクタ132がタップされると、メニューバー102の操作部がタップされたときと同様に画面が切り替わる。

20

【0055】

ホーム設定画面130には、現在設定されている4体のホーム画面設定キャラクタ132それぞれに対応するキャラクタ画像と、対応する操作部とが識別可能に表示される。ホーム設定画面130に表示されるキャラクタ画像がタップされると、不図示のキャラクタ選択画面が表示される。プレイヤは、キャラクタ選択画面において、ホーム画面設定キャラクタ132を選択することができる。また、プレイヤは、ホーム設定画面130において、ホーム画面設定キャラクタ132の衣装を設定することができる。

【0056】

また、図3Aに示すように、ホーム画面100には、サークルアイコン134が表示される。サークルアイコン134がタップされると、サークル画面が表示される。プレイヤは、サークル画面において、同一のサークルに所属している他のプレイヤと情報交換を行うことができる。

30

【0057】

また、本実施形態では、さまざまな期間限定イベントが不定期に開催される。期間限定イベントの開催期間中は、ホーム画面100に期間限定イベントアイコン108が表示される。期間限定イベントアイコン108がタップされると、不図示の期間限定イベント画面が表示される。期間限定イベント画面において、プレイヤは、例えば、期間限定で提供されるイベントポイントを、さまざまな報酬と交換することができる。

【0058】

ホーム画面100において育成ゲーム操作部104がタップされると、育成ゲーム画面が表示され、育成ゲームが開始される。なお、プレイヤは、ゲームポイントを消費することで、育成ゲームをプレイすることができる。ゲームポイントは、所定時間（例えば10分）おきに所定値（例えば+1）だけプレイヤに付与される。プレイヤが所持できるゲームポイントには上限値（例えば100）が定められており、プレイヤは、上限値の範囲内でゲームポイントを所持することができる。ホーム画面100の上部には、ゲームポイント表示バー136が設けられており、上限値に対する、現在所持しているゲームポイントの割合が視覚的に表示される。

40

【0059】

なお、ゲームポイントは、育成ゲームを開始した時点で、所定値（例えば-30）だけ

50

減算される。したがって、プレイヤは、要求されるゲームポイントを所持していない場合、育成ゲームを開始することができない。ただし、プレイヤは、ゲームポイントを回復するアイテムを所持することができ、アイテムを使用してゲームポイントを回復させることができる。このアイテムは、例えば、育成ゲームやチーム競技ゲームの報酬として付与されたり、あるいは、ゲーム内通貨を消費して獲得したりすることができる。以下に、育成ゲームについて詳述する。

【0060】

(育成ゲーム)

図4は、育成ゲームのおおまかな流れを説明するための図である。育成ゲームは、セッティングゲームと育成メインゲームとに大別される。詳しくは後述するが、育成メインゲームは、プレイヤが所持するキャラクタの中から選択した1の育成対象キャラクタを育成するゲームである。

10

【0061】

また、セッティングゲームは、プレイヤが育成対象キャラクタ、および、デッキ（継承キャラクタおよびサポートカード）を登録するものであり、育成ゲームの準備段階に相当する。以下では、セッティングゲームで遂行される処理を準備段階処理と呼び、育成メインゲームで遂行される処理を育成段階処理と呼ぶ。ここでは、理解を容易にするために、準備段階処理および育成段階処理における大まかな流れについて先に説明する。

【0062】

準備段階処理

準備段階処理では、主に、育成対象キャラクタの登録、デッキ（継承キャラクタおよびサポートカード）の登録が行われる。なお、サポートカードは、育成対象キャラクタの育成を補助するためのものである。各サポートカードには、必ず1以上のキャラクタが紐付けられており、準備段階処理で登録されたサポートカードに紐付けられたキャラクタが、育成対象キャラクタの育成を補助することとなる。以下では、サポートカードに紐付けられたキャラクタを、サポートキャラクタと呼ぶ。

20

【0063】

育成対象キャラクタの登録

ホーム画面100において、プレイヤによって育成ゲーム操作部104がタップされると、不図示のシナリオ選択画面が表示される。本実施形態では、育成メインゲームのシナリオが複数設けられている。育成メインゲームの各シナリオには、最終目標や、ゲーム途中での目標等が設定されており、プレイヤは、設定されている目標を順次クリアする必要がある。各目標や、目標を達成するまでの期間等がシナリオごとに異なっている。プレイヤは、シナリオ選択画面において、複数のシナリオの中からいずれか1つを選択することができる。ここでは、所定のシナリオが選択された場合について説明する。

30

【0064】

図5Aは、育成対象キャラクタ選択画面150を説明する図である。育成対象キャラクタ選択画面150の中央部には、複数のキャラクタアイコン151が表示され、プレイヤの所持しているキャラクタカードに紐付くキャラクタ（以下、単にキャラクタと呼ぶ）が一覧表示される。また、育成対象キャラクタ選択画面150の上部には、能力パラメータ表示部152aおよび適性パラメータ表示部152bが表示される。また、育成対象キャラクタ選択画面150の下部には、「Return」と記されたリターン操作部153、および、「NEXT」と記されたネクスト操作部154が表示されている。

40

【0065】

本実施形態では、キャラクタごとに能力パラメータの初期値が設定されており、能力パラメータ表示部152aには、プレイヤが選択したキャラクタアイコン151に対応するキャラクタの能力パラメータの初期値が数値で表示される。本実施形態では、能力パラメータの数値が大きいほど、能力が高いことを示している。

【0066】

図6Aは、能力パラメータ（初期値）テーブルを説明する図である。本実施形態では、

50

図 6 A に示すように、能力パラメータ（初期値）テーブルに、キャラクタごとの能力パラメータの初期値が記憶されている。そして、能力パラメータ（初期値）テーブルに記憶された能力パラメータの初期値に基づいて、能力パラメータ表示部 152a における能力パラメータの初期値の表示が行われる。

【0067】

本実施形態では、キャラクタごとに複数種類の能力のそれぞれについて能力パラメータの初期値が設定されている。具体的には、能力パラメータ表示部 152a において、それ「Speed」、「Stamina」、「Power」、「Spirit」、「Wisdom」と記される、スピード、スタミナ、パワー、根性、賢さの 5 種類の能力パラメータが設けられている。

10

【0068】

なお、キャラクタごとの能力パラメータの初期値は、プレイヤの操作等によって上昇する。例えば、キャラクタに 5 段階のレベルが設けられ、ゲーム内通貨や所定のアイテムを消費することによって、プレイヤがキャラクタのレベルを上昇させることができる。この場合、キャラクタのレベルの上昇に伴って、能力パラメータの初期値が上昇する。図 6 A には、キャラクタが所定のレベルである場合の初期値を示している。なお、プレイヤは、能力パラメータの値を、育成メインゲームにおいて上昇させることができる。すなわち、育成メインゲームの目的は、能力パラメータの数値がより高いキャラクタを育成することである。

【0069】

また、本実施形態では、キャラクタごとに適性パラメータ（初期値）が設定されており、図 5 A に示すように、適性パラメータ表示部 152b には、プレイヤが選択したキャラクタアイコン 151 に対応するキャラクタの適性パラメータの初期値がアルファベットで表示される。

20

【0070】

図 6 B は、適性パラメータ（初期値）テーブルを説明する図である。本実施形態では、図 6 B に示すように、適性パラメータ（初期値）テーブルに、キャラクタごとの適性パラメータの初期値が記憶されている。適性パラメータの初期値は A ~ G のアルファベットで 7 段階のいずれかに設定されている。なお、適性パラメータの初期値は、A が最も適性が高く、G が最も適性が低いことを示している。適性パラメータ（初期値）テーブルに記憶された適性パラメータの初期値に基づいて、適性パラメータ表示部 152b において適性パラメータの初期値の表示が行われる。

30

【0071】

本実施形態では、キャラクタごとに複数種類の適性のそれぞれについて適性パラメータの初期値が設定されている。具体的には、適性パラメータとして、芝およびダートのそれぞれの場適性に係る適性パラメータと、短距離、マイル、中距離、長距離のそれぞれの距離適性に係る適性パラメータと、逃げ、先行、差し、追込のそれぞれの脚質適性に係る適性パラメータとが設けられている。

【0072】

育成ゲームにおいて、プレイヤはさまざまなレースに育成対象キャラクタを出走させることができる。この際、レース内容に合致する育成対象キャラクタの適性が高いほど、レース展開が有利となる。

40

【0073】

なお、キャラクタごとの適性パラメータの初期値を、ゲーム内通貨を消費することによって、上昇させることができることとしてもよい。また、適性パラメータの値は、育成メインゲームにおいて変化してもよい。また、育成メインゲームにおいて、適性パラメータが A よりも適性が高い S に設定される場合があってもよい。

【0074】

図 5 B は、キャラクタ詳細画面 160 を説明する第 1 の図である。また、図 5 C は、キャラクタ詳細画面 160 を説明する第 2 の図である。育成対象キャラクタ選択画面 150

50

のキャラクタアイコン 151 を長押しすると、ディスプレイ 26 にキャラクタ詳細画面 160 が表示される。キャラクタ詳細画面 160 には、育成対象キャラクタ選択画面 150 において長押しされたキャラクタアイコン 151 に対応するキャラクタの能力の詳細が表示される。

【0075】

キャラクタ詳細画面 160 の中央部には、スキル操作部 161 およびイベント操作部 162 が表示される。図 5B に示すように、キャラクタ詳細画面 160 が表示された当初には、スキル操作部 161 が強調表示されており、キャラクタごとに設けられているスキルが表示される。スキルは、後述する個人レースの実行中に所定の条件が成立した場合に発動されることがある能力のことである。各キャラクタのレース展開は、スキルの発動によって有利になる。10

【0076】

図 6C は、スキルテーブルを説明する図である。図 6C に示すように、スキルテーブルには、プレイヤが所持しているキャラクタごとのスキルが記憶されている。そして、スキルテーブルに記憶されたスキルに基づいて、図 5B に示すように、キャラクタ詳細画面 160 においてスキルが表示される。なお、スキルは、所持しているだけでは発動することができなく、獲得することで初めて発動可能となる。以下では、キャラクタが発動可能な状態のスキルを獲得済みスキルと呼ぶ。

【0077】

キャラクタには、育成メインゲーム開始当初から、1つの獲得済みスキルが設定されている。また、キャラクタには、獲得済みスキルとは別に、所持スキルが複数設定されている。所持スキルは、育成メインゲーム開始後に、後述するスキルポイントを消費することで獲得することができるスキルである。つまり、所持スキルは、スキルポイントと引き換えに、獲得済みスキルとなり得る。20

【0078】

本実施形態では、図 6C に示すスキルテーブルにおける「」に対応するスキルが、図 5B のキャラクタ詳細画面 160 において獲得済みスキルとして表示される。また、図 6C に示すスキルテーブルにおける「○」に対応するスキルが、図 5B のキャラクタ詳細画面 160 において所持スキルとして表示される。本実施形態では、図 5B のキャラクタ詳細画面 160 に示すように、獲得済みスキルと所持スキルとが区別しやすいように、獲得済みスキルが強調表示されている。30

【0079】

なお、図 5B において、キャラクタごとに設けられているスキルとして、1つの獲得済みスキルが獲得済みスキル表示欄 161a に表示され、7つの所持スキルが所持スキル表示欄 161b に表示されている場合を示しているが、これに限定されるものではない。例えば、キャラクタごとに獲得済みスキルおよび所持スキルの個数が異なることとしてもよい。また、例えば、キャラクタのレベルの上昇、ゲーム内通貨やアイテムの消費等によって、各キャラクタの獲得済みスキルまたは所持スキルの個数が増加することとしてもよい。

【0080】

また、プレイヤがキャラクタ詳細画面 160 のイベント操作部 162 をタップすると、図 5C に示すように、キャラクタ詳細画面 160 の内容が切り替わり、キャラクタごとに設けられたキャラクタ所持イベントを示すキャラクタ所持イベント表示欄 162a が表示される。この場合、図 5C に示すように、イベント操作部 162 が強調表示される。キャラクタ所持イベントは、育成メインゲームにおいて所定の条件が成立した場合に発生するものであり、育成ゲームに登場するキャラクタに係るストーリを表示したり、能力パラメータの値を変化させたりするものである。40

【0081】

図 6D は、キャラクタ所持イベントテーブルを説明する図である。図 6D に示すように、キャラクタ所持イベントテーブルには、プレイヤが所持しているキャラクタごとにキャラクタ所持イベントが記憶されている。そして、キャラクタ所持イベントテーブルに記憶

10

20

30

40

50

されたキャラクタ所持イベントに基づいて、図 5 C に示すように、キャラクタ詳細画面 160においてキャラクタ所持イベントが表示される。なお、キャラクタ所持イベントには、スキルを所持あるいは獲得可能とするヒントイベント、キャラクタの能力パラメータの数値を上昇または減少させる能力イベント等が含まれてもよい。

【0082】

なお、図 5 C に示すキャラクタ詳細画面 160において表示されているキャラクタ所持イベントは、育成メインゲームの実行中にすべて実行されることとしてもよいし、育成メインゲームの実行中に少なくとも一部が実行されることとしてもよいし、所定の条件が成立しなかった場合には、育成メインゲームの実行中にすべてが実行されないこととしてもよい。また、例えば、キャラクタのレベルの上昇、ゲーム内通貨やアイテムの消費等によって、キャラクタごとに設けられたキャラクタ所持イベントの個数が増加することとしてもよい。また、所定条件が成立した場合に、キャラクタ所持イベントとして表示されていないキャラクタ所持イベントが育成メインゲーム中に実行されることとしてもよい。

10

【0083】

また、図 5 B および図 5 C に示すように、キャラクタ詳細画面 160 の下部には、「close」と記されたクローズ操作部 163 が表示されている。キャラクタ詳細画面 160 のクローズ操作部 163 がタップされた場合、キャラクタ詳細画面 160 の表示が終了し、育成対象キャラクタ選択画面 150 がディスプレイ 26 に表示される。

【0084】

また、図 5 A に示す育成対象キャラクタ選択画面 150 においてリターン操作部 153 がタップされると、図 3 A に示すホーム画面 100 がディスプレイ 26 に表示される。また、育成対象キャラクタ選択画面 150 には、育成情報表示ボタン 155 が設けられている。育成情報表示ボタン 155 がタップされると、不図示の育成情報表示画面が表示される。プレイヤは、育成対象キャラクタ選択画面 150 で選択したキャラクタに関する情報を、育成情報表示画面において確認することができる。

20

【0085】

育成情報表示画面には、クリア目標タブが設けられている。詳しくは後述するが、育成メインゲームは、複数のターンで構成されており、プレイヤは、ターンごとに、育成対象キャラクタにトレーニングをさせたり、レースに出場させたりする必要がある。

30

【0086】

そして、各キャラクタには、それぞれ複数のクリア目標が設定されている。クリア目標タブがタップされると、育成情報表示画面に、選択中のキャラクタに設定されたクリア目標が一覧表示される。各ターンには、育成対象キャラクタを出走させることができるレースが予め定められている。

【0087】

また、育成対象である育成対象キャラクタをレースに出走させると、当該育成対象キャラクタがファン、勝利ポイント、および、特別通貨を獲得することができる。各レースには、ファン、勝利ポイント、および、特別通貨のベース獲得数が着順ごとに定められており、着順が高順位であるほど、獲得するファン、勝利ポイントおよび特別通貨の数値が大きくなる。

40

【0088】

また、レースには難易度が設定されており、難易度の高いレースほど、より多くのファン、勝利ポイント、および、特別通貨が獲得可能となる。例えば、レースの中には、重賞と呼ばれる G I、G II、G III のグレードのレースが設けられている。グレードは、G III、G II、G I の順で高くなる。グレードの高いレースほど、難易度が高くなるとともに、より多くのファン、勝利ポイント、特別通貨が獲得可能となる。

【0089】

ここで、レースに出走して獲得できるファン数は、着順ごとに定められたベース獲得数に、ボーナス獲得数が加算されて算出される。具体的には、レース結果に基づいて補正值が決定され、ベース獲得数に補正值が乗算されてボーナス獲得数が算出される。このボ-

50

ナス獲得数とベース獲得数との合計数が、育成対象キャラクタが獲得するファン数となる。例えば、レース結果が1着であった場合に、育成対象キャラクタと2着のキャラクタとの差が大きくなるほど、補正值が大きくなる。また、レース結果が2着から5着であった場合、育成対象キャラクタと1着のキャラクタとの差が小さくなるほど、補正值が大きくなる。

【0090】

また、育成対象キャラクタは、レース中に、所定の確率でスキルを発動する。このとき、発動したスキルが多いほど、補正值が大きくなる。このように、各レースでは、ファン数の加算条件が定められており、着順以外のさまざまなレース結果やレースの途中経過によって、獲得するファン数が増加する。ただし、育成対象キャラクタが獲得するファン数は、少なくとも、着順に対応するベース獲得数以上となる。

10

【0091】

なお、レースによっては、出走条件として、ファン数が規定されたものがある。育成対象キャラクタの獲得しているファン数が、出走条件として規定されたファン数に満たない場合、プレイヤーは、当該レースに育成対象キャラクタを出走させることができない。難易度の高いレースほど、出走させるために必要となるファン数が多くなる。

【0092】

このように、各キャラクタには、複数のクリア目標が設定されている。クリア目標を達成することで、プレイヤーは、最終のターンまで、育成メインゲームを継続することができる。一方で、クリア目標を達成できなかった場合には、当該ターンで育成メインゲームが終了となる。

20

【0093】

以上のように、プレイヤーは、図5Aに示す育成対象キャラクタ選択画面150において、各キャラクタのさまざまな情報を確認しながら、育成対象キャラクタを選択することができる。そして、育成対象キャラクタ選択画面150においてネクスト操作部154がタップされると、選択中のキャラクタが育成対象キャラクタとして設定されるとともに、継承キャラクタ選択画面170がディスプレイ26に表示される。

【0094】

継承キャラクタの登録

図7Aは、継承キャラクタ選択画面170を説明する第1の図である。図7Bは、育成キャラクター覧画面180を説明する第1の図である。図7Cは、継承キャラクタ選択画面170を説明する第2の図である。図7Dは、継承キャラクタ選択画面170を説明する第3の図である。継承キャラクタ選択画面170は、プレイヤーが継承キャラクタを登録するための画面である。

30

【0095】

継承キャラクタというのは、育成対象キャラクタに対して、能力値やスキル等を継承させるキャラクタである。プレイヤーは、自身が所持する育成キャラクタ、および、フォロワー等のフレンドの代表キャラクタ等、所定の抽出条件にしたがって抽出された他のプレイヤーの代表キャラクタから、2体の継承キャラクタを選択してデッキに編成、登録することができる。なお、他のプレイヤーの代表キャラクタは、1回の育成ゲームにおいて、最大で1体のみ、継承キャラクタとしてデッキに編成することができる。

40

【0096】

継承キャラクタ選択画面170には、能力パラメータ表示部152a、適性パラメータ表示部152b、第1継承キャラクタ選択領域171aおよび第2継承キャラクタ選択領域171bが設けられる。育成対象キャラクタ選択画面150から継承キャラクタ選択画面170に画面が遷移した際には、図7Aに示すように、第1継承キャラクタ選択領域171aおよび第2継承キャラクタ選択領域171bが空欄で表示されている。

【0097】

第1継承キャラクタ選択領域171aまたは第2継承キャラクタ選択領域171bがタップされると、図7Bに示す、育成キャラクター覧画面180が表示される。育成キャラ

50

クター一覧画面 180 には、マイキャラタブ 181a およびレンタルタブ 181b が設けられる。また、マイキャラタブ 181a およびレンタルタブ 181b の下方には、育成キャラクター一覧表示領域が設けられる。育成キャラクター一覧表示領域には、育成キャラクタアイコン 182 が表示される。

【0098】

マイキャラタブ 181a が選択された状態では、図 7B に示すように、プレイヤ自身が所持する育成キャラクタに対応する育成キャラクタアイコン 182 が表示される。また、図示は省略するが、レンタルタブ 181b が選択された状態では、フレンドの代表キャラクタ、すなわち、フレンドが育成した育成キャラクタに対応する育成キャラクタアイコン 182 が表示される。

10

【0099】

また、育成キャラクタアイコン 182 がタップされると、育成キャラクタアイコン 182 に対応する育成キャラクタの仮選択状態となる。また、育成キャラクタアイコン 182 がタップされると、図 7C に示すように、継承キャラクタ選択画面 170 が表示される。このとき、例えば、第 1 継承キャラクタ選択領域 171a がタップされて育成キャラクタ一覧画面 180 が表示され、育成キャラクター一覧画面 180 において育成キャラクタアイコン 182 がタップされた場合には、仮選択状態となった育成キャラクタを示す画像が、第 1 継承キャラクタ選択領域 171a に表示される。

【0100】

この状態で、例えば、第 2 継承キャラクタ選択領域 171b がタップされて育成キャラクター一覧画面 180 が表示され、育成キャラクター一覧画面 180 において育成キャラクタアイコン 182 がタップされると、仮選択状態となった育成キャラクタを示す画像が、図 7D に示すように、第 2 継承キャラクタ選択領域 171b に表示される。

20

【0101】

また、育成キャラクタには、育成の際に使用された継承キャラクタに係る情報が紐付けられて記憶されている。第 1 継承キャラクタ選択領域 171a には、育成キャラクタを育成する際に使用された継承キャラクタに係る情報が表示される。

【0102】

図 8 は、継承の系統を説明する図である。育成ゲームでは、継承キャラクタがもつ因子情報に基づいて、育成対象キャラクタの能力パラメータや適性パラメータの値が上昇する等、さまざまな効用がもたらされる。ここでは、1 体の育成対象キャラクタに対して、2 体の継承キャラクタが設定されるが、これらの継承キャラクタは、先に生成された育成キャラクタである。したがって、継承キャラクタとして設定される育成キャラクタが生成されたときにも、当該育成キャラクタに対して 2 体の継承キャラクタが設定されている。

30

【0103】

図 8 に示すように、これから開始される育成メインゲームの育成対象である育成対象キャラクタを当代とする。また、当代の育成対象キャラクタに対して、継承キャラクタとして設定される 2 体の育成キャラクタを継承第 1 世代とする。さらに、継承第 1 世代の育成キャラクタは、その育成開始時に、2 体の育成キャラクタが継承キャラクタとして設定されている。継承第 1 世代の育成キャラクタが生成されたときに、継承キャラクタとして設定されていた 2 体の育成キャラクタを継承第 2 世代とする。

40

【0104】

この場合、当代の育成対象キャラクタに対して効用を及ぼすのは、図 8 に示すように、継承第 1 世代および継承第 2 世代の育成キャラクタである。上記のように、1 体の育成対象キャラクタに対して、2 体の継承キャラクタ（継承第 1 世代）が設定されるため、合計 6 体の育成キャラクタが、1 体の育成対象キャラクタに対して効用をもたらすこととなる。

【0105】

例えば、2 体の継承第 1 世代の育成キャラクタのうちの一方と、この育成キャラクタの継承キャラクタである 2 体の継承第 2 世代の育成キャラクタとで第 1 継承グループが構成される。同様に、2 体の継承第 1 世代の育成キャラクタのうちの他方と、この育成キャラ

50

クタの継承キャラクタである 2 体の継承第 2 世代の育成キャラクタとで第 2 継承グループが構成される。

【 0 1 0 6 】

図 7 D に示すように、第 1 継承キャラクタ選択領域 171a には、第 1 継承グループを構成する 1 体の継承第 1 世代の育成キャラクタ、および、2 体の継承第 2 世代の育成キャラクタそれぞれに対応するアイコンが記されている。同様に、第 2 継承キャラクタ選択領域 171b には、第 2 継承グループを構成する 1 体の継承第 1 世代の育成キャラクタ、および、2 体の継承第 2 世代の育成キャラクタそれぞれに対応するアイコンが記されている。

【 0 1 0 7 】

図 9 は、因子情報を説明する図である。詳しくは後述するが、育成ゲームが完了すると、育成対象の育成キャラクタが育成キャラクタとして登録されるが、このとき、育成キャラクタには、因子情報が紐付けられて記憶される。具体的には、育成キャラクタの育成完了時には、育成キャラクタの獲得する因子が抽選により決定される。そして、抽選で当選した因子を示す因子情報が育成キャラクタに紐付けられる。換言すれば、育成ゲームの完了時に、育成キャラクタは、抽選で当選した因子を獲得することができる。

10

【 0 1 0 8 】

ただし、育成キャラクタが獲得した因子は、当該育成キャラクタの能力自体には影響しない。例えば、育成キャラクタは、チーム競技ゲーム等のレースゲームに出走させることができる。このとき、レースでは、出走する全ての育成キャラクタの能力パラメータ、適性パラメータおよび獲得済みスキル等に基づいて、着順やレース展開を決定するシミュレーション、すなわち、演算処理が行われる。育成キャラクタが有する因子は、演算処理に用いられることがないため、仮に、多数の因子を有していたとしても、レースが有利に進められることはない。

20

【 0 1 0 9 】

育成キャラクタが有する因子は、当該育成キャラクタが継承キャラクタとして設定された場合に、育成対象の育成キャラクタに対してのみ影響を及ぼす。育成キャラクタが獲得可能な因子は、複数の種別に分類されている。図 9 には、因子種別として、基礎能力因子、適性因子、レース因子、キャラ因子、スキル因子が示されている。各因子には、複数の段階のいずれかが設定される。ここでは、因子の段階として、レベル 1、レベル 2、レベル 3 の 3 段階の因子レベルが設けられている。

30

【 0 1 1 0 】

なお、因子レベルは抽選により決定される。このとき、育成キャラクタが獲得する因子が決定された後に、獲得した因子のそれぞれについて、因子レベルが抽選により決定されてもよい。あるいは、因子と因子レベルとの組み合わせパターンごとに当選比率が設定され、設定された当選比率に基づいて、いずれかの組み合わせパターンが決定されてもよい。この場合、獲得する因子と因子レベルとが同時に決定されることとなる。

【 0 1 1 1 】

因子レベルは、レベル 3 が最も効果が高く、レベル 1 が最も効果が低い。因子レベルを決定する抽選では、レベル 3 の当選確率が最も低く、レベル 1 の当選確率が最も高く設定されている。ただし、育成ゲームの結果によって、獲得する因子の当選確率や、因子レベルの当選確率が変化してもよい。この場合、例えば、能力パラメータや評価点が高い育成キャラクタほど、高レベルの因子レベルが決定されてもよい。

40

【 0 1 1 2 】

基礎能力因子は、育成対象キャラクタの能力パラメータを上昇させるものである。基礎能力因子は、スピード因子、スタミナ因子、パワー因子、根性因子、賢さ因子の 5 つが設けられる。育成キャラクタは、5 つの基礎能力因子のうち、必ず、1 つの基礎能力因子を獲得する。5 つの基礎能力因子は、それぞれスピード、スタミナ、パワー、根性、賢さの 5 つの能力パラメータに対応している。例えば、継承第 1 世代または継承第 2 世代の育成キャラクタがスピード因子を有している場合、育成対象キャラクタのスピードの能力パラメータが上昇する。

50

【 0 1 1 3 】

このとき、スピード因子の因子レベルによって、スピードの能力パラメータの上昇値が異なる。例えば、スピード因子の因子レベルがレベル1の場合、育成対象キャラクタのスピードの能力パラメータが「7」上昇し、レベル2の場合、能力パラメータが「13」上昇し、レベル3の場合、能力パラメータが「21」上昇する。したがって、仮に、2体の継承第1世代、および、4体の継承第2世代の合計6体の育成キャラクタが、全て、レベル3のスピード因子を有している場合、育成対象キャラクタのスピードの能力パラメータは、最大で126（上昇値 21×6 体）も上昇することとなる。

【 0 1 1 4 】

ただし、各因子には、発動タイミングと発動条件とが設定されている。したがって、継承キャラクタが因子を有していたとしても、発動タイミングにおいて、発動条件が成立しなかった場合には、育成対象キャラクタに効用がもたらされない。

10

【 0 1 1 5 】

上記のように、育成メインゲームは、複数のターンで構成されており、このうち、所定のターンが因子発動ターンとして設定されている。例えば、育成メインゲームの第1ターン、第30ターン、第54ターンの3つのターンが因子発動ターンに設定されているとする。これらの因子発動ターンでは、因子ごとに、発動するか否かが決定され、因子を発動すると決定された場合に、当該因子の発動条件が成立し、因子に対応する効用がもたらされる。

【 0 1 1 6 】

なお、基礎能力因子を発動するか否かは、抽選により決定される。このとき、基礎能力因子を発動するか否かの抽選で当選する確率、すなわち、基礎能力因子が発動する確率（以下、発動確率という）は、3つの因子発動ターンで異なってもよい。ここでは、第1ターンでは、基礎能力因子の発動確率が、因子レベルに拘わらず、100%に設定されている。また、第30ターンおよび第54ターンでは、基礎能力因子の発動確率が、因子レベルによって異なる。一例として、第30ターンおよび第54ターンでは、レベル3の基礎能力因子の発動確率が100%、レベル2の基礎能力因子の発動確率が90%、レベル1の基礎能力因子の発動確率は80%に設定されている。

20

【 0 1 1 7 】

継承キャラクタ選択画面170では、能力パラメータに対して、第1ターンで上昇する上昇値が表示される。例えば、図7Cでは、第1継承グループを構成する1体の継承キャラクタが仮選択されている。この場合、仮選択中の1体の継承キャラクタにより、第1ターンで上昇する能力パラメータの種類と、その上昇値とが表示される。ここでは、パワーの能力パラメータの下に「+63」と表示されており、第1ターンにおいて、パワーの能力パラメータが63ポイント上昇することが示されている。また、能力パラメータ表示部152aにおいては、第1ターンで上昇する上昇値が加算された値が表示される。

30

【 0 1 1 8 】

また、図7Dでは、第1継承グループおよび第2継承グループを構成する2体の継承キャラクタが仮選択されている。この場合、仮選択中の2体の継承キャラクタにより、第1ターンで上昇する能力パラメータの種類と、その上昇値とが表示される。ここでは、スピード、パワー、賢さの能力パラメータの下に、それぞれ「+21」、「+63」、「+42」と表示されており、第1ターンにおいて、スピード、パワー、賢さの能力パラメータが、それぞれ21ポイント、63ポイント、42ポイント上昇することが示されている。

40

【 0 1 1 9 】

なお、継承キャラクタ選択画面170においては、第1継承グループを構成する継承キャラクタによって上昇する能力パラメータの上昇値と、第2継承グループを構成する継承キャラクタによって上昇する能力パラメータの上昇値とが識別可能に表示される。例えば、図7Dでは、パワーの能力パラメータの下に表示される「+63」の表記と、スピードおよび賢さの能力パラメータの下に表示される「+21」、「+42」の表記とが色分けされている。

50

【 0 1 2 0 】

図9に示す適性因子は、育成対象キャラクタの適性パラメータを上昇させるものである。適性因子は、芝因子、ダート因子、短距離因子、マイル因子、中距離因子、長距離因子の6つが設けられる。育成キャラクタは、6つの適性因子のうち、必ず、1つの適性因子を獲得する。6つの適性因子は、それぞれ芝適性、ダート適性、短距離適性、マイル適性、中距離適性、長距離適性に対応している。例えば、継承第1世代または継承第2世代の育成キャラクタに、芝因子を有している育成キャラクタが含まれる場合、育成対象キャラクタの芝適性の適性パラメータが上昇する。

【 0 1 2 1 】

なお、適性因子にも、発動タイミングおよび発動条件が設定されており、基礎能力因子と同じ因子発動ターンにおいて、適性因子ごとに、発動するか否かが決定される。適性因子の発動が決定された場合、対応する適性パラメータが1段階上昇する。一例として、第1ターンでは、適性因子の発動確率が、因子レベルに拘わらず、100%に設定されている。

10

【 0 1 2 2 】

例えば、第1継承グループに属する3体の育成キャラクタの適性因子が、それぞれ、芝因子、短距離因子、マイル因子であり、第2継承グループに属する3体の育成キャラクタの適性因子が、それぞれ、芝因子、短距離因子、中距離因子であったとする。この場合、育成対象キャラクタの芝適性および短距離適性がそれぞれ2段階上昇し、マイル適性および中距離適性が、それぞれ1段階上昇する。

20

【 0 1 2 3 】

また、例えば、第1継承グループに属する3体の育成キャラクタの適性因子が、いずれも芝因子であり、第2継承グループに属する3体の育成キャラクタの適性因子が、いずれも短距離因子であったとする。この場合、育成対象キャラクタの芝適性および短距離適性がそれぞれ3段階上昇する。また、さらに他の例として、第1継承グループに属する3体の育成キャラクタの適性因子が、いずれも芝因子であり、第2継承グループに属する3体の育成キャラクタの適性因子が、それぞれ芝因子、短距離因子、マイル因子であったとする。この場合、育成対象キャラクタの芝適性が4段階上昇し、短距離適性、マイル適性がそれぞれ1段階上昇する。

【 0 1 2 4 】

30

ただし、第1ターンでは、適性パラメータの上昇値に制限が設けられている。具体的には、第1ターンでは、全ての適性パラメータの上限がAに設定されている。したがって、仮に、育成対象キャラクタの芝適性の初期値がAであった場合、芝因子を継承キャラクタが有していたとしても、第1ターンにおいて芝適性が上昇することはない。

【 0 1 2 5 】

これに対して、第30ターンおよび第54ターンでは、適性因子ごとに、因子レベルに基づいて、発動するか否かの抽選が行われる。一例として、第30ターンおよび第54ターンでは、レベル3の適性因子の発動確率が5%、レベル2の適性因子の発動確率が3%、レベル1の適性因子の発動確率は1%に設定されている。第30ターンまたは第54ターンにおいて、抽選により適性因子の発動が決定されると、適性因子に対応する適性パラメータが上昇する。なお、第30ターンおよび第54ターンでは、各適性の上限が、AからSに引き上げられている。したがって、第30ターンおよび第54ターンでは、適性因子の発動により、適性パラメータの値をSまで上昇させることができる。

40

【 0 1 2 6 】

なお、継承キャラクタ選択画面170の適性パラメータ表示部152bには、第1ターンにおいて上昇した後の適性パラメータの値が表示される。

【 0 1 2 7 】

レース因子は、育成対象キャラクタの能力パラメータを上昇させるものである。レース因子は、育成メインゲームで出走可能なレースのうち、例えばGⅠ等の難易度の高いレース（以下、因子対象レースという）ごとに設けられている。育成ゲームの完了時には、育

50

成対象キャラクタが1着になった因子対象レースごとに、レース因子を獲得するか否かの抽選が行われる。この抽選で当選することで、育成キャラクタはレース因子を獲得することができる。

【0128】

なお、レース因子にも因子レベルが設けられており、獲得が決定されたレース因子ごとに、因子レベルが抽選により決定される。また、ここでは、1体の育成キャラクタが獲得可能なレース因子の数に上限はなく、育成キャラクタは、複数のレース因子を獲得することができる。

【0129】

各レース因子には、発動によって上昇させる能力パラメータと、その上昇値とが予め設定されている。例えば、レース因子には、スピードの能力パラメータを上昇させるものや、パワーの能力パラメータを上昇させるものが含まれる。このとき、能力パラメータの上昇値は、因子レベルが高いほど高くなる。

10

【0130】

また、レース因子にも、発動タイミングおよび発動条件が設定されており、因子発動ターンにおいて、レース因子ごとに、発動するか否かが決定される。レース因子の発動が決定された場合、レース因子に対応する能力パラメータが上昇する。なお、レース因子の因子発動ターンは、第30ターンおよび第54ターンに限られる。また、因子発動ターンにおけるレース因子の発動確率は、因子レベルによって異なり、因子レベルが高いほど、発動確率が高くなる。

20

【0131】

キャラ因子は、キャラクタ固有の因子であり、例えば、所定のレベルまで強化されたキャラクタを育成対象キャラクタとして育成した場合に限り、当該キャラクタに設定されたキャラ因子が、育成ゲームの完了時に必ず育成キャラクタに付与される。なお、キャラ因子は、1体のキャラクタに1つのみ設定されているため、1の育成キャラクタが獲得できるキャラ因子は最大で1つである。また、所定のレベルまで強化されていないキャラクタを基にして育成キャラクタが生成された場合には、キャラ因子を獲得することができない。

【0132】

また、キャラ因子は、予め設定された因子発動ターンで発動可能であり、因子発動ターンで実行される抽選で当選することで発動する。キャラ因子が発動すると、キャラ因子ごとに設定されたヒントイベントが発生し、上記したように、スキルのヒントを獲得することができる。

30

【0133】

スキル因子は、育成キャラクタが獲得した獲得済みスキルに基づいて付与される。具体的には、育成ゲームの完了時に、育成キャラクタが獲得した獲得済みスキルごとに、スキル因子を獲得するか否かの抽選が行われる。この抽選で当選することにより、育成キャラクタにスキル因子が付与される。つまり、育成キャラクタは、獲得した獲得済みスキルに対応するスキル因子のうち、一部もしくは全部を獲得することができる。なお、スキル因子の獲得が決定されると、当該スキル因子の因子レベルが抽選により決定される。

【0134】

また、スキル因子は、予め設定された因子発動ターンで発動可能であり、因子発動ターンで実行される抽選で当選することで発動する。このとき、因子レベルが高いほど、当選確率が高くなる。スキル因子が発動すると、スキル因子ごとに設定されたヒントイベントが発生し、スキルのヒントを獲得することができる。これにより、育成対象キャラクタは、継承キャラクタ等が獲得した獲得済みスキルと同様のスキルを獲得可能となる。

40

【0135】

このように、スキル因子の獲得有無は、育成キャラクタが獲得した獲得済みスキルの範囲内で行われる。したがって、獲得済みスキルが多い育成キャラクタほど、スキル因子を獲得する可能性も高くなる。ただし、スキル因子は抽選により獲得有無が決定されるため、獲得済みスキルが多かったとしても、スキル因子を獲得できないこともある。

50

【 0 1 3 6 】

なお、ここでは、育成キャラクタが、獲得済みスキルとは別にスキル因子を獲得することとしたが、スキル因子を設けずに、継承キャラクタとしての育成キャラクタが有する獲得済みスキルに基づいて、育成対象キャラクタが獲得可能なスキルが決定されてもよい。

【 0 1 3 7 】

以上のように、育成対象キャラクタの能力パラメータは、デッキに編成する継承キャラクタによって大きく変化する。また、育成キャラクタ自身の能力が高かったとしても、因子の獲得有無は抽選により決定されるため、必ずしも、能力の高い育成キャラクタが、継承キャラクタに相応しいとは限らない。一方で、育成キャラクタ自身の能力は高くない場合であっても、因子レベルの高い因子を多数獲得することで、継承キャラクタとして有効に機能することもある。このように、継承キャラクタをデッキに編成可能とすることで、単に強力な育成キャラクタを育成することのみならず、継承キャラクタとして有効な育成キャラクタを育成するといった興味がもたらされる。

10

【 0 1 3 8 】

さらに、本実施形態では、育成対象キャラクタ、継承第1世代の育成キャラクタ、継承第2世代の育成キャラクタの間で相性が判定される。そして、相性が良いキャラクタの組み合わせの場合、因子の発動条件が有利となる。

【 0 1 3 9 】

図10Aは、相性の判定対象を説明する図であり、図10Bは、相性の判定項目を説明する図である。図10Aに示すように、本実施形態では、No. 1からNo. 7までの7つの判定対象が設けられている。第1の判定対象（No. 1）は、当代の育成対象キャラクタ、および、第1継承グループにおける継承第1世代の育成キャラクタである。第2の判定対象（No. 2）は、当代の育成対象キャラクタ、および、第2継承グループにおける継承第1世代の育成キャラクタである。

20

【 0 1 4 0 】

第3の判定対象（No. 3）は、第1継承グループにおける継承第1世代の育成キャラクタ、および、第2継承グループにおける継承第1世代の育成キャラクタである。第4の判定対象（No. 4）は、当代の育成対象キャラクタ、第1継承グループにおける継承第1世代の育成キャラクタ、および、第1継承グループにおける継承第2世代の一方（育成キャラクタA）の育成キャラクタである。第5の判定対象（No. 5）は、当代の育成対象キャラクタ、第1継承グループにおける継承第1世代の育成キャラクタ、および、第1継承グループにおける継承第2世代の他方（育成キャラクタB）の育成キャラクタである。

30

【 0 1 4 1 】

第6の判定対象（No. 6）は、当代の育成対象キャラクタ、第2継承グループにおける継承第1世代の育成キャラクタ、および、第2継承グループにおける継承第2世代の一方（育成キャラクタA）の育成キャラクタである。第7の判定対象（No. 7）は、当代の育成対象キャラクタ、第2継承グループにおける継承第1世代の育成キャラクタ、および、第2継承グループにおける継承第2世代の他方（育成キャラクタB）の育成キャラクタである。

30

【 0 1 4 2 】

上記の判定対象ごとに、複数の判定項目のそれぞれについて条件成立の有無が判定される。図10Bには、判定項目の一例が示されている。本実施形態では、ゲームの世界観として、育成対象キャラクタに選択可能なキャラクタが学生であり、各キャラクタが学校でトレーニングを行うといった設定がなされている。

40

【 0 1 4 3 】

そして、各キャラクタには、図10Bに示すように、学年、同僚、仲良しといった設定が予めなされている。判定項目には、例えば、判定対象の2体もしくは3体のキャラクタが、同学年であるか、同僚であるか、仲良しであるかといった内容が含まれている。また、判定項目には、判定対象のキャラクタが得意とする脚質、距離の適性、場の適性が合致するか否かが含まれる。

50

【0144】

そして、各判定項目には、相性期待値が紐付けられており、判定対象のキャラクタ間で成立する判定項目の相性期待値が累計される。ここでは、判定項目によって相性期待値が異なるが、相性期待値は全ての判定項目で共通としてもよい。

【0145】

例えば、相性を判定する場合、まず、第1の判定対象である当代の育成対象キャラクタと、第1継承グループの継承第1世代の育成キャラクタとの間で、全ての判定項目について成立有無が判定される。このとき、成立する判定項目に紐付けられた相性期待値が累積、計数される。このように、相性期待値の計数は、第1の判定対象から第7の判定対象まで順に行われ、最終的に算出された相性期待値に基づいて、因子の発動確率に補正がかけられる。つまり、相性期待値が高いほど、全ての因子の発動確率が高くなり、相性期待値が低いほど、全ての因子の発動確率が低くなる。

10

【0146】

なお、算出された相性期待値を補正值として、発動確率が算出されてもよい。また、例えば、因子の発動確率を補正する補正值が相性レベルごとに設定されており、算出された相性期待値によって、相性レベルが決定されてもよい。

【0147】

このように、育成対象キャラクタと継承キャラクタとの相性、あるいは、継承キャラクタ同士の相性によって因子の発動確率が異なることから、2体の継承キャラクタの組み合わせは、育成対象キャラクタの育成に大きな影響を及ぼすことになる。つまり、キャラクタ間の相性は、継承キャラクタを選択するうえで、重要な判断材料となる。

20

【0148】

図7B、図7Cおよび図7Dに示すように、継承キャラクタが選択された状態では、継承キャラクタ選択画面170および育成キャラクター一覧画面180の右上方に、相性の良さを示す相性マークが表示される。ここでは、選択中のキャラクタによる相性レベルが、、○、□の3つの相性マークにより示される。なお、図7Aに示すように、継承キャラクタが選択されていない状態では、相性マークが非表示となっている。

【0149】

また、図7Bに示すように、育成キャラクター一覧画面180には、表示切替ボタン183が設けられる。表示切替ボタン183が操作されると、不図示の表示条件設定画面が表示される。プレイヤは、表示条件設定画面において、育成キャラクター一覧画面180に表示される育成キャラクタアイコン182、すなわち、継承キャラクタとして選択可能な育成キャラクタの並び替えの設定をしたり、絞り込みをしたりすることができる。

30

【0150】

図11Aは、ソート条件を説明する図である。図11Bは、絞り込み条件を説明する図である。プレイヤは、表示条件設定画面において、図11Aに示すソート条件を選択して設定することができる。ここでは、ソート条件として、評価点、因子、スキル数、名前、場適性、登録日、脚質適性、相性レベル、距離適性、メモのいずれかを選択して設定することができる。ソート条件が設定されると、育成キャラクター一覧画面180が表示される。このとき、育成キャラクター一覧画面180では、ソート条件にしたがって、育成キャラクタアイコン182の表示順が変更されている。

40

【0151】

また、プレイヤは、表示条件設定画面において、図11Bに示す絞り込み条件を選択して設定することができる。ここでは、絞り込み条件として、基礎能力因子、適性因子、および、相性レベルが設けられている。なお、基礎能力因子あるいは適性因子が絞り込み条件として設定されると、プレイヤが選択した因子を有する育成キャラクタのみが育成キャラクター一覧画面180に表示される。

【0152】

このとき、プレイヤは、因子レベルを設定することができ、例えば、因子レベルをレベル3に設定して絞り込みが行われた場合、プレイヤが選択した因子のうち、因子レベルが

50

レベル3の因子を有する育成キャラクタのみが育成キャラクター覧画面180に表示される。なお、プレイヤは、育成キャラクタ自体が因子を有するのか、それとも、育成キャラクタの継承キャラクタが因子を有するのかを選択して、育成キャラクタの絞り込みを行うことができる。

【0153】

また、プレイヤは、相性レベルによる絞り込みを行うことができる。ここでは、相性がとなる育成キャラクタや、相性が○となる育成キャラクタ、さらには、相性がとなる育成キャラクタを絞り込むことが可能となっている。このように、さまざまな条件でソートや絞り込みが可能であり、プレイヤの利便性が向上する。

【0154】

また、図7Bに示す育成キャラクター覧画面180において、育成キャラクタアイコン182が長押しされると、育成キャラクタアイコン182に対応する育成キャラクタの詳細情報が表示される。

【0155】

図12は、キャラクタ詳細ダイアログ185Aを説明する第1の図である。図13は、キャラクタ詳細ダイアログ185Aを説明する第2の図である。図14は、キャラクタ詳細ダイアログ185Aを説明する第3の図である。キャラクタ詳細ダイアログ185Aには、育成キャラクタの詳細情報が表示される。キャラクタ詳細ダイアログ185Aの上部には、育成キャラクタの能力パラメータを示す能力パラメータ表示欄186が表示される。

【0156】

能力パラメータ表示欄186の左上方には、育成キャラクタの基となるキャラクタを示すアイコン、育成キャラクタの評価点および育成ランクが表示されている。また、能力パラメータ表示欄186の右上方には、二つ名変更ボタン186aおよびメモ入力ボタン186bが設けられている。二つ名変更ボタン186aがタップされると、不図示の二つ名一覧画面が表示される。二つ名一覧画面には、育成キャラクタが獲得した二つ名が一覧表示される。なお、育成メインゲームでは、多数の二つ名が設けられており、全ての二つ名に対して、獲得条件が設定されている。

【0157】

育成メインゲームにおいては、獲得条件が満たされた二つ名が育成キャラクタに付与される。プレイヤは、育成キャラクタが獲得した二つ名の中からいずれか1つを選択して、当該育成キャラクタに設定することができる。プレイヤは、二つ名一覧画面において、育成キャラクタに設定する二つ名を変更することができる。二つ名変更ボタン186aの左側には、現在設定されている二つ名（ここではL e g e n d）が表示されている。

【0158】

なお、二つ名の獲得条件の一例としては、育成対象キャラクタが所定数のファンを獲得すること、能力パラメータまたは適性パラメータが所定値以上であること、所定のスキルを獲得すること、レースの勝利数が所定数以上であること、特定のレースにおいて所定の着順（例えば1着）を獲得すること等が挙げられる。

【0159】

また、メモ入力ボタン186bがタップされると、不図示の文字入力画面が表示される。文字入力画面では、例えば、平仮名、カタカナ、数字、ローマ字等を9文字以内で入力することができる。文字入力画面で入力された文字は、メモとして、育成キャラクタに紐付けて記憶される。育成キャラクタにメモが記憶されている場合、メモ入力ボタン186bの左側にメモ（ここではa b c d e f g）が表示される。

【0160】

なお、育成キャラクター覧画面180における育成キャラクタアイコン182のソート条件には、上記のメモが含まれている。したがって、プレイヤは、育成キャラクタにメモを紐付けて登録することで、継承キャラクタとして使用する育成キャラクタをより一層検索しやすくなる。

【0161】

10

20

30

40

50

また、能力パラメータ表示欄 186 の下方には、適性情報表示欄 187 が表示される。適性情報表示欄 187 には、芝およびダートのそれぞれの場適性に係る適性パラメータ、短距離、マイル、中距離、長距離のそれぞれの距離適性に係る適性パラメータ、逃げ、先行、差し、追込のそれぞれの脚質適性に係る適性パラメータが表示される。

【0162】

適性情報表示欄 187 の下方には、各種情報表示欄 188 が表示される。各種情報表示欄 188 には、スキル表示タブ 188a、継承情報表示タブ 188b、育成情報表示タブ 188c、クローズ操作部 188d が設けられる。スキル表示タブ 188a がタップされると、図 12 に示すように、育成キャラクタの獲得済みスキルが各種情報表示欄 188 に表示される。また、継承情報表示タブ 188b がタップされると、図 13 に示すように、育成キャラクタの継承情報が表示される。10

【0163】

なお、各種情報表示欄 188 は、継承キャラクタとして設定可能な育成キャラクタと、育成キャラクタの育成に用いられた継承キャラクタとに基づいて、継承情報が表示される。継承情報には、当該育成キャラクタの育成に使用された継承キャラクタの情報、育成キャラクタが有する因子情報、継承キャラクタが有する因子情報が含まれる。ここでは、育成キャラクタごとに、継承情報が一覧表示されている。

【0164】

具体的には、育成キャラクタに紐付けられた因子情報と、当該育成キャラクタの継承キャラクタに紐付けられた因子情報とが、キャラクタごとに表示される。したがって、各種情報表示欄 188 を上下方向にスクロールさせることで、プレイヤは、3 体のキャラクタそれぞれが有する因子情報を確認することができる。20

【0165】

各種情報表示欄 188 には、基礎能力因子、適性因子およびキャラ因子が色分けされて表示されている。例えば、基礎能力因子は青色で表示され、適性因子は赤色で表示され、キャラ因子は緑色で表示される。なお、各種情報表示欄 188 には、レース因子およびスキル因子がそれぞれ白色で表示される。また、各因子情報には、因子レベルを示す星が重畠表示されている。

【0166】

また、育成情報表示タブ 188c がタップされると、図 14 に示すように、育成キャラクタの育成情報が表示される。なお、育成情報には、当該育成キャラクタを育成する際に使用したサポートカードの種別、継承第 1 世代および継承第 2 世代のキャラクタ、育成ゲームにおける個人レースの戦績、さらには、評価点が含まれる。30

【0167】

このように、キャラクタ詳細ダイアログ 185A において、プレイヤは、育成キャラクタに関する種々の情報を確認することができる。したがって、デッキに編成する継承キャラクタに紐付けられた情報をプレイヤが把握しやすく、プレイヤの利便性を向上させることができる。

【0168】

なお、キャラクタ詳細ダイアログ 185A において、クローズ操作部 188d がタップされると、キャラクタ詳細ダイアログ 185A が閉じられ、育成キャラクター一覧画面 180 がディスプレイ 26 に表示される。また、図 7A、図 7B、図 7C、図 7D に示すように、継承キャラクタ選択画面 170 および育成キャラクター一覧画面 180 の右上方には、スキル表示ボタン 172 が設けられている。スキル表示ボタン 172 がタップされると、継承キャラクタとして仮選択中の育成キャラクタにより、獲得の可能性があるスキルが一覧表示される。40

【0169】

図 15 は、スキル表示ダイアログ 185B を説明する図である。スキル表示ダイアログ 185B には、スキルに対応するアイコンと、スキルの内容とが記されたスキル説明表示欄 189 が表示される。このスキル説明表示欄 189 に表示されるスキルは、現在選択中

10

20

30

40

50

の育成キャラクタが継承キャラクタとして使用された場合に、育成対象キャラクタが獲得する可能性のある全てのスキルが一覧表示される。

【0170】

すなわち、スキル表示ダイアログ185Bには、育成キャラクタが有するキャラ因子またはスキル因子に紐付くスキルに関する情報が一覧表示される。図7Cに示すように、1体の育成キャラクタが継承キャラクタに選択された状態でスキル表示ボタン172がタップされた場合には、この1体の育成キャラクタ（継承キャラクタ）が有するキャラ因子およびレース因子に紐付くスキルがスキル表示ダイアログ185Bに表示される。

【0171】

一方、図7Dに示すように、2体の育成キャラクタが継承キャラクタに選択された状態でスキル表示ボタン172がタップされた場合には、2体の育成キャラクタ（継承キャラクタ）それぞれが有するキャラ因子およびレース因子に紐付くスキルがスキル表示ダイアログ185Bに表示される。

10

【0172】

以上のように、本実施形態では、キャラクタ詳細ダイアログ185Aにおいて、継承キャラクタとして設定可能な育成キャラクタごとに、継承情報（因子情報）が一覧表示される。また、スキル表示ダイアログ185Bにおいて、継承情報（因子情報）に紐付く情報（スキル）が一覧表示される。このとき、継承キャラクタとして設定可能な育成キャラクタと、育成キャラクタの生成に用いられた継承キャラクタとに基づいて、キャラクタ詳細ダイアログ185Aおよびスキル表示ダイアログ185Bが表示される。キャラクタ詳細ダイアログ185Aおよびスキル表示ダイアログ185Bの表示により、プレイヤの利便性が向上する。

20

【0173】

なお、ここでは、スキル表示ダイアログ185Bに、因子の発動によって獲得可能なスキルが表示されることとした。ただし、スキル表示ダイアログ185Bにおいて、スキルに関する情報ではなく、スキルのヒントが得られる因子情報が表示されてもよい。いずれにしても、継承情報（因子情報）は、複数の種別（因子種別）に分類され、スキル表示ダイアログ185Bには、所定の種別に分類される継承情報（キャラ因子およびレース因子）、もしくは、継承情報に紐付く情報（スキルに関する情報）が表示されるとよい。このように、スキル表示ダイアログ185Bには、一部の継承情報が抽出されたうえで、抽出された継承情報に関する表示がなされると言える。

30

【0174】

そして、2体の育成キャラクタが仮選択状態となると、継承キャラクタ選択画面170に設けられるネクスト操作部154が有効化される。有効化されたネクスト操作部154がタップされると、仮選択状態の育成キャラクタが、継承キャラクタとしてデッキに仮登録され、後述するサポートカード編成画面190が表示される。

40

【0175】

なお、プレイヤは、継承キャラクタ選択画面170において、必ず、2体の育成キャラクタを継承キャラクタとして選択しなければならない。2体の継承キャラクタが仮選択状態となっていない場合には、図7A、図7Cに示すように、ネクスト操作部154がグレーアウトしており、プレイヤの操作が受け付けられない。また、継承キャラクタ選択画面170には、リターン操作部153が設けられており、リターン操作部153がタップされると、育成対象キャラクタ選択画面150が表示される。

【0176】

サポートカードの登録

図16Aは、サポートカード編成画面190を説明する第1の図である。継承キャラクタ選択画面170において2体の継承キャラクタが登録されると、図16Aに示すサポートカード編成画面190が表示される。サポートカード編成画面190の中央部には、サポートカード表示領域191が設けられている。サポートカード表示領域191には、複数のサポートカード表示枠192が含まれる。また、サポートカード編成画面190の下

50

部には、「Return」と記されたリターン操作部153、および、「START」と記されたスタート操作部193が表示される。

【0177】

サポートカード表示領域191には、サポートカード表示枠192が複数（ここでは6つ）表示される。サポートカード表示枠192は、プレイヤが設定可能なサポートカードと同じ数表示される。なお、サポートカード編成画面190の表示当初では、サポートカード表示枠192が空欄で表示されている。

【0178】

本実施形態では、プレイヤは、6種類のサポートカードをデッキに設定することができる。なお、プレイヤが設定可能な6種類の内、一部（例えば、5種類）は、プレイヤが所持しているサポートカードの中から選択可能である。また、プレイヤが設定可能な6種類の内、他の一部（例えば、1種類）は、フレンド等、他のプレイヤがレンタルカードとして設定しているサポートカードの中から選択可能である。

10

【0179】

図16Bは、サポートカード選択画面200を説明する図である。図16Aのサポートカード編成画面190において、サポートカード表示枠192（右下に表示されるサポートカード表示枠192を除く）がタップされると、図16Bに示すサポートカード選択画面200がディスプレイ26に表示される。サポートカード選択画面200には、プレイヤが所持しているサポートカードに対応するカードアイコン201が一覧表示される。サポートカード選択画面200に表示されているカードアイコン201をタップすることで、プレイヤは、サポートカードを選択することができる。

20

【0180】

なお、図示は省略するが、サポートカード編成画面190において、右下に表示されるサポートカード表示枠192がタップされると、フレンド、もしくは、例えば抽選等の所定条件に基づいて抽出されたプレイヤがレンタルカードとして設定しているサポートカードが、サポートカード選択画面200に表示される。このときサポートカード選択画面200に表示されるサポートカードをタップすることで、プレイヤは、フレンドのサポートカードを1つ選択することができる。このように、プレイヤは、育成ゲームにおいて、他のプレイヤが所持するサポートカードを使用することができる。

30

【0181】

図17Aは、サポートカードテーブルを説明する図である。図17Aに示すように、サポートカードテーブルには、プレイヤの所持しているサポートカードの種別（すなわちサポートカードID）ごとに、サポートキャラクタの種類（すなわちキャラクタID）、リアリティ、レベル、得意トレーニングが紐付けて記憶されている。

【0182】

各サポートカードには、少なくとも1体のサポートキャラクタ（キャラクタID）が紐付けられている。換言すれば、サポートカードIDには、必ず、1以上のキャラクタIDが紐付けられている。ここでは、1体のサポートキャラクタが紐付けられたサポートカードと、5体のサポートキャラクタが紐付けられたサポートカードとが設けられている。ただし、これに限らず、サポートカードには、例えば2～4体、あるいは、6体以上のサポートキャラクタが紐付けられてもよい。

40

【0183】

図17Aに示す、種別がA1、A2、A3のサポートカードには、いずれもキャラクタAが紐付けられている。また、種別がGのサポートカードには、キャラクタA、C、E、H、Kの5体のキャラクタが紐付けられている。以下では、種別がGのサポートカードのように、複数体のキャラクタが紐付けられたサポートカードをグループサポートカードと呼ぶ場合がある。なお、ここでは、グループサポートカードには、得意トレーニングが設定されていない。ただし、グループサポートカードにも、他のサポートカードと同様に、得意トレーニングが設定されてもよい。

【0184】

50

本実施形態では、サポートカードごとにレアリティが設定されている。レアリティは、R（レア）、S R（スーパー・レア）、S S R（スーパースペシャル・レア）の3段階が設けられている。なお、Rが最もレアリティが低く、S S Rが最もレアリティが高く設定されている。本実施形態では、レアリティが高いサポートカードほど、後述するサポート効果が高くなる傾向がある。また、本実施形態では、レアリティが高いサポートカードほど、後述する所持スキルの数やサポートイベントの数が多くなる傾向がある。

【0185】

サポートカードのレベルは、レベル1～レベル50の50段階が設けられている。サポートカードのレベルは、プレイヤによって上昇させることができ、プレイヤによって上昇されたレベルがサポートカードごとに記憶されている。なお、サポートカードのレベルは、ゲーム内通貨やアイテム等を使用することで上昇させることができる。なお、サポートカードのレベルは、レアリティによって上限が設けられている。

10

【0186】

例えば、レアリティがRのサポートカードは、レベル20が上限として定められており、レアリティがS Rのサポートカードは、レベル25が上限として定められており、レアリティがS S Rのサポートカードは、レベル30が上限として定められている。

【0187】

なお、レベルの上限は、所定の条件が成立した場合に、段階的に上昇させることができる。例えば、レアリティがRのサポートカードは、最大でレベル40まで上限を上昇させることができ、レアリティがS Rのサポートカードは、最大でレベル45まで上限を上昇させることができ、レアリティがS S Rのサポートカードは、最大でレベル50まで上限を上昇させることができとしてもよい。

20

【0188】

図17Bは、サポート効果テーブルを説明する図である。図17Bに示すように、サポート効果テーブルには、プレイヤの所持しているサポートカードの種別ごとに、サポート効果が記憶されている。

30

【0189】

サポート効果は、育成メインゲームにおける各種ステータスを上昇させるものである。サポートカードには、サポート効果の対象が複数設けられている。サポート効果の対象の一例としては、体力、速さ、スタミナ、パワー、根性、賢さ等が挙げられる。

【0190】

図17Cは、所持スキルテーブルを説明する図である。図17Cに示すように、所持スキルテーブルには、プレイヤが所持するサポートカードごとに、所持スキルが設定されている。本実施形態では、育成対象キャラクタに設定可能なキャラクタが所持スキルを所持しているように、サポートカードごとに所持スキルが設定されている。育成メインゲームでは、ヒントイベントが発生することで、サポートカードごとに設定されている所持スキルを育成対象キャラクタが所持可能となる。

【0191】

図17Dは、サポートイベントテーブルを説明する図である。図17Dに示すように、サポートイベントテーブルには、プレイヤが所持するサポートカードごとに、発生し得るサポートイベントが記憶されている。サポートイベントとは、育成メインゲームの実行中に発生する可能性があるイベントである。サポートイベントが発生した場合、育成対象キャラクタの各種ステータスの値が上昇または減少する場合がある。

40

【0192】

例えば、ターン数に応じて発生するサポートイベントが決定されてもよいし、所定の抽選により発生するサポートイベントが決定されてもよい。また、発生するサポートイベントは、1ターンに複数選択されてもよい。いずれにしても、予め設定されている所定の決定方法にしたがって、発生するサポートイベントが決定されればよい。

【0193】

なお、サポートイベントには、育成ゲームのターン開始時に発生し得る第1ヒントイベ

50

ント、育成ゲームの後述するトレーニング実行後に発生し得る第2ヒントイベント、育成ゲームのターン開始時に発生し得る第1能力イベント、育成ゲームのトレーニング実行後に発生し得る第2能力イベント等が含まれてもよい。第1ヒントイベントおよび第2ヒントイベントは、スキルを所持あるいは獲得可能とするイベントである。また、第1能力イベントおよび第2能力イベントは、キャラクタの能力パラメータの数値を上昇または減少させるイベントである。以下、第1ヒントイベントおよび第1能力イベントを総称して第1イベントと呼び、第2ヒントイベントおよび第2能力イベントを総称して第2イベントと呼ぶ。

【0194】

図16Cは、サポートカード編成画面190を説明する第2の図である。本実施形態では、6つ全てのサポートカードが選択されると、図16Cに示すように、スタート操作部193が操作可能になる。一方で、6つ全てのサポートカードが選択されていない場合には、図16Aに示すように、スタート操作部193が操作不可能となっている。

10

【0195】

なお、サポートカード編成画面190においてリターン操作部153が操作されると、図7Dに示す継承キャラクタ選択画面170がディスプレイ26に表示される。また、図16Cに示すように、サポートカード編成画面190においてスタート操作部193がタップされると、選択中のサポートカードが仮登録され、最終確認画面205(図18A)が表示される。

20

【0196】

図18Aは、最終確認画面205を説明する図である。図18Bは、プリセット選択画面205Aを説明する図である。最終確認画面205には、プレイヤが選択した育成対象キャラクタ、第1継承グループを構成する育成キャラクタ、第2継承グループを構成する育成キャラクタ、サポートカードが表示される。また、最終確認画面205には、プリセット表示部205aが表示される。プリセット表示部205aには、現在選択されているプリセットの番号が示されている。

30

【0197】

ここで、プリセットというのは、育成メインゲームにおいて、育成対象キャラクタを出走させるレースの予約情報である。プレイヤは、全てのレースから任意のレースを選択してプリセットを作成することができる。プリセットは、複数保存することが可能であり、最終確認画面205では、保存されているプリセットから1つを選択することができる。具体的には、プリセット表示部205aがタップされると、図18Bに示すプリセット選択画面205Aが表示される。

30

【0198】

プリセット選択画面205Aには、保存されているプリセットに対応するプリセット読み出しボタン206aが表示される。プレイヤは、いずれかのプリセット読み出しボタン206aをタップした後、セレクト操作部206cをタップすることで、プリセットを設定することができる。なお、セレクト操作部206cがタップされると、プリセット選択画面205Aが閉じられて、最終確認画面205が表示される。また、プリセット選択画面205Aのキャンセル操作部206bがタップされると、プリセットが変更されことなく、プリセット選択画面205Aが表示される。

40

【0199】

なお、最終確認画面205において、キャンセル操作部205cがタップされると、サポートカード編成画面190が表示される。一方、スタート操作部205bがタップされると、ゲーム画面210(図20A)がディスプレイ26に表示される。

【0200】

なお、本実施形態では、サポートカードの登録時に、育成対象キャラクタとして設定されるキャラクタ種別と、サポートキャラクタとして設定されるキャラクタ種別との重複がされないように制限されている。具体的には、育成対象キャラクタに設定可能なキャラクタにはキャラクタIDが紐付けられている。また、サポートカードには、必ず、サポート

50

キャラクタとなるキャラクタのキャラクタIDが1つ以上紐付けられている。

【0201】

ここでは、1の育成対象キャラクタと、6つのサポートカードとが登録される。この際、育成対象キャラクタのキャラクタID、および、サポートキャラクタのキャラクタIDは、1つも重複してはならない。したがって、プレイヤは、例えば、育成対象キャラクタと同じキャラクタが紐付けられたサポートカードをデッキに編成することができない。また、プレイヤは、同一のキャラクタが紐付けられた複数のサポートカードをデッキに編成することができない。

【0202】

さらに、1のグループサポートカードに紐付けられた複数のキャラクタIDは、重複することなく、全て異なっている。グループサポートカードがデッキに編成された場合には、グループサポートカードに紐付けられた全てのキャラクタIDと、他のサポートカードに紐付けられたキャラクタIDと、育成対象キャラクタに紐付けられたキャラクタIDとが重複してはならない。このように、プレイヤは、育成対象キャラクタとサポートキャラクタ、および、サポートキャラクタ間でキャラクタIDが重複しないように、デッキを編成しなければならない。

10

【0203】

そして、育成対象キャラクタ、継承キャラクタおよびサポートカードが登録されると、準備段階処理が終了する。

【0204】

20

育成段階処理

準備段階処理が終了すると、育成段階処理が開始される。育成段階処理では、育成対象キャラクタの育成が可能となる。なお、以下では、理解を容易とするために、まず、育成メインゲームの基本的な流れについて説明する。

【0205】

図19は、選択項目テーブルを説明する図である。なお、ここでは、全ての育成対象キャラクタに対して共通の選択項目テーブルが用いられる。ただし、育成対象キャラクタの種別ごとに選択項目テーブルが設けられてもよい。育成ゲームは、図19に示すように、第1ターンから第78ターンで構成されており、各ターンにおけるプレイヤの選択結果に応じて各種のパラメータの更新が行われるゲーム性を有している。また、選択項目テーブルによれば、ターンごとに、プレイヤが選択可能な項目が予め設定されている。

30

【0206】

図20Aは、ゲーム画面210を説明する図である。図20Bは、特別レース画面230を説明する図である。育成段階処理に移行すると、図20Aに示すゲーム画面210がディスプレイ26に表示される。ゲーム画面210の上部には、体力表示部211および調子表示部212が表示される。育成対象キャラクタには、「体力」のパラメータが設けられている。「体力」のパラメータは、主に、後述するトレーニングで失敗する確率である失敗率の算出に用いられる。体力表示部211は、「体力」の上限値に対して、現在の育成対象キャラクタの「体力」の残量が視覚的に把握できるように表示される。

【0207】

40

また、育成対象キャラクタには、「調子」のパラメータが設けられている。調子表示部212は、現在の育成対象キャラクタの「調子」が、複数段階（絶不調、不調、普通、好調、絶好調の5段階）で視覚的に把握できるように表示される。「調子」のパラメータが高いほど、育成対象キャラクタのレース展開が有利となり、また、トレーニングによる能力パラメータの上昇値が大きくなる。

【0208】

また、図20Aに示すように、ゲーム画面210の中央部には、育成対象キャラクタの画像、ステータス表示部213およびスキルポイント表示部214が表示される。ステータス表示部213には、現在の育成対象キャラクタのステータスが、数値および複数段階のランク（G+、F、F+、E、E+、D、D+、C、C+、B、B+、A、A+、S、S

50

S、SS⁺の16段階)で示される。具体的には、本実施形態では、「Speed」(スピード)、「Stamina」(スタミナ)、「Power」(パワー)、「Spirit」(根性)、「Wisdom」(賢さ)の各能力パラメータの数値およびランクが表示される。また、スキルポイント表示部214には、育成ゲームにおいて育成対象キャラクタが所持しているスキルポイントの残量が数値で示される。

【0209】

また、図20Aに示すように、ゲーム画面210の下部には、「Rest」と記されたレスト操作部215、「Training」と記されたトレーニング操作部216、「Skill」と記されたスキル操作部217、「Going Out」と記されたお出かけ操作部218、「Race」と記された個人レース操作部219、「Shop」と記されたショップ操作部220が表示されている。また、ゲーム画面210の上部には、現在のターン数が表示される。また、ゲーム画面210の中央部には、アイテム操作部221が表示されている。10

【0210】

図19に示すように、プレイヤは、各ターンにおいて「Rest」(レスト操作部215)、「Training」(トレーニング操作部216)、「Going Out」(お出かけ操作部218)、「Race」(個人レース操作部219)、後述する「Special Race」(特別レース操作部231)のいずれかの項目を選択することができる。このとき、図19に示すように、各ターンにおいて選択可能な項目が予め設定されている。20

【0211】

「Rest」の項目が選択されると、体力が回復し、「Going Out」の項目が選択されると、体力および調子のいずれか一方または双方が上昇する。また、「Training」の項目が選択されると、後述するトレーニングが実行可能となり、「Race」の項目が選択されると、個人レースに育成対象キャラクタを出走させることができ、「Special Race」の項目が選択されると、後述する特別レースに育成対象キャラクタを出走させることができる。これら「Rest」、「Training」、「Going Out」、「Race」、「Special Race」の項目が選択されてゲーム結果が導出されると、現在のターンが終了し、次のターンに移行する。

【0212】

本実施形態では、図19に示す第74ターン、第76ターン、第78ターンのように、レスト操作部215、トレーニング操作部216、お出かけ操作部218、個人レース操作部219の各項目が選択不可能となるターンが設定されている。このようなターンでは、図20Bに示すように、特別レース画面230がディスプレイ26に表示される。30

【0213】

特別レース画面230には、「Special Race」と記された特別レース操作部231、スキル操作部217、ショップ操作部220、アイテム操作部221が表示され、プレイヤによりいずれかの操作部が選択可能となる。特別レース操作部231が選択されると、個人レース操作部219が選択された場合に実行される個人レースとは異なる特別レースが実行される。特別レースは、第74ターン、第76ターン、第78ターンのそれぞれで1レースずつ、合計3レースで行われ、後述する勝利ポイントの累計値に基づいて優勝を決めるレースである。40

【0214】

一方で、スキル操作部217、ショップ操作部220、アイテム操作部221は、全てのターンにおいて常時選択可能に設定されている。なお、詳しくは後述するが、スキル操作部217、ショップ操作部220、アイテム操作部221の操作により、スキル獲得、ショップ利用、アイテム使用を行ったとしても、当該ターンは終了しない。

【0215】

本実施形態では、個人レースあるいは特別レースが実行されると、レースの着順に応じて、育成対象キャラクタが勝利ポイント、特別通貨を獲得することができる。各レースに50

は、勝利ポイント、特別通貨の獲得数が着順ごとに定められている。着順が高順位であるほど、獲得する勝利ポイント、特別通貨の数値が大きくなる。

【0216】

また、難易度の高いレースほど、より多くの勝利ポイント、特別通貨が獲得可能となる。例えば、G I、G I I、G I I Iのグレードにおいて、グレードの高いレースほど、より多くの勝利ポイント、特別通貨が獲得可能となる。

【0217】

本実施形態の育成ゲームでは、規定のターン区間にごとに予め定められた目標ポイントが設定されている。上述したように、本実施形態では、育成ゲームは、第1ターンから第78ターンで構成されている。ここで、第1ターンから第24ターンまでを初期ターン区間と呼び、第25ターンから第48ターンまでを中期ターン区間と呼び、第49ターンから第72ターンまでを後期ターン区間と呼び、第73ターンから第78ターンまでを最終ターン区間と呼ぶ。10

【0218】

初期ターン区間、中期ターン区間、後期ターン区間それぞれにおいて、目標ポイントが設定されている。各ターン区間に設定されている目標ポイントは、同じであってもよいし、異なっていてもよい。プレイヤは、各ターン区間において獲得した勝利ポイントの累計値を目標ポイントに順次到達させることで最終ターン区間まで育成ゲームを進めることができる。

【0219】

また、目標ポイントは、育成対象キャラクタの場適性に係る適性パラメータと、距離適性に係る適性パラメータとに基づいて設定される。例えば、芝の適性パラメータがダートの適性パラメータよりも高い育成対象キャラクタの目標ポイントは、ダートの適性パラメータが芝の適性パラメータよりも高い育成対象キャラクタの目標ポイントよりも高く設定される。また、例えば、短距離、マイル、中距離、長距離の適性パラメータのうち最も高いパラメータの種別に応じて異なる目標ポイントが設定されてもよい。また、場適性および距離適性に係る適性パラメータの組合せに応じて異なる目標ポイントが設定されてもよい。このように、場適性や距離適性に係る適性パラメータに応じて、各育成対象キャラクタに設定される目標ポイントが異なる場合がある。なお、目標ポイントは、育成対象キャラクタの場適性および距離適性に加えて、脚質適性に係る適性パラメータに基づいて設定されてもよい。30

【0220】

図20Aに示されるゲーム画面210の上部には、現在のターン区間における目標ポイントと、目標ポイントに到達するまでに必要な残りの勝利ポイントである残り勝利ポイントが表示される。目標ポイントおよび残り勝利ポイントが表示されることで、プレイヤは、現在のターン区間において獲得すべき勝利ポイントを把握することができる。

【0221】

なお、プレイヤが獲得した勝利ポイントは、初期ターン区間、中期ターン区間、後期ターン区間にごとにリセットされる。ただし、プレイヤが獲得した勝利ポイントは、ターン区間にごとにリセットされずに、順次累計されてもよい。

【0222】

初期ターン区間、中期ターン区間、後期ターン区間の全てにおいて目標ポイントが達成されると、最終ターン区間の育成ゲームに進むことができる。最終ターン区間では、全3レース（第1レース、第2レース、第3レース）の特別レースが実行され、レース結果に応じた勝利ポイントの累計値に基づいて優勝が決定される。

【0223】

特別レースの進行が進むほど、獲得できる勝利ポイントの値が大きくなる。具体的に、全3レースのうち、第1レースの1着時に獲得できる勝利ポイントの値よりも、第2レースの1着時に獲得できる勝利ポイントの値の方が大きく、第2レースの1着時に獲得できる勝利ポイントの値よりも、第3レースの1着時に獲得できる勝利ポイントの値の方が大

10

20

30

40

50

きい。

【0224】

また、全3レースにおいて育成対象キャラクタと勝敗を競うために出走する所謂ノンプレイヤキャラクタ(以下、NPCという)は、同一のキャラクタIDを有するNPCである。ただし、特別レースの進行が進むほど、NPCのパラメータが高くなるように設定されている。例えば、第1レース、第2レース、第3レースの順で、NPCの能力パラメータに加わる補正值を大きくし、NPCの能力パラメータを高くする。なお、最終ターン区間では、特別レースでの順位が所定の順位以下(例えば、2位以下)であっても、育成ゲームは終了せずに、特別レースを続行させることができる。

【0225】

図21Aは、トレーニング画面240を説明する第1の図である。図21Bは、トレーニング画面240を説明する第2の図である。ゲーム画面210のトレーニング操作部216が操作されると、ディスプレイ26にトレーニング画面240が表示される。

【0226】

図21Aに示すように、トレーニング画面240の下部には、トレーニング項目が表示される。ここでは、「Speed」と記されたスピード操作部241、「Stamina」と記されたスタミナ操作部242、「Power」と記されたパワー操作部243、「Spirit」と記された根性操作部244、「Wisdom」と記された賢さ操作部245が表示される。

【0227】

プレイヤが各操作部241～245のいずれかを1回タップすると、タップした操作部241～245に対応するトレーニング項目が仮選択される。このとき、仮選択されたトレーニング項目に対応する操作部241～245が強調表示される。図21Aでは、パワー操作部243が仮選択された状態を示している。また、図21Bでは、スタミナ操作部242が仮選択された状態を示している。

【0228】

また、各操作部241～245には、トレーニング項目ごとのトレーニングレベルが併せて表示される。トレーニングレベルは、各トレーニング項目の選択回数に応じて上昇するパラメータであり、トレーニングレベルが高いほど、トレーニングを実行した際の能力パラメータの上昇値が大きくなる。トレーニングレベルは、当初はレベル1に設定されており、最大でレベル5まで上昇する。

【0229】

また、仮選択中の操作部241～245には、「Failure」と記された失敗率表示部246が表示される。失敗率表示部246に数値で表示される失敗率は、体力表示部211に表示される体力の残量に反比例して上昇するように設定されている。

【0230】

また、ステータス表示部213には、仮選択中の操作部241～245に対応するトレーニングが実行され、成功した場合に能力パラメータが上昇する値が表示される。例えば、図21Aに示す例では、パワー操作部243が仮選択されており、ステータス表示部213の「Stamina」に「+8」、「Power」に「+10」と表示されている。また、図21Bに示す例では、スタミナ操作部242が仮選択されており、ステータス表示部213の「Stamina」に「+15」、「Spirit」に「+5」と表示されている。

【0231】

また、トレーニングを実行して成功した場合に、所定のイベントが発生するトレーニング項目に対応する操作部241～245には、イベント報知表示247が表示される。なお、イベント報知表示247は、イベントの種別に応じて異なる表示態様とすることができる。

【0232】

ここで、最終ターン区間ににおいて特別レースが実行される第74ターン、第76ターン

10

20

30

40

50

および第78ターン以外のターンでは、ターン開始時に、デッキに編成されたサポートカードに紐付くサポートキャラクタを、各トレーニングに配置するか否かが決定される。換言すれば、サポートカードあるいはサポートキャラクタをトレーニング項目に紐付けるか否かが決定される。

【0233】

また、サポートキャラクタがトレーニング項目に紐付けられる場合には、5つのトレーニング項目のうち、いずれか1つに、サポートキャラクタが紐付けられる。図21Bに示すように、トレーニング画面240の右上部には、仮選択中の操作部241～245のトレーニング項目ごとに、トレーニングに配置されたサポートキャラクタを示す配置キャラクタアイコン248が表示される。サポートキャラクタが配置されると、トレーニングに成功した際の能力パラメータの上昇値が大きくなる。10

【0234】

ここで、各サポートキャラクタには、絆ゲージが設定されている。絆ゲージは、例えば0から100の値である。現在の絆ゲージの値は、配置キャラクタアイコン248ごとに表示される絆ゲージ表示部248aによって視覚的に把握可能となっている。

【0235】

絆ゲージは、初期値が0であり、最大値が100である。ただし、サポートカードによつては、初期値を+10するといった具合に、絆ゲージの初期値を上昇させるサポート効果が設定されたものがある。この場合、このサポート効果を有するサポートカードに紐付けられたサポートキャラクタについては、育成メインゲームの開始時から、絆ゲージの初期値が0よりも高くなる。20

【0236】

また、絆ゲージは、予め設定された上昇条件の成立により上昇する。上昇条件としては、例えば、サポートキャラクタの配置されたトレーニングが選択（ここでは成功とする）されることが挙げられる。また、例えば、後述するショップで購入した所定のアイテムを使用すること、あるいは、後述する第1イベントや第2イベントが発生することが上昇条件として設けられている。

【0237】

サポートキャラクタが配置されたトレーニング（以下、合同トレーニングと呼ぶ）に成功した際の能力パラメータの上昇値は、配置されたサポートキャラクタの絆ゲージの値が高いほど大きくなる。また、サポートキャラクタが配置される合同トレーニングにおいて、友情トレーニングが発生することがある。友情トレーニングが発生すると、トレーニングに成功した際の能力パラメータの上昇値が、例えば10～50%上昇する。30

【0238】

友情トレーニングは、複数のサポートキャラクタについて同時に発生可能である。したがって、例えば、1のターンにおいて、複数のサポートキャラクタについて同時に友情トレーニングが発生すると、1回のトレーニングで能力パラメータを大きく上昇させることができる。

【0239】

ただし、友情トレーニングには、発生条件が設定されている。詳しくは後述するが、友情トレーニングの発生条件は、グループサポートカードと、その他のサポートカードとで異なる。グループサポートカード以外のサポートカードには、友情トレーニングの発生条件として、サポートキャラクタの絆ゲージの値が所定値（例えば80）以上であること、および、サポートカードごとに設定された所定のトレーニングにサポートキャラクタが配置されることが設定されている。40

【0240】

ここで、グループサポートカード以外のサポートカードについては、友情トレーニングの発生条件である所定のトレーニングとして、得意トレーニングが設定されている。つまり、サポートキャラクタが1体のみ紐付けられたサポートカードは、その得意トレーニングにサポートキャラクタが配置された場合に限り、友情トレーニングが発生し得る。例え50

ば、スピードのトレーニングが得意トレーニングに設定されたサポートカードについては、当該サポートカードに紐付けられたサポートキャラクタが、スピードのトレーニングに配置された場合に限り、友情トレーニングが発生し得る。

【0241】

これに対して、複数のサポートキャラクタが紐付けられたグループサポートカードには、他のサポートカードと異なる友情トレーニングの発生条件が設定されている。詳しくは後述するが、育成メインゲーム中には、特典ゾーンが設定されることがある。この特典ゾーン中、グループサポートカードに基づく友情トレーニングが発生可能となる。特典ゾーン中は、グループサポートカードが配置されたトレーニング種目に拘わらず、友情トレーニングが発生する。つまり、特典ゾーン中、グループサポートカードの配置されたトレーニングを実行することで、トレーニング種目に拘わらず、グループサポートカードに基づく友情トレーニングが発生することとなる。10

【0242】

なお、上記のとおり、グループサポートカードには、複数のキャラクタがサポートキャラクタとして紐付けられている。ただし、各トレーニングには、1つのグループサポートカードとして紐付けられ、複数のサポートキャラクタのそれぞれが各トレーニングに紐付けられるわけではない。

【0243】

また、合同トレーニングに成功した場合に、配置キャラクタアイコン248に表示されたキャラクタに対応して所定のイベントが発生することがある。この場合には、対応する配置キャラクタアイコン248にイベント報知表示247が表示される。以下、イベント報知表示247が表示された配置キャラクタアイコン248を、イベント配置キャラクタアイコン249と呼ぶ。20

【0244】

なお、トレーニングに配置されるキャラクタには、準備段階処理でプレイヤにより登録されたサポートカードに対応するサポートキャラクタ以外のキャラクタが含まれてもよい。例えば、トレーニングに配置されるキャラクタは、ゲームに実装されている全サポートキャラクタのうちの中からランダム抽選で選択されたキャラクタであってもよい。その場合、トレーニング画面240には、登録されたサポートキャラクタ以外のキャラクタを示すキャラクタアイコン248が表示される。30

【0245】

また、合同トレーニングが実行されると、プレイヤにより登録されたサポートキャラクタ以外のキャラクタに紐付くイベントが発生してもよい。ここで、プレイヤにより登録されていないキャラクタに紐付くイベントの発生率は、プレイヤにより登録されたサポートキャラクタに紐付くイベントの発生率よりも低い。この場合も、トレーニング画面240に表示されたキャラクタアイコン248にイベント報知表示247が表示されてもよい。

【0246】

図21Cは、トレーニング結果報知画面240aを説明する図である。仮選択中の操作部241～245のいずれかが再度タップされると、タップされた操作部241～245に対応するトレーニングが実行される。トレーニングが実行されると、トレーニングの成功または失敗が報知されるトレーニング結果報知画面240aがディスプレイ26に表示される。ここでは、「成功」という文字が表示され、トレーニングの成功がプレイヤに報知されている。40

【0247】

また、このとき、トレーニングの成功に基づいて、ステータス表示部213の能力パラメータが更新表示される。すなわち、プレイヤによって選択されたトレーニング項目に対応する育成対象キャラクタの能力パラメータが更新される。

【0248】

ここでは、図21Aまたは図21Bでステータス表示部213に表示されていたトレーニングが成功した場合に上昇する能力パラメータの値が加算される。また、実行したトレ

ーニング項目に応じて体力表示部 211 の表示が更新される。スピード、スタミナ、パワー、根性のいずれかのトレーニングに成功した場合には、体力が減少する。一方で、賢さのトレーニングを行った場合には、体力が回復する。

【0249】

また、トレーニングに失敗した場合には、所定のペナルティが付与されことがある。ペナルティの内容としては、具体的には、体力の低下、能力パラメータの数値の低下、調子の低下等が含まれる。なお、例えば、失敗率が低いときに付与されるペナルティよりも、失敗率が高いときに付与されるペナルティの方が、不利（例えば、体力の低下する数値が大きい、能力パラメータの低下する数値が大きい、減少する調子の段階が大きい）なものとすることができる。

10

【0250】

また、ペナルティの内容は、トレーニング項目に応じて決定されてもよい。例えば、スピードのトレーニングに失敗した場合にはスピードの能力パラメータの値が減少し、パワーのトレーニングに失敗した場合にはパワーの能力パラメータの値が減少することとしてもよい。また、一部のトレーニング項目（例えば、賢さ）については、トレーニングが失敗したとしても、ペナルティが付与されないこととすることができる。

【0251】

図21Dは、イベント画面240bを説明する図である。トレーニング結果報知画面240aの表示が終了すると、ディスプレイ26にイベント画面240bが表示されることがある。イベント画面240bでは、様々なイベントが実行される。なお、1ターン中に複数のイベントが発生する場合もある。

20

【0252】

例えば、第1ヒントイベントあるいは第2ヒントイベントが発生した場合には、スキルのヒントが得られる。スキルのヒントが得られると、プレイヤは、スキルポイントを消費してスキルを獲得することができる。スキルは複数種類設けられており、スキルごとに所定の能力が発動することができる。スキルには、それぞれ発動条件と効果が定められており、各々の発動条件が成立した場合に、予め定められた効果が発動する。スキルは、後述する個人レースや特別レースの実行中に発動される場合がある。

【0253】

イベントには、スキルを所持する第1ヒントイベントおよび第2ヒントイベントの他に、体力が回復するイベント、体力が減少するイベント、能力パラメータが上昇または減少する第1能力イベントおよび第2能力イベント、調子が上昇するイベント、調子が減少するイベント等が含まれている。詳しくは後述するがイベントには、発生するターンが予め定められたイベントや、所定の抽選により当選した場合に発生するイベントがある。また、ターンの開始時に発生するイベントや、ターンの終了前に発生するイベントがある。発生することが決定された全てのイベントが終了すると、次のターンに係るゲーム画面210が表示される。

30

【0254】

図22Aは、継承イベントを説明する第1の図である。図22Bは、継承イベントを説明する第2の図である。図22Cは、継承イベントを説明する第3の図である。図22Dは、継承イベントを説明する第4の図である。上記した因子発動ターンでは、ターンの開始に伴って、継承イベントが発生する。なお、この継承イベントは、後述するシナリオ共通イベントであり、プレイヤが選択したシナリオに拘わらず、同一のターンで必ず発生する。本実施形態では、第1ターン、第31ターンおよび第55ターンが因子発動ターンに設定されているが、ここでは、第31ターンで継承イベントが発生する場合について説明する。

40

【0255】

第31ターンが開始すると、まず、図22Aに示すように、育成対象キャラクタと、「Touch」と記された操作部とがイベント画面240bに表示される。イベント画面240bに表示される操作部がタップされると、図22Bに示すように、育成対象キャラク

50

タと、2体の継承キャラクタとを含むアニメーション画像が表示される。また、操作部がタップされると、継承第1世代および継承第2世代の合計6体の育成キャラクタが有する全ての因子に対して、発動有無の抽選が行われる。

【0256】

そして、図22Cに示すように、発動有無の抽選により当選し、発動することが決定された因子が表示される。その後、図22Dに示すように、因子の発動によって上昇する能力パラメータまたは適性パラメータの種類と、その上昇値とが表示され、パラメータが更新される。継承イベントが終了すると、図20Aに示すゲーム画面210が表示され、プレイヤがいずれかの項目を選択することが可能となる。このとき、ステータス表示部213には、継承イベントで表示された能力パラメータや適性パラメータの上昇値が加算された状態となっている。10

【0257】

図23Aは、スキル画面250を説明する第1の図である。図23Bは、スキル画面250を説明する第2の図である。ゲーム画面210のスキル操作部217が操作されると、図23Aに示すスキル画面250がディスプレイ26に表示される。

【0258】

スキル画面250には、スキル表示欄251が表示される。スキル表示欄251には、獲得済みスキル、育成対象キャラクタに予め設定されている所持スキル、各種イベントの発生等により所持した所持スキル等が表示される。また、所持スキルに対して第1ヒントイベントあるいは第2ヒントイベントが発生した場合には、この所持スキルを獲得するために消費するスキルポイントが割り引かれる。ここでは、ヒントを獲得した所持スキルについては、獲得するために必要なスキルポイントが割り引かれて表示されている。このとき、割引率を示す割引率表示アイコン252が、スキル表示欄251に併せて表示されることとなる。20

【0259】

また、スキル画面250に表示されるスキルには、それぞれのスキルの発動条件および発動した際の効果が表示される。また、スキル画面250の上部には、体力表示部211、調子表示部212、スキルポイント表示部214が表示される。また、スキル画面250の上部には、現在のターン数が表示される。

【0260】

プレイヤの操作に基づいて、スキルポイントを消費して所持スキルを獲得すると、図23Bに示すように、獲得したスキルに「GET」と表示され、所持スキルを獲得したことが報知される。また、スキルポイント表示部214においては、消費したスキルポイントが、表示されていたスキルポイントから減算される。30

【0261】

図24Aは、お出かけ画面255を説明する第1の図である。ゲーム画面210のお出かけ操作部218が操作されると、図24Aに示すお出かけ画面255がディスプレイ26に表示される。ここでは、一例として、お出かけ画面255に、育成対象キャラクタ選択操作部256aと、サポートキャラクタ選択操作部256bとが表示されている。

【0262】

ここで、グループサポートカード以外のサポートカードは、通常キャラクタタイプと、友人キャラクタタイプとに分類される。通常キャラクタタイプのサポートカードは、育成対象キャラクタに設定可能なキャラクタが紐付けられたサポートカードである。一方、友人キャラクタタイプのサポートカードは、育成対象キャラクタに設定可能なキャラクタとは異なるキャラクタが紐付けられたサポートカードである。換言すれば、友人キャラクタタイプのサポートカードには、育成対象キャラクタに設定することができないキャラクタが紐付けられている。以下では、友人キャラクタタイプのサポートカードに紐付けられ、育成対象キャラクタに設定することができないキャラクタを友人キャラクタと呼ぶ。40

【0263】

友人キャラクタタイプのサポートカードがデッキに編成されている場合には、図24A

10

20

30

40

50

に示すように、お出かけ画面 255 が表示される。お出かけ画面 255 に表示される育成対象キャラクタ選択操作部 256a は、育成対象キャラクタに対応している。育成対象キャラクタ選択操作部 256a がタップされると、育成対象キャラクタが一人でお出かけする一人お出かけイベントが発生する。一人お出かけイベントが発生すると、不図示の一人お出かけ画面が表示される。

【0264】

一人お出かけイベントの実行パターンは複数（例えば 3 つ）設けられている。育成対象キャラクタ選択操作部 256a がタップされると、一人お出かけイベントの実行パターンが、例えば抽選により決定され、決定された実行パターンに対応する一人お出かけ画面が表示される。各一人お出かけ画面は、互いに異なる行き先に育成対象キャラクタがお出かけする内容となっている。

10

【0265】

このように、一人お出かけイベントが発生すると、育成対象キャラクタのパラメータが上昇する。一人お出かけイベントによって上昇するパラメータの種類および値は、一人お出かけイベントの実行パターンごとに設定されている。ここでは、育成対象キャラクタの調子が 2 段階上昇する実行パターンと、育成対象キャラクタの調子が 1 段階上昇し、かつ、体力が所定値上昇する実行パターンとが含まれる。なお、調子や体力の上昇値が互いに異なる多数の実行パターンが設けられてもよい。また、一人お出かけイベントが発生する場合に、調子や体力の上昇値が抽選により決定されてもよい。

【0266】

図 24B は、友人お出かけイベント画面 257 を説明する図である。お出かけ画面 255 において、サポートキャラクタ選択操作部 256b がタップされると、友人お出かけイベントが発生する。友人お出かけイベントが発生すると、図 24B に示すように、友人お出かけイベント画面 257 が表示される。友人お出かけイベント画面 257 には、友人キャラクタが表示される。

20

【0267】

図 25 は、友人お出かけイベントの実行パターンを説明する図である。ここでは、友人お出かけイベントの発生回数、すなわち、友人キャラクタとお出かけした回数ごとに、決定される友人お出かけイベントの実行パターンが定められている。また、友人お出かけイベントの各実行パターンには、図示のように、効用（特典）が定められている。この友人お出かけイベントの効用の対象となるパラメータは、一人お出かけイベントと同様に、体力および調子である。

30

【0268】

ただし、友人お出かけイベントによってもたらされる効用は、一人お出かけイベントによってもたらされる効用よりも大きい。なお、友人お出かけイベントおよび一人お出かけイベントによってもたらされる効用は一例に過ぎない。例えば、両イベントの効用の対象となるパラメータは互いに異なってもよい。あるいは、両イベントの効用は同じであってもよい。さらには、友人お出かけイベントによってもたらされる効用は、一人お出かけイベントによってもたらされる効用よりも小さく設定されてもよい。

【0269】

図 24B に示すように、友人お出かけイベント画面 257 には、サポートカードに紐付けられた友人キャラクタが表示される。また、友人お出かけイベント画面 257 では、友人お出かけイベントの発生によってもたらされる効用が表示（ここでは「+30up」、「up」）される。

40

【0270】

なお、友人キャラクタタイプのサポートカードは複数設けられている。友人お出かけイベント画面 257 では、サポートカードの種別に応じて、異なる友人キャラクタが表示される。また、サポートカードの種別によって、発生する友人お出かけイベントの実行パターンが異なる。ただし、友人お出かけイベントによってもたらされる効用は、全てのサポートカードで共通としてもよいし異なってもよい。

50

【0271】

なお、プレイヤは、友人キャラクタタイプのサポートカードをデッキに複数編成することができる。この場合、お出かけ画面255には、友人キャラクタタイプのサポートカードごとに、サポートキャラクタ選択操作部256bが設けられる。

【0272】

また、グループサポートカードがデッキに編成された場合、プレイヤは、お出かけする相手を、グループサポートカードに紐付けられたサポートキャラクタの中から選択することができる。以下では、グループサポートカードに紐付けられたサポートキャラクタを所属キャラクタと呼ぶ。また、1つのグループサポートカードには、5体の所属キャラクタが紐付けられている。これら5体の所属キャラクタを、それぞれ第1所属キャラクタ、第2所属キャラクタ、第3所属キャラクタ、第4所属キャラクタ、第5所属キャラクタと呼ぶ。

10

【0273】

図26Aは、お出かけ画面255を説明する第2の図である。図26Bは、お出かけ画面255を説明する第3の図である。図26Cは、お出かけ画面255を説明する第4の図である。図26Aには、友人キャラクタタイプのサポートカードがデッキに編成されおらず、グループサポートカードがデッキに編成された場合のお出かけ画面255を示す。

【0274】

グループサポートカードがデッキに編成された場合、お出かけ画面255には、図26Aに示すように、育成対象キャラクタ選択操作部256aと、グループサポートカード選択操作部256cとが表示される。そして、グループサポートカード選択操作部256cがタップされると、図26Bに示すように、お出かけ画面255に、第1所属キャラクタ選択操作部258a、第2所属キャラクタ選択操作部258b、第3所属キャラクタ選択操作部258c、第4所属キャラクタ選択操作部258d、第5所属キャラクタ選択操作部258e、全所属キャラクタ選択操作部259が表示される。

20

【0275】

第1所属キャラクタ選択操作部258a、第2所属キャラクタ選択操作部258b、第3所属キャラクタ選択操作部258c、第4所属キャラクタ選択操作部258d、第5所属キャラクタ選択操作部258eは、それぞれ第1所属キャラクタ、第2所属キャラクタ、第3所属キャラクタ、第4所属キャラクタ、第5所属キャラクタに対応している。一方、全所属キャラクタ選択操作部259は、全ての所属キャラクタに対応している。

30

【0276】

プレイヤは、第1所属キャラクタ選択操作部258aから第5所属キャラクタ選択操作部258eをタップすることで、発生させる所属キャラクタ別イベントを選択することができる。所属キャラクタ別イベントでは、育成対象キャラクタと共に所属キャラクタがお出かけする。ただし、1回の育成ゲーム中に、1体の所属キャラクタを選択することができるのは1回のみである。例えば、第2所属キャラクタおよび第4所属キャラクタと既にお出かけをしている場合には、図26Bに示すように、第2所属キャラクタ選択操作部258bおよび第4所属キャラクタ選択操作部258dがグレーアウトして表示される。グレーアウトして表示された操作部は、プレイヤの操作を受け付けない。

40

【0277】

ただし、各所属キャラクタを選択可能な回数は1回に限らず、2回以上あってもよい。また、所属キャラクタによって、選択可能な回数が異なってもよい。

【0278】

また、本実施形態では、全所属キャラクタ選択操作部259を選択可能な特定条件が設けられている。ここでは、全ての所属キャラクタ別イベントが発生したこと、すなわち、全ての所属キャラクタとお出かけをしたことが、特定条件として設けられている。特定条件が成立していない状態では、図26Bに示すように、全所属キャラクタ選択操作部259に「？」と表示されている。この状態では、全所属キャラクタ選択操作部259は、プレイヤの操作を受け付けない。

50

【 0 2 7 9 】

そして、特定条件が成立すると、図 2 6 C に示すように、全所属キャラクタ選択操作部 2 5 9 に、全ての所属キャラクタが表示される。この状態では、全所属キャラクタ選択操作部 2 5 9 への操作入力が有効となる。なお、プレイヤは、全所属キャラクタ選択操作部 2 5 9 を繰り返し選択することができる。つまり、プレイヤは、まず、第 1 所属キャラクタから第 5 所属キャラクタとそれぞれ 1 回ずつお出かけを行う必要がある。そして、全ての所属キャラクタと 1 回ずつお出かけを行うと、以後、何度でも、全所属キャラクタと一緒にお出かけを行うことが可能となる。

【 0 2 8 0 】

全所属キャラクタ選択操作部 2 5 9 には、全所属キャラクタ選択操作部 2 5 9 が選択された回数、すなわち、全所属キャラクタとお出かけした回数が、右向きの矢印によって示されている。なお、上記のように、各所属キャラクタを 2 回以上選択可能とした場合、全所属キャラクタ選択操作部 2 5 9 と同様に、第 1 所属キャラクタ選択操作部 2 5 8 a から第 5 所属キャラクタ選択操作部 2 5 8 e においても、各所属キャラクタとお出かけした回数が示されるとよい。

10

【 0 2 8 1 】

図 2 7 A は、所属キャラクタ別イベント画面 2 6 0 を説明する第 1 の図である。図 2 7 B は、所属キャラクタ別イベント画面 2 6 0 を説明する第 2 の図である。例えば、第 3 所属キャラクタ選択操作部 2 5 8 c がタップされ、第 3 所属キャラクタが選択されたとする。この場合、図 2 7 A に示すように、所属キャラクタ別イベント画面 2 6 0 には、プレイヤが選択した第 3 所属キャラクタが表示される。また、所属キャラクタ別イベント画面 2 6 0 では、図 2 7 B に示すように、所属キャラクタ別イベントの発生によってもたらされる効用が表示（ここでは「+ 3 0 u p」、「u p」）される。

20

【 0 2 8 2 】

なお、所属キャラクタは複数設けられているため、所属キャラクタ別イベント画面 2 6 0 は、所属キャラクタの数だけ設けられる。つまり、プレイヤが選択した所属キャラクタによって、発生する所属キャラクタ別イベントの実行パターンが異なる。

【 0 2 8 3 】

図 2 7 C は、全所属キャラクタイベント画面 2 6 1 を説明する第 1 の図である。図 2 7 D は、全所属キャラクタイベント画面 2 6 1 を説明する第 2 の図である。全所属キャラクタ選択操作部 2 5 9 がタップされ、全所属キャラクタが選択されたとする。この場合、全所属キャラクタイベントが発生する。全所属キャラクタイベントが発生すると、図 2 7 C に示すように、全所属キャラクタイベント画面 2 6 1 が表示される。全所属キャラクタイベント画面 2 6 1 には、グループサポートカードに紐付けられた全ての所属キャラクタが表示される。

30

【 0 2 8 4 】

また、全所属キャラクタイベント画面 2 6 1 では、図 2 7 D に示すように、全所属キャラクタイベントの発生によってもたらされる効用が表示（ここでは「+ 5 0 u p」、「u p」、「スキルヒント G E T」）される。ここでは、全所属キャラクタイベントによる効用として、育成対象キャラクタがスキルヒントを獲得することとしたが、スキルを所持または獲得してもよい。

40

【 0 2 8 5 】

なお、ここでは、全所属キャラクタイベント画面 2 6 1 において、全ての所属キャラクタが表示されることとした。ただし、全所属キャラクタイベント画面 2 6 1 の内容は特に限定されない。例えば、一部の所属キャラクタのみが、全所属キャラクタイベント画面 2 6 1 に表示されてもよく、また、2 以上の所属キャラクタが表示されてもよい。

【 0 2 8 6 】

図 2 8 は、所属キャラクタ別イベントおよび全所属キャラクタイベントの実行パターンを説明する図である。図 2 8 に示すように、所属キャラクタ別イベントでは、プレイヤが選択した所属キャラクタが、所属キャラクタ別イベント画面 2 6 0 に表示される。また、

50

全所属キャラクタイベントでは、全ての所属キャラクタが全所属キャラクタイベント画面 261 に表示される。

【0287】

また、所属キャラクタ別イベントおよび全所属キャラクタイベントの各実行パターンには、図示のように、効用（特典）が定められている。ここでは、実行パターンによって異なる効用がもたらされるが、全ての実行パターンで共通の効用がもたらされてもよい。また、全所属キャラクタイベントが発生すると、所定のスキルが所持可能となる。ここでは、全所属キャラクタイベントが最初に発生した際に、所定の所持スキルが付与される。このように、全所属キャラクタイベントによってもたらされる効用は、所属キャラクタ別イベントによってもたらされる効用よりも大きい。ただし、全所属キャラクタイベントによってもたらされる効用は、所属キャラクタ別イベントによってもたらされる効用と同じでもよいし小さくてもよい。

10

【0288】

図29Aは、個人レース選択画面265を説明する第1の図である。ゲーム画面210の個人レース操作部219が操作されると、図29Aに示す個人レース選択画面265が表示される。個人レースは、育成対象キャラクタがNPCとレースを行うゲーム性を有している。

【0289】

個人レース選択画面265の上部には、体力表示部211、調子表示部212が表示される。また、個人レース選択画面265の中央部には、育成対象キャラクタを出走させるレース種目を選択するための個人レース選択操作部266が表示される。個人レース選択画面265に複数の個人レース選択操作部（サブコマンド）261が表示される場合、複数の個人レース選択操作部266は、互いに異なる個人レースが設定される。また、個人レース選択画面265の下部には、「Start」と記されたスタート操作部267が表示される。なお、個人レース選択画面265の個人レース選択操作部266によって選択できるレースは、ターンごとに予め設定されている。

20

【0290】

また、各レースには、出走条件が予め設定されており、プレイヤーは、出走条件を満たしているレースに限り、育成対象キャラクタを出走させることができる。上記したように、レースには、出走条件としてファン数が規定されたものがある。規定されたファン数に満たないレースについては、図29Aに示すように、個人レース選択操作部266に出走条件が表示され、当該レースを選択することができない旨が報知される。また、クリア目標の対象レースが設定されたターンでは、個人レース選択画面265において、対象レースのみが選択可能に表示される。

30

【0291】

図29Bは、個人レース開始画面270を説明する図である。個人レース選択操作部266で出場する個人レースのレース種目が選択された状態で、スタート操作部267が操作されると、図29Bに示す個人レース開始画面270が表示される。個人レース開始画面270の中央部には戦略表示部271が表示される。また、戦略表示部271には、現在選択中の戦略（追込、差し、先行、逃げ）が強調表示されるとともに、「Change」と記されたチェンジ操作部272が表示されている。チェンジ操作部272が操作されると、不図示の戦略変更画面がディスプレイ26に表示される。プレイヤーは、戦略変更画面における操作により、個人レースにおける戦略を任意の戦略に変更することができる。

40

【0292】

また、個人レース開始画面270の下部には、「Result」と記されたリザルト操作部273、「Race」と記されたレース操作部274が表示されている。

【0293】

レース操作部274が操作された場合、不図示のレース画面がディスプレイ26に表示される。ディスプレイ26では、レースの展開の動画（以下、レース動画ともいう）が表示される。

50

【 0 2 9 4 】

図 29C は、個人レース結果画面 280 を説明する第 1 の図である。図 29D は、個人レース結果画面 280 を説明する第 2 の図である。上記のレース動画の再生が終了した場合、および、リザルト操作部 273 が操作された場合、個人レース結果画面 280 がディスプレイ 26 に表示される。個人レース結果画面 280 では、図 29C に示すように、当該個人レースにおける育成対象キャラクタの着順が表示される。また、個人レース結果画面 280 では、図 29D に示すように、現在の育成対象キャラクタのクラスが表示される。

【 0 2 9 5 】

本実施形態では、獲得したファン数に応じて、育成対象キャラクタのクラス分けがなされる。各クラスには、ファン数の範囲が設定されており、ここでは、ファン数によって、育成対象キャラクタが 8 段階のクラスのいずれかに分類される。個人レース結果画面 280 では、今回の個人レースで獲得したファン数、勝利ポイント、特別通貨が表示される。また、個人レース結果画面 280 では、新たに獲得したファン数を、それ以前に獲得していたファン数に加算した累計のファン数が表示される。また、累計したファン数に対応する現在のクラスが識別表示される。また個人レース結果画面 280 では、新たに獲得した勝利ポイントを、それ以前に獲得した勝利ポイントに加算した累計の勝利ポイント、および、新たに獲得した特別通貨を、それ以前に獲得した特別通貨に加算した累計の特別通貨の数値が表示される。

10

【 0 2 9 6 】

図 30 は、アイテム交換画面 300 の一例を説明する図である。例えば、図 20A に示すゲーム画面 210 のショップ操作部 220 がタップされると、図 30 に示すアイテム交換画面 300 が表示される。アイテム交換画面 300 において、プレイヤーは、プレイヤーが獲得した特別通貨を消費して、アイテム交換画面 300 に表示される所定のアイテムと交換することができる。なお、図 20A に示すゲーム画面 210 において、ショップ操作部 220 の下部にプレイヤーが所持している特別通貨の総数が重畠表示されてもよい。

20

【 0 2 9 7 】

図 30 に示すように、アイテム交換画面 300 には、アイテム操作部 221、アイテム交換リスト 301 が表示される。アイテム交換リスト 301 には、1 または複数のアイテム交換タブ 302 が表示される。

【 0 2 9 8 】

30

アイテム交換タブ 302 には、プレイヤーが交換可能なアイテムの名前（アイテム名）、アイテムの効果、交換に必要な特別通貨の必要数、交換期限の表記と、アイテム交換操作部 303 が表示される。交換期限は、各アイテム交換タブ 302 に表記され、例えば、現在のターンからプレイヤーが交換可能な残りのターン数が表記される。アイテム交換画面 300 では、一定期間（所定ターン）ごとにアイテムの入れ替えが行われる。交換期限は、このアイテムの入れ替えが行われるまでの残りのターン数である。また、アイテム交換において、育成ゲーム中に毎ターン抽選が行われ、一定の確率でセールが発生してもよい。セールが発生する期間は、例えば、セールが発生したターンから次のアイテムの入れ替えが行われるターンまでの間である。セール期間中は、セール期間外よりもアイテム交換に必要な特別通貨の必要数が小さくなる。

40

【 0 2 9 9 】

プレイヤーが交換可能なアイテムは、例えば、パラメータ変更アイテム、ステータス付与アイテム、トレーニングレベル変更アイテム、スキルヒント獲得アイテム、キャラ再配置アイテム、トレーニング効果変更アイテム、体力消費アイテム、失敗率変更アイテム、イベントパラメータ変更アイテムなどである。

【 0 3 0 0 】

パラメータ変更アイテムは、育成対象キャラクタのパラメータを変更するアイテムである。例えば、パラメータ変更アイテムは、育成対象キャラクタのスピード、スタミナ、パワー、根性、賢さ、体力、体力上限値、調子、スキルポイント、ファン数のうち対象のパラメータの値を所定値アップさせる。

50

【 0 3 0 1 】

ステータス付与アイテムは、育成対象キャラクタにステータスを付与するアイテムである。例えば、ステータス付与アイテムは、育成対象キャラクタに有利なステータスあるいは不利なステータスを付与する。有利なステータスは、例えば、育成対象キャラクタの各種パラメータの上昇量を増加させるステータスや、スキル獲得に必要なスキルポイントの消費量を低下させるステータスなどを含む。また、不利なステータスは、例えば、育成対象キャラクタの各種パラメータを低下させる等のイベントが発生するステータスや、各種パラメータの上昇を妨げるステータスなどを含む。

【 0 3 0 2 】

トレーニングレベル変更アイテムは、各トレーニング項目のトレーニングレベルを変更するアイテムである。例えば、トレーニングレベル変更アイテムは、スピード、スタミナ、パワー、根性、賢さのうち対象のトレーニング項目のトレーニングレベルを所定値アップさせる。

10

【 0 3 0 3 】

スキルヒント獲得アイテムは、スキルイベントを発生させることで、育成対象キャラクタにスキルを所持あるいは獲得させるアイテムである。例えば、スキルヒント獲得アイテムは、図 6 C に示すさまざまなスキルを育成対象キャラクタに所持あるいは獲得させることができる。

【 0 3 0 4 】

キャラ再配置アイテムは、図 2 1 A、図 2 1 B に示すように所定のトレーニングに配置されたキャラクタを、別のトレーニングに再配置させるアイテムである。キャラクタの再配置については、後述する。

20

【 0 3 0 5 】

トレーニング効果変更アイテムは、一定期間中、トレーニングによるトレーニング効果を変更するアイテムである。具体的に、トレーニング効果変更アイテムは、一定期間中、トレーニングによる育成対象キャラクタの能力パラメータの後述する上昇固定値を所定値アップさせる。例えば、トレーニング効果変更アイテムは、○ターンの間、各トレーニング項目（スピード、パワー、根性、スタミナ、賢さ）のうち対象のトレーニングによる能力パラメータの上昇固定値を○%アップさせる。

【 0 3 0 6 】

30

体力消費アイテムは、トレーニングで消費する体力の消費量を増加させることで、トレーニング効果をアップさせるアイテムである。具体的に、体力消費アイテムは、トレーニングによる育成対象キャラクタの能力パラメータの後述する上昇固定値を所定値アップさせる。体力消費アイテムは、トレーニング効果変更アイテムと併用することで、トレーニングアップ効果を増大させることができる。

【 0 3 0 7 】

失敗率変更アイテムは、対象のトレーニング項目の失敗率を変化させるアイテムである。例えば、失敗率変更アイテムは、各トレーニング項目（スピード、パワー、根性、スタミナ、賢さ）のうち対象のトレーニングの失敗率を所定値ダウンさせる。

【 0 3 0 8 】

40

イベントパラメータ変更アイテムは、レース後にイベントが発生した際に付与される育成対象キャラクタのパラメータ変更値を変更するアイテムである。例えば、イベントパラメータ変更アイテムは、育成対象キャラクタのスピード、スタミナ、パワー、根性、賢さ、体力、体力上限値、調子、スキルポイント、ファン数のうち対象のパラメータ変更値を所定値アップさせる。

【 0 3 0 9 】

図 3 0 に示すアイテム交換リスト 3 0 1 には、トレーニング効果変更アイテム、イベントパラメータ変更アイテム、パラメータ変更アイテムの一例が表示されている。各アイテム交換タブ 3 0 2 のアイテム交換操作部 3 0 3 がタップされると、プレイヤが獲得した特別通貨の累計値からアイテム交換タブ 3 0 2 に記された特別通貨の必要数が減算される。

50

また、これと同時に、アイテム交換タブ 302 に記されたアイテムがプレイヤに付与される。

【0310】

なお、アイテム交換タブ 302 で交換可能なアイテムには、交換回数（すなわち、購入数）が所定回数以下に制限されるアイテムが含まれる。有限アイテムの付与数が上限に達した場合、プレイヤは、特別通貨を有していても、有限アイテムを交換することができなくなる。

【0311】

また、アイテム操作部 221 がタップされると、不図示のアイテム使用画面がディスプレイ 26 に表示される。アイテム使用画面には、プレイヤが所持するアイテムの一覧が表示される。アイテムの一覧には、アイテム交換画面 300 で交換されたアイテムも含まれている。つまり、アイテム使用画面には、特別通貨と交換してプレイヤに付与されたアイテムが表示される。なお、アイテム使用画面には、各種イベントで入手したアイテムが表示されてもよい。プレイヤは、アイテム使用画面に表示されたアイテムをタップ操作することで、各種アイテムを使用することができる。

10

【0312】

本実施形態では、アイテム操作部 221 の操作により、プレイヤは、特別通貨と交換したさまざまなアイテムを使用することができる。各アイテムが使用された際、例えば、図 21A に示すトレーニング画面 240 において、アイテムの使用により現在発揮されている効果を表すアイコンが表示されてもよい。このとき、アイコンの下部には、アイテムの使用により効果が発揮される効果発揮ターン数が併せて表示されてもよい。なお、図 30 に示すように各アイテムには交換可能な期間が設定されている。プレイヤは、各アイテムに設定された交換可能期間内において、各アイテムと特別通貨とを交換することができる。なお、各アイテムには、交換可能期間が設けられなくてもよい。

20

【0313】

図 31 は、ターン開始時処理のおおまかな流れを説明する図である。育成段階処理には、育成ゲームの各ターンの開始時に実行される、ターン開始時処理が含まれる。ターン開始時処理の詳細については後述するが、ここでは、ターン開始時処理における大まかな流れについて説明する。

30

【0314】

育成メインゲーム中は、各ターンにおいて、各種イベントを出現させるか否かを決定する処理が行われる。イベントは、シナリオイベント、育成対象キャラクタごとに設けられた上記のキャラクタ所持イベント、サポートイベントの 3 つの種別に大別される。なお、各シナリオには、育成メインゲーム中に出現し得るシナリオイベント、キャラクタ所持イベント、サポートイベントが予め定められている。

【0315】

シナリオイベントというのは、育成メインゲームのシナリオごとに設定されたイベントである。本実施形態では、複数のシナリオが設けられており、プレイヤは、シナリオを選択することができる。シナリオイベントは、プレイヤが選択したシナリオごとに出現する。換言すれば、育成メインゲームで出現するシナリオイベントは、プレイヤが選択したシナリオに基づいて決定される。

40

【0316】

なお、シナリオイベントには、シナリオ固有イベントと、シナリオ共通イベントとが設けられてもよい。シナリオ固有イベントというのは、1 つのシナリオにのみ紐付けられたイベントである。例えば、第 1 のシナリオに紐付けられたシナリオ固有イベントは、第 1 のシナリオが選択された場合にのみ出現し、他のシナリオが選択された場合に出現することはない。

【0317】

また、シナリオ共通イベントというのは、複数のシナリオで共通して出現するイベントである。したがって、シナリオ共通イベントは、第 1 のシナリオが選択された場合と、第

50

2 のシナリオが選択された場合との双方で出現する。

【 0 3 1 8 】

ここでは、シナリオイベントとして、シナリオ固有イベントとシナリオ共通イベントとが設けられることとする。ただし、シナリオ固有イベントおよびシナリオ共通イベントのいずれか一方のみが設けられてもよい。

【 0 3 1 9 】

キャラクタ所持イベントは、上記したとおり、キャラクタごとに予め設定されているイベントである。育成メインゲームでは、プレイヤがセッティングゲーム、すなわち、準備段階処理において育成対象キャラクタとして登録したキャラクタのキャラクタ所持イベントが出現する。

10

【 0 3 2 0 】

サポートイベントは、上記したとおり、サポートカードごとに予め設定されているイベントである。育成メインゲームでは、プレイヤがセッティングゲームにおいて登録したサポートカードに紐付くサポートイベントが出現する。サポートイベントは、ターン開始時に発生し得る第1イベントと、トレーニング実行後に発生し得る第2イベントとを含む。第1イベントは、ターン開始時において、ランダムに取得した乱数および第1イベントテーブルに基づいて、発生の有無が決定される。

【 0 3 2 1 】

第2イベントは、トレーニングに配置される各サポートキャラクタの決定処理が行われた後、ランダムに取得した乱数および第2イベントテーブルに基づいて、発生の有無が決定される。なお、トレーニングにサポートキャラクタが配置された場合のみ、配置されたサポートキャラクタについて第2イベントの発生有無が決定される。

20

【 0 3 2 2 】

なお、本実施形態では、第1イベントは、準備段階処理でプレイヤによりデッキに登録されたサポートカードに紐付くサポートイベントの中から抽選により選択されるものとする。ただし、これに限定されず、ゲームに実装される全サポートカードの中から抽選により選択されたサポートカードに紐付くサポートイベントが選択可能であってもよい。この場合、デッキに登録されたサポートカードに紐付くサポートイベントの選択確率は、デッキに登録されていないサポートカードに紐付くサポートカードイベントの選択確率よりも高いとよい。

30

【 0 3 2 3 】

このように、シナリオイベントは、その出現有無等が、シナリオに基づいて決定される。また、キャラクタ所持イベント、サポートイベントは、その出現有無等が、それぞれ育成対象キャラクタ、サポートカードに基づいて決定される。これらのイベント種別は、イベントの出現有無等を決定する際に参照する情報によって区分されている。

【 0 3 2 4 】

これに対して、本実施形態では、イベントの出現によってもたらされる内容によって、各イベントが、6つのイベント分類のいずれかに分類される。ここでは、各イベントが、第1ヒントイベント、第2ヒントイベント、第1能力イベント、第2能力イベント、適性イベント、ストーリイベントのいずれかのイベント分類に分類される。

40

【 0 3 2 5 】

上記したように、第1ヒントイベント、第2ヒントイベントは、スキルを所持あるいは獲得可能とするイベントである。また、第1能力イベント、第2能力イベントは、育成対象キャラクタの能力パラメータを上昇または減少させるイベントである。適性イベントは、育成対象キャラクタの適性パラメータを上昇または減少させるイベントである。ストーリイベントは、育成ゲームに登場するキャラクタに係るストーリを表示するイベントである。なお、ストーリイベントには、ストーリの表示に加えて、能力パラメータや適性パラメータが変化するものがある。上記のお出かけイベント（一人お出かけイベント、友人お出かけイベント、所属キャラクタ別イベント、全所属キャラクタイベント）は、ストーリイベントに相当する。

50

【0326】

本実施形態において、ターン開始時処理には、シナリオイベントを決定する処理、キャラクタ所持イベントを決定する処理に加え、図31に示す、「第1イベントの発生有無を決定する処理」、「サポートキャラクタの配置有無を決定する処理」、「能力パラメータの上昇値を決定する処理」、「第2イベントの発生有無を決定する処理」、「ライバルキャラクタの配置有無を決定する処理」、「ライバルキャラクタの配置を報知する処理」が含まれる。なお、ターン開始時処理では、この他にもさまざまな処理が実行されるが、ここでは、図31に示す処理について順に説明する。

【0327】**第1イベントの発生有無を決定する処理**

第1イベントは、準備段階処理でプレイヤにより登録されたサポートカードに紐付くサポートイベント（第1イベント）の中から抽選により選択される。具体的に、ターン開始時において、ランダムに乱数が取得され、取得された乱数と第1イベントテーブルに基づいて、第1イベントの発生の有無と第1イベントの内容が決定される。

10

【0328】**サポートキャラクタの配置有無を決定する処理**

図32は、配置有無テーブルを説明する図である。図32に示すように、配置有無テーブルには、サポートキャラクタのトレーニング項目配置有無（「トレーニング項目のいずれかに配置する」または「配置しない」）の選択比率が設定されている。本実施形態では、図32に示す配置有無テーブルに基づいて、準備段階処理でプレイヤにより登録された全てのサポートカード（サポートキャラクタ）について、配置有無が決定される。

20

【0329】

具体的には、図32に示すように、本実施形態では、サポートキャラクタは、スピード、スタミナ、パワー、根性、賢さのいずれかのトレーニング項目に「配置する」が16%の確率で選択され、いずれのトレーニング項目にも「配置しない」が20%の確率で選択される。なお、上記のように、得意トレーニングが設定されたサポートカードについては、得意トレーニングが、他のトレーニング項目よりも高確率で選択されるように補正が行われる。

【0330】

なお、サポートキャラクタの配置するトレーニング項目が決定されると、配置することが決定されたサポートキャラクタと、決定されたトレーニング項目とが紐付けられ、サーバ1000に記憶されてもよい。より具体的に、サポートキャラクタのキャラクタIDあるいはサポートキャラクタに紐付けられたサポートカードのサポートカードIDに、トレーニング項目の種別を表すトレーニングIDを紐付けた紐付け情報が、サーバ1000に記憶されてもよい。

30

【0331】**能力パラメータの上昇値を決定する処理**

図33Aは、トレーニングレベルテーブルを説明する図である。図33Aに示すように、トレーニングレベルは、各トレーニングの選択回数に応じて上昇するように設定されている。具体的に、各トレーニングの選択回数が3回以下である場合には、「Speed」（スピード）、「Stamina」（スタミナ）、「Power」（パワー）、「Spirit」（根性）、「Wisdom」（賢さ）に係る各トレーニングレベルが「レベル1」に設定され、各トレーニングの選択回数が4回以上、かつ、7回以下である場合には、各トレーニングレベルが「レベル2」に設定され、各トレーニングの選択回数が8回以上、かつ、11回以下である場合には、各トレーニングレベルが「レベル3」に設定され、各トレーニングの選択回数が12回以上、かつ、15回以下である場合には、各トレーニングレベルが「レベル4」に設定され、各トレーニングの選択回数が16回以上である場合には、各トレーニングレベルが「レベル5」に設定される。

40

【0332】

本実施形態では、プレイヤによって選択されたトレーニングが実行されて成功した場合

50

に、実行されたトレーニング項目によって、所定の能力パラメータの値が上昇する。

【0333】

具体的には、本実施形態では、「Speed」(スピード)のトレーニングが実行され、成功した場合には、「Speed」(スピード)および「Power」(パワー)の能力パラメータの値が上昇する。

【0334】

また、「Stamina」(スタミナ)のトレーニングが実行され、成功した場合には、「Stamina」(スタミナ)および「Spirit」(根性)の能力パラメータの値が上昇する。

【0335】

また、「Power」(パワー)のトレーニングが実行され、成功した場合には、「Stamina」(スタミナ)および「Power」(パワー)の能力パラメータの値が上昇する。

10

【0336】

また、「Spirit」(根性)のトレーニングが実行され、成功した場合には、「Speed」(スピード)、「Power」(パワー)、および、「Spirit」(根性)の能力パラメータの値が上昇する。

【0337】

また、「Wisdom」(賢さ)のトレーニングが実行され、成功した場合には、「Speed」(スピード)および「Wisdom」(賢さ)の能力パラメータの値が上昇する。

20

【0338】

本実施形態では、トレーニングに成功した場合に上昇する能力パラメータの値は、実行したトレーニング項目およびトレーニングレベルに対応して決定される上昇固定値に、後述するボーナス加算率を乗算した値を、上昇固定値に加算することによって算出される。

【0339】

図33Bは、上昇固定値(スピード)テーブルを説明する図である。また、図33Cは、上昇固定値テーブル(パワー)を説明する図である。すなわち、図33Bは、トレーニング項目が「Speed」(スピード)である場合の上昇固定値を示している。また、図33Cは、トレーニング項目が「Power」(パワー)である場合の上昇固定値を示している。

30

【0340】

図33Bおよび図33Cに示すように、上昇固定値テーブルには、実行したトレーニング項目およびトレーニングレベルに対応して決定される上昇固定値が記憶されている。また、本実施形態では、図33Bおよび図33Cに示すように、トレーニングレベルが高いほど、能力パラメータが大きく上昇するように設定されている。

【0341】

なお、ここでは、記載を省略するが、トレーニング項目として「Stamina」(スタミナ)、「Spirit」(根性)、および「Wisdom」(賢さ)が選択された場合の上昇固定値テーブルもそれぞれ設けられている。

40

【0342】

また、上記した上昇固定値に加えて、トレーニング項目ごとに配置されるサポートカード(サポートキャラクタ)に基づいて、ボーナス加算率が決定される。ボーナス加算率は、上記した友情トレーニングが発生する場合に設定されるものである。

【0343】

図33Dは、ボーナス加算率を説明する図である。本実施形態では、各トレーニングに配置が決定されたサポートカード(サポートキャラクタ)ごとに、友情トレーニングの発生条件の成立有無が判定される。そして、友情トレーニングの発生条件が成立すると判定されたサポートカードについて、ボーナス加算率が決定される。

【0344】

50

具体的には、グループサポートカードについては、友情トレーニングの発生により、ボーナス加算率が10%に決定される。また、グループサポートカード以外のサポートカードについては、ボーナス加算率が20%に決定される。なお、ボーナス加算率は、サポートカードの種別および絆ゲージの値に基づいて変化してもよい。例えば、絆ゲージの値が高くなるほど、ボーナス加算率が大きくなるとよい。

【0345】

そして、上昇固定値テーブルによって決定された上昇固定値に、ボーナス加算率を乗算した値がボーナス加算値として導出される。ボーナス加算値が上昇固定値に加算された値が、トレーニングが成功した場合の能力パラメータの値の上昇量に決定される。なお、複数のサポートキャラクタが配置されているトレーニングについては、当該配置された複数のサポートキャラクタのそれぞれのボーナス加算値が、上昇固定値に加算される。このように、すべてのトレーニング種別に対して、トレーニングが成功した場合における育成対象キャラクタの能力パラメータの上昇量が決定される。

【0346】

第2イベントの発生有無を決定する処理

図34は、第2イベントテーブルを説明する図である。第2イベントは、各トレーニング項目に配置されたサポートキャラクタに対応するサポートカードに紐付くサポートイベント（第2イベント）の中から抽選により選択される。具体的に、「サポートキャラクタの配置有無を決定する処理」後、ランダムに乱数が取得され、取得された乱数と第2イベントテーブルに基づいて、第2イベントの発生の有無が決定される。第2イベントテーブルには、第2イベントを「発生させる」または「発生させない」の選択比率が設定されている。

【0347】

例えば、図34に示すように、所定のサポートカードに紐付けられた第2イベントは、イベントA、イベントB、イベントC、イベントDの4つの種別のイベントを含む。例えば、第2イベントテーブルには、各イベント（イベントA～D）を「発生させる」確率が5%に設定され、第2イベントを「発生させない」確率が80%に設定される。なお、第2イベントの選択比率は、サポートカード、すなわち、サポートキャラクタごとに個別に設定されてもよい。

【0348】

本実施形態では、「サポートキャラクタの配置有無を決定する処理」後、各トレーニング項目に配置された全てのサポートキャラクタについて第2イベントの発生有無を決定する処理が行われる。そして、第2イベントの発生の決定に基づいて、イベント報知表示247がトレーニング画面240に表示される。

【0349】

第2イベントの発生が決定されているサポートキャラクタが配置されたトレーニングをプレイヤが選択した場合、トレーニング実行後に第2イベントが発生する。例えば、スピードのトレーニングに配置されたサポートキャラクタの第2ヒントイベントの出現が決定されている場合、スピードのトレーニングが実行されると、トレーニング実行後に第2ヒントイベントが必ず出現する。

【0350】

しかし、スピード以外の他のトレーニングが実行されると、トレーニング実行後にこの第2ヒントイベントは出現しない。また、同一のトレーニングに配置された2以上のサポートキャラクタについて第2イベントの発生が決定されていた場合、いずれの第2イベントを発生させるかが、抽選または予め設定されたサポートイベントの優先度等により決定される。つまり、第2イベントは、1のターンにおいて複数発生することはない。

【0351】

例えば、均等な確率で複数の第2イベントのうちいずれを発生させるかが決定される。ただし、これに限定されず、第2イベントの種別に応じて重み付けが設定され、設定された重み付けに応じて複数の第2イベントのうちいずれを発生させるかが決定されてもよい

10

20

30

40

50

。なお、2以上のキャラクタについて第2イベントの発生が決定された場合、決定されたすべての第2イベントを発生させてもよい。

【0352】

ここで、例えば、第2イベントの出現が決定されると、第2イベントに紐付けられたサポートカードあるいはサポートキャラクタに、サポートイベントの出現の有無を示す出現情報が紐付けられ、サーバ1000に記憶されてもよい。より具体的には、サポートキャラクタのキャラクタIDあるいはサポートキャラクタに紐付けられたサポートカードのサポートカードIDに、出現情報を紐付けた紐付け情報が、サーバ1000に記憶されてもよい。

【0353】

上述した「第1イベントの発生有無を決定する処理」、「サポートキャラクタの配置有無を決定する処理」、「能力パラメータの上昇値を決定する処理」、「第2イベントの発生有無を決定する処理」が実行され、トレーニング操作部216の操作が行われると、例えば、図21Bに示すトレーニング画面240がディスプレイ26に表示される。

10

【0354】

上述したように、図21Bに示すトレーニング画面240には、「サポートキャラクタの配置有無を決定する処理」により、スタミナのトレーニング項目に配置された2種類の配置キャラクタアイコン248が表示される。

【0355】

また、トレーニング画面240には、「能力パラメータの上昇値を決定する処理」により決定された能力値パラメータの上昇値が、ステータス表示部213に表示される。また、トレーニング画面240には、「第2イベントの発生有無を決定する処理」により決定された第2イベントを報知するためのイベント報知表示247が表示される。

20

【0356】

以上のように、各サポートカードには、サポートイベントとして、少なくとも第1イベントおよび第2イベントが設けられている。ただし、サポートカードの種別によっては、第1イベントおよび第2イベントに加えて、さらに他のイベントが設けられるものもある。本実施形態では、グループサポートカードに、以下のイベントが紐付けられている。

【0357】

図35は、グループサポートカードに紐付けられたイベントを説明する図である。グループサポートカードに紐付けられるイベントは、第1イベント、初期イベント、連続イベント、お出かけイベントおよび第2イベントに分類される。なお、図35に示す各イベントの発生条件および効用は一例に過ぎない。

30

【0358】

グループサポートカードの第1イベントは、他のサポートカードと同様に、ターン開始時の抽選で当選することで発生する。この第1イベントが発生した場合、能力パラメータ等の各種パラメータが上昇する。なお、詳しい説明は省略するが、グループサポートカードの第1イベントは、反復イベントと単発イベントとに大別される。反復イベントは、1回の育成ゲームにおいて複数回発生可能なイベントである。単発イベントは、1回の育成ゲームにおいて1回のみ発生可能なイベントである。

40

【0359】

グループサポートカードの初期イベントは、後述する連続イベントを発生可能とするイベントである。初期イベントは、第1発生条件および第2発生条件の2つの発生条件が設けられている。第1発生条件は、初期イベントが発生しておらず、かつ、グループサポートカードの配置されたトレーニングを実行することである。第2発生条件は、初期イベントが発生しておらず、かつ、初期イベント抽選で当選することである。

【0360】

つまり、初期イベントは、育成メインゲームにおいて発生していない状態で、グループサポートカードが配置された合同トレーニングを実行するか、初期イベント抽選で当選するかした場合に発生する。したがって、初期イベントは、1回の育成ゲームにおいて1回

50

のみ発生する。なお、第1発生条件によれば、最初に合同トレーニングを実行した場合に、必ず、初期イベントが発生する。また、初期イベント抽選は、初期イベントが発生していない状態において、毎ターン実行される。また、初期イベント抽選は、グループサポートカードがデッキに編成されていない場合にも実行される。

【0361】

なお、初期イベント抽選は、グループサポートカードがデッキに編成されている場合に限り実行されてもよい。また、グループサポートカードは、デッキに編成されていない場合にも、所定の抽選で当選することで、いずれかのトレーニングに配置されてもよい。

【0362】

グループサポートカードの連続イベントは、グループサポートカードに紐付けられた所属キャラクタとのお出かけが可能なお出かけ可能状態を設定可能とするイベントである。連続イベントの発生条件は、初期イベントが発生済みであり、かつ、連続イベント抽選で当選することである。なお、ここでは、連続イベント抽選の当選確率が、グループサポートカードの絆ゲージの値によって異なっている。例えば、連続イベント抽選の当選確率は、絆ゲージの値が40未満であれば5%、絆ゲージの値が40以上、80未満であれば10%、絆ゲージの値が80以上であれば15%である。

10

【0363】

なお、詳しい説明は省略するが、連続イベントはストーリイベントであり、ストーリ中、プレイヤに複数の選択肢の中からいずれかを選択させる内容となっている。このとき、所定の選択肢が選択されると、以後、プレイ中の育成メインゲームが終了するまで、お出かけ可能状態に設定される。

20

【0364】

ただし、連続イベントの内容は上記に限らない。例えば、連続イベントが発生した場合には、必ず、お出かけ可能状態が設定されてもよい。また、連続イベントは、繰り返し発生してもよいし、1度のみ発生してもよい。連続イベントが1度のみ発生し得るとした場合、連続イベントの発生時に、プレイヤが所定の選択肢を選択しないと、以後、お出かけ可能状態に設定されることはない。

【0365】

グループサポートカードのお出かけイベントは、上記した所属キャラクタ別イベントおよび全所属キャラクタ別イベントである。所属キャラクタ別イベントの発生条件は、お出かけ可能状態において、お出かけ画面255の第1所属キャラクタ選択操作部258aから第5所属キャラクタ選択操作部258eのいずれかが選択されたことである。つまり、所属キャラクタ別イベントは、お出かけ可能状態に設定された後、いずれかの所属キャラクタが選択された場合に発生する。所属キャラクタ別イベントの発生により、育成対象キャラクタの体力および調子が上昇する。

30

【0366】

また、全所属キャラクタ別イベントは、全ての所属キャラクタを選択済みであること、すなわち、全ての所属キャラクタとお出かけ済みであることが発生条件として設定されている。全所属キャラクタ別イベントの発生により、育成対象キャラクタの体力および調子が上昇する。また、はじめて全所属キャラクタ別イベントが発生した場合、育成対象キャラクタが所持スキルを所持する。

40

【0367】

以上のように、グループサポートカードのお出かけイベントを発生させるためには、初期イベントおよび連続イベントを順次発生させる必要がある。そして、連続イベントの発生に伴って、お出かけ可能状態が設定されることで、以後、所属キャラクタとのお出かけが可能となる。

【0368】

なお、ここでは、お出かけイベントを発生させるために、初期イベントおよび連続イベントを発生させ、さらにお出かけ可能状態とする必要があるとした。ただし、例えば、グループサポートカードがデッキに編成された場合には、育成メインゲームの開始当初から

50

、あるいは、所定のターン数から、グループサポートカードに紐付くお出かけイベントが発生可能としてもよい。

【0369】

グループサポートカードの第2イベントは、他のサポートカードと発生条件が異なる。具体的には、連続イベントが発生済みであること、グループサポートカードが配置されたトレーニングが実行されたこと、および、発生抽選で当選したことが、第2イベントの発生条件として設定されている。なお、連続イベントが発生済みであることに代えて、もししくは、加えて、お出かけ可能状態であることが発生条件として設けられてもよい。第2イベントの発生により、能力パラメータ等の各種パラメータが上昇する。また、第2イベントも、第1イベントと同様に、反復イベントと単発イベントとに大別される。

10

【0370】

以上のように、グループサポートカードのサポートイベントは、他のサポートカードと異なる初期イベント、連続イベントおよびお出かけイベントが設けられる。そして、お出かけイベントには、所属キャラクタごとに設けられる所属キャラクタ別イベントが含まれており、プレイヤーがいずれかの所属キャラクタ別イベントを選択することができる。これにより、プレイヤーは、所属キャラクタ別イベントにおいて、好みの所属キャラクタを表示させることができる。特に、グループサポートカードには、複数の所属キャラクタが紐付けられている。そのため、デッキに編成可能なサポートカードの数が制約される中において、より多くのキャラクタが表示可能となる。これにより、ゲーム展開が多様化され、ゲームのプレイ意欲が向上する。

20

【0371】

また、全ての所属キャラクタとお出かけを行うと、全所属キャラクタイベントが発生可能となる。これにより、全ての所属キャラクタ別イベントを発生させようという動機付けがなされ、さらにゲームの興趣が向上する。

【0372】

さらに、本実施形態では、グループサポートカードに基づいて、特典ゾーン（特典区間）が設定され得る。特典ゾーン中、プレイヤーは有利に育成ゲームを進行可能となる。以下に、特典ゾーンについて説明する。

30

【0373】

図36は、特典ゾーンを説明する図である。お出かけ可能状態に設定されている場合に、グループサポートカードの配置されたトレーニングが実行されると、特典ゾーン発生抽選が行われる。特典ゾーン発生抽選で当選すると、特典ゾーンが開始となる。ただし、特典ゾーン中は、特典ゾーン発生抽選が行われない。したがって、特典ゾーン中ではないことも、特典ゾーンの発生条件と言える。

【0374】

ここでは、お出かけ可能状態に設定された後、グループサポートカードの配置された合同トレーニングが実行された場合、1/10の確率で特典ゾーンが開始される。特典ゾーンは、グループサポートカードに紐づく合同トレーニングが実行されたターンの次のターンで開始となる。特典ゾーンの開始時には、効用として、育成対象キャラクタのバッドコンディションが解消される。詳しい説明は省略するが、バッドコンディションというのは、育成対象キャラクタに設定される、育成メインゲームの進行が不利となる状態である。

40

【0375】

なお、特典ゾーンは、基本的には、グループサポートカードがデッキに編成されていることを前提として設定されるものである。ただし、上記したように、グループサポートカードがデッキに編成されていない場合であっても、初期イベント抽選で当選すると初期イベントが発生し、その後、連続イベントの発生およびお出かけ可能状態の設定が可能となる。このように、お出かけ可能状態となり、かつ、デッキに編成されていないグループサポートカードが配置された場合には、特典ゾーンが発生する可能性がある。また、ここでは、特典ゾーン発生抽選の当選確率が10%であることとするが、当選確率は適宜設定可能である。

50

【 0 3 7 6 】

そして、特典ゾーン中は、育成対象キャラクタがバッドコンディションにならないこと、および、第2イベントの発生による能力パラメータ上昇等の効果がさらに上昇するといった効用がもたらされる。また、特典ゾーン中に、グループサポートカードの配置されたトレーニングが実行されると、グループサポートカードに基づく友情トレーニングが発生し、能力パラメータ上昇等の効果がさらに上昇する。また、この際には、特典ゾーン中に限り出現する特典演出が実行される。換言すれば、特典演出の出現により、友情トレーニングの発生およびトレーニング効果の上昇が報知される。

【 0 3 7 7 】

特典ゾーンには、終了条件が設けられており、終了条件の成立により、特典ゾーンの設定が解除される。ここでは、解除抽選に当選すること、および、特典ゾーンの発生後、5ターンが経過することが終了条件として設定されている。解除抽選は、特典ゾーンの発生後2～4ターンで実行される。したがって、特典ゾーンは、最長で5ターン継続し、最短で1ターンで終了する。

10

【 0 3 7 8 】

なお、ここでは、解除抽選の当選確率は50%であるが、当選確率は適宜設定可能である。また、解除抽選は必須ではない。例えば、特典ゾーンの終了条件として、特典ゾーンが終了するまでのターン数のみが設けられてもよい。

【 0 3 7 9 】

図37Aは、グループサポートカードの配置キャラクタアイコン248を説明する図である。図37Bは、特典演出を説明する図である。上記のように、グループサポートカードには、複数の所属キャラクタが紐付けられているが、グループサポートカードに対応する配置キャラクタアイコン248は1種類のみである。ここでは、グループサポートカードに対応する配置キャラクタアイコン248に、第1所属キャラクタが表示されている。

20

【 0 3 8 0 】

そして、特典ゾーン中に、グループサポートカードがトレーニングに配置されると、当該グループサポートカードの配置されたトレーニングを選択して実行することで、グループサポートカードに基づく友情トレーニングが発生可能となる。このとき、友情トレーニングは、いずれのトレーニング項目においても発生可能である。友情トレーニングが発生可能な状態では、図37Aに示すように、配置キャラクタアイコン248が、エフェクトにより強調表示される。図37Aでは、スピードのトレーニングに、グループサポートカードが配置された場合を示している。このとき、スピードのトレーニングに成功した場合の能力パラメータの上昇値が、ステータス表示部213の近傍に表示される。ここでは、友情トレーニングの発生によるボーナス加算値が加味された上昇値が表示されている。

30

【 0 3 8 1 】

そして、図37Aに示す状態で、スピードのトレーニングが選択されると、グループサポートカードに基づく友情トレーニングが発生する。このとき、トレーニングに成功すると、特典演出が実行される。特典演出では、図37Bに示すように、所属キャラクタが表示され、トレーニングの成功が報知される。

30

【 0 3 8 2 】

ここで、特典演出の実行パターンは複数設けられている。本実施形態では、特典演出の実行パターンが所属キャラクタごとに設けられている。1のグループサポートカードには5体の所属キャラクタが紐付けられているため、特典演出の実行パターンは5パターン設けられている。各実行パターンでは、必ず、1体の所属キャラクタが表示され、また、表示される所属キャラクタのボイスが出力される。

40

【 0 3 8 3 】

グループサポートカードに基づく友情トレーニングが発生する場合には、特典演出の実行パターンが抽選により決定される。すなわち、友情トレーニング（特典イベント）が発生する場合、グループサポートカード（所定のゲーム媒体）に紐付けられた複数の所属キャラクタのうちのいずれかが、特典演出で表示するキャラクタに決定される。これにより

50

、特典演出では、決定された所属キャラクタが表示される。

【0384】

ただし、特典演出の実行パターンは、抽選ではなく、例えば、予め設定された順番にしたがって選択されてもよい。また、ここでは、所属キャラクタごとに特典演出の実行パターンが設けられることとしたが、一部の所属キャラクタに対応する特典演出の実行パターンのみが設けられてもよい。あるいは、複数の所属キャラクタが表示される特典演出の実行パターンが設けられてもよい。

【0385】

以上のように、特典演出では、複数の所属キャラクタのうちのいずれかが表示される。これにより、デッキに編成可能なサポートカードの数が制約される中においても、ゲーム展開が多様化され、ゲームの興味が向上する。また、特典ゾーン中である場合には、特典演出として、特典ゾーン中ではない場合と異なる演出が実行可能となり、パラメータの上昇値が大きくなる等の特典が付与される。これにより、ゲームの興味がさらに向上する。

10

【0386】

ライバルキャラクタの配置有無を決定する処理

ターン開始時処理では、ライバルキャラクタの配置有無が決定される。ライバルキャラクタは、個人レースに出現し、当該個人レースにおいて育成対象キャラクタと勝敗を競うN P Cである。ライバルキャラクタは、ライバルキャラクタが出現していない通常時の個人レースに出現する通常のN P C（以下、通常N P Cと呼ぶ）と同じキャラクタIDを有するキャラクタで構成される。

20

【0387】

ただし、ライバルキャラクタは、通常N P Cよりも高いパラメータを有するキャラクタである。例えば、ライバルキャラクタは、同じキャラクタIDを有する通常N P Cの能力パラメータの値を所定倍（例えば、1.1倍）した能力パラメータを有する。そのため、ライバルキャラクタが出現した個人レースでは、基本的に、ライバルキャラクタと育成対象キャラクタが順位（1位）を競い合うゲーム性を有する。

【0388】

図38は、配置有無テーブルを説明する図である。図38に示すように、配置有無テーブルには、ライバルキャラクタの配置有無（「配置する」または「配置しない」）の選択比率が設定されている。本実施形態では、図38に示す配置有無テーブルに基づいて、ライバルキャラクタの配置有無が決定される。

30

【0389】

本実施形態では、ライバルキャラクタの配置は、現在のターンに出現する個人レースの中に、現在の育成対象キャラクタの場適正および距離適性に係る適正パラメータが所定値以上（例えば、C以上）のレースがある場合に実行される。そのため、「ライバルキャラクタの配置有無を決定する処理」は、まず、現在のターンに出現する個人レース（レース種目）の中に、現在の育成対象キャラクタの場適性および距離適性に係る適性パラメータが所定値以上となるレース（以下、適合レースと呼ぶ）の有無を判定する。

【0390】

図38に示すように、本実施形態では、ライバルキャラクタは、適合レースの難易度に応じて、選択比率が変更されている。具体的には、図38に示すように、ライバルキャラクタは、適合レースの難易度（グレード）がG Iである場合、60%の確率で「配置する」が選択され、40%の確率で「配置しない」が選択される。

40

【0391】

また、ライバルキャラクタは、適合レースの難易度がG I Iである場合、50%の確率で「配置する」が選択され、50%の確率で「配置しない」が選択される。また、ライバルキャラクタは、適合レースの難易度がG I I Iである場合、40%の確率で「配置する」が選択され、60%の確率で「配置しない」が選択される。ただし、ライバルキャラクタの選択比率は、適合レースの難易度に応じて変更されなくてもよい。例えば、ライバルキャラクタの選択比率は、適合レースの難易度によらず一律であってもよい。

50

【 0 3 9 2 】

ライバルキャラクタの配置が決定されると、配置するライバルキャラクタの種別（キャラクタID）がランダム抽選される。このとき、適合レースに設定されている芝およびダートなどの場と、短距離、マイル、中距離、長距離などの距離に対し、場適性および距離適性に係る適性パラメータが所定値以上（例えば、C以上）となるキャラクタの中から、いずれかのキャラクタがライバルキャラクタとしてランダム抽選される。ただし、1ターン中に適合レースが複数ある場合、複数の適合レースの間で同一のライバルキャラクタ（キャラクタID）が重複しないようにランダム抽選される。また、ライバルキャラクタのランダム抽選は、育成対象である育成対象キャラクタを除外して行われる。

【 0 3 9 3 】

ここで、ライバルキャラクタのパラメータは、適合レースの難易度に応じて変更されてもよい。例えば、ライバルキャラクタは、適合レースの難易度が高くなるほど、高いパラメータを有してもよい。また、ライバルキャラクタのパラメータは、適合レースの難易度によらず一定の値であってもよい。

【 0 3 9 4 】

ライバルキャラクタのパラメータは、育成ゲームのターンが進むほど高く設定される。具体的に、ライバルキャラクタのパラメータは、初期ターン区間、中期ターン区間、後期ターン区間の順で高く設定されてもよい。より具体的に、ライバルキャラクタの能力パラメータは、初期ターン区間である場合、同じキャラクタIDの通常NPCの能力パラメータを1.1倍したものであり、中期ターン区間である場合、同じキャラクタIDの通常NPCの能力パラメータを1.3倍したものであり、後期ターン区間である場合、同じキャラクタIDの通常NPCの能力パラメータを1.5倍したものである。

【 0 3 9 5 】

育成対象キャラクタが適合レースに出走すると、プレイヤに基礎報酬が付与される。また、適合レースにおいて育成対象キャラクタがライバルキャラクタに勝利すると、プレイヤに基礎報酬に加え追加報酬が付与される。ただし、追加報酬は、ライバルキャラクタとの勝敗にかかわらず、適合レースに出走した際に付与されてもよい。基礎報酬は、ライバルキャラクタとの勝敗にかかわらずプレイヤが得ることのできる報酬である。追加報酬は、基礎報酬とは別に育成対象キャラクタに付与され、例えば、適合レースの場に関連するスキルヒント、適合レースの距離に関連するスキルヒント、育成対象キャラクタの走法に関連するスキルヒントである。

【 0 3 9 6 】

また、追加報酬は、ディスプレイ26に所定のイベントが表示されるものであってもよい。当該所定のイベントでは、例えばライバルキャラクタが表示される。また、追加報酬は、育成対象キャラクタに紐付けられるスキルヒントや、パラメータを含む。当該スキルヒントは、育成対象キャラクタの場適性、距離適性、走法適性等のパラメータに基づいて決定されてもよい。

【 0 3 9 7 】**ライバルキャラクタの配置を報知する処理**

図39Aは、ゲーム画面320におけるライバルキャラクタの配置の報知を説明する図である。図39Bは、個人レース選択画面330におけるライバルキャラクタの配置の報知を説明する図である。

【 0 3 9 8 】

「ライバルキャラクタの配置有無を決定する処理」により、ライバルキャラクタの配置が決定されると、図39Aに示すように、ゲーム画面320の個人レース操作部219に重畳して、ライバルキャラクタ報知表示321が表示される。

【 0 3 9 9 】

ライバルキャラクタ報知表示321が表示されている個人レース操作部219がタップされると、図39Bに示す個人レース選択画面330がディスプレイ26に表示される。個人レース選択画面330の個人レース選択操作部266のレース種目のうち、ライバル

10

20

30

40

50

キャラクタの配置が決定されたレース種目（適合レース）には、「ライバルキャラクタ出走」と記されたライバルキャラクタ報知表示 321 が重畠表示される。

【0400】

なお、本実施形態では、ライバルキャラクタの配置が決定された場合、ディスプレイ 2 6 に図 39 A、図 39 B に示すライバルキャラクタ報知表示 321 を表示する例について説明したが、これに限定されず、ライバルキャラクタ報知表示 321 は、例えば、ライバルキャラクタのキャラクタ種類を特定できるテキストまたは画像を含んでもよい。

【0401】

本実施形態では、初期ターン区間、中期ターン区間、後期ターン区間それぞれの最終ターン終了時、育成対象キャラクタが所定条件を達成している場合、ボーナスイベントが発生する。所定条件は、例えば、勝利ポイントが目標ポイントを一定値以上超えて達成されること、所定の難易度（例えば、G I）のレースで 1 着を所定回数以上獲得すること、ライバルキャラクタに所定回数以上勝利していることなどである。

10

【0402】

ボーナスイベントは、低ボーナスイベントと、高ボーナスイベントを含み、所定条件の達成状況に応じて発生するボーナスイベントの種類が変化する。低ボーナスイベントは、例えば、育成対象キャラクタに設定される固有のスキルをレベルアップさせるイベントである。高ボーナスイベントは、例えば、育成対象キャラクタに設定される固有のスキルをレベルアップさせるイベントに加え、育成対象キャラクタのパラメータを所定値アップさせるイベント、および、スキルポイントを所定値アップさせるイベントである。

20

【0403】

本実施形態では、所定条件のうち基本条件のみを達成している場合、低ボーナスイベントが発生し、所定条件のうち基本条件に加えて追加条件を達成している場合、高ボーナスイベントが発生する。高ボーナスイベントは、ターン区間の種別に基づいて、イベントの内容が変化する。

【0404】

例えば、ターン区間の種別が初期ターン区間である場合、発生する高ボーナスイベントは、育成対象キャラクタに設定される固有のスキルをレベルアップさせ、育成対象キャラクタのパラメータのうちランダムで 1 種類のパラメータを所定値（例えば +10 ）アップさせ、スキルポイントを所定値（例えば +20 ）アップさせる。

30

【0405】

また、ターン区間の種別が中期ターン区間である場合、発生する高ボーナスイベントは、育成対象キャラクタに設定される固有のスキルをレベルアップさせ、育成対象キャラクタの全パラメータを所定値（例えば +5 ）アップさせ、スキルポイントを所定値（例えば +30 ）アップさせる。

【0406】

また、ターン区間の種別が後期ターン区間である場合、発生する高ボーナスイベントは、育成対象キャラクタに設定される固有のスキルをレベルアップさせ、育成対象キャラクタの全パラメータを所定値（例えば +10 ）アップさせ、スキルポイントを所定値（例えば +30 ）アップさせる。

40

【0407】

また、本実施形態では、上述したターン区間の終了時に発生するボーナスイベントとは別に、育成対象キャラクタが特殊条件を達成している場合にもボーナスイベントが発生する。特殊条件は、例えば、育成対象キャラクタが個人レースのうち特定レースを 1 着で勝利することである。具体的に、特殊条件は、特定の場、および、特定の距離が設定されている個人レースにおいて 1 着を所定回数獲得することや、特定の地域の個人レースにおいて 1 着を所定回数獲得することや、難易度の高い G I レースのうち特定のレースを 1 着で勝利することなどである。ボーナスイベントは、例えば、育成対象キャラクタのパラメータを所定値アップさせるイベントである。

【0408】

50

上記の育成メインゲームにおいて、全てのターンが終了すると、育成ゲームが終了となる。また、育成メインゲームの途中で、キャラクタごとに設定される目標や規定のターン区間ごとに設定される目標ポイントを達成することができなかった場合には、その時点で育成ゲームが終了となる。

【0409】

ここで、育成ゲームが終了すると、育成ゲームで育成した育成対象キャラクタが育成キャラクタとして記憶される。より厳密には、育成ゲームで育成された育成キャラクタに関する情報（以下、育成キャラクタ情報という）が、プレイヤIDに紐付けて記憶される。なお、育成キャラクタ情報は、プレイヤ端末1およびサーバ1000の双方で記憶される。プレイヤIDに紐付けて記憶される育成キャラクタ情報には、能力パラメータ、適性パラメータ、獲得済みスキル、継承情報等が含まれる。

10

【0410】

また、育成ゲームが終了すると、育成された育成キャラクタの評価点が算出される。ここでは、育成ゲーム終了時点における能力パラメータ、適性パラメータ、獲得済みスキル、個人レースの戦績等に基づいて、評価点が算出される。なお、評価点の算出方法、換言すれば、評価点を算出するための計算式は予め用意されており、所定の計算式に基づいて評価点が算出される。なお、評価点の算出方法、計算式は特に限定されない。例えば、育成ゲーム終了時点における能力パラメータ、適性パラメータ、獲得済みスキル等、チーム競技ゲームや他のレースゲームにおけるレースに育成キャラクタが出走した際に、レース結果に影響を及ぼすパラメータのみに基づいて評価点が算出されてもよい。

20

【0411】

また、育成キャラクタには、評価点に基づいて育成ランクが設定される。育成ランクは、育成キャラクタの強さを示す指標であり、各育成ランクには、評価点の範囲が対応付けられている。例えば、評価点が13000～14499の育成キャラクタには、「A+」の育成ランクが付与され、評価点が14500～15499の育成キャラクタには、「S」の育成ランクが付与される。このように、評価点に基づいて育成ランクが付与されることで、育成キャラクタの大凡の強さがわかりやすくなる。なお、育成キャラクタ情報には、評価点および育成ランクも含まれる。

【0412】

図40Aは、育成完了画面340を説明する第1の図である。図40Bは、育成完了画面340を説明する第2の図である。図40Cは、育成完了画面340を説明する第3の図である。育成ゲームが終了すると、図40Aに示すように、育成完了画面340がディスプレイ26に表示される。育成完了画面340には、まず、育成された育成キャラクタの育成ランクが表示され、その後、図40Bに示すように、評価点が表示される。

30

【0413】

また、評価点が表示されてから所定時間が経過すると、図40Cに示すように、育成キャラクタの能力パラメータ、適性パラメータ、獲得済みスキルが育成完了画面340に表示される。このとき、育成完了画面340には、クローズ操作部331が設けられる。クローズ操作部331がタップされると、育成完了画面340が非表示となり、ホーム画面100がディスプレイ26に表示される。

40

【0414】

なお、育成ゲームが終了すると、育成対象キャラクタが獲得する因子の抽選が行われ、育成キャラクタに因子情報が紐付けて記憶される。図示は省略するが、育成完了画面340において、プレイヤは、育成キャラクタが獲得した因子情報を表示させることができる。

【0415】

ここで、本実施形態では、上記したように、期間限定イベントが不定期に開催される。期間限定イベントの開催中に、上記の育成ゲームをプレイすると、プレイヤにイベントポイントが付与される。具体的には、育成ゲームが完了すると、予め設定された算出条件にしたがってイベントポイントが算出される。なお、育成ゲームを途中で終了した場合、すなわち、リタイアした場合であっても、その時点の能力パラメータ等に基づいてイベント

50

ポイントが算出されてもよい。期間限定イベントの開催中は、プレイヤが獲得したイベントポイントが累計される。

【0416】

また、期間限定イベントでは、アイテムやゲーム内通貨等の報酬が、イベントポイントの値に紐付けられている。プレイヤの獲得したイベントポイントの累計値が所定値に達するたびに報酬がプレイヤに付与される。

【0417】

イベントポイントは、基礎ポイントとボーナスポイントとに大別される。基礎ポイントは、例えば、評価点、獲得したスキル、二つ名、レースの勝利数等、主に育成ゲームの結果に基づいた算出条件にしたがって算出される。ボーナスポイントは、基礎ポイントに所定の倍率を乗じて算出されるポイントである。ここでは、プレイヤが所持しているキャラクタ、より厳密には、キャラクタ（キャラクタID）が紐付けられたキャラクタカードと、プレイヤが所持しているサポートカードと、デッキに編成されたレンタルサポートカードとに基づいて、ボーナスポイントが算出される。以下に、ボーナスポイントの算出について詳述する。

10

【0418】

図41は、特効情報を説明する図である。期間限定イベントでは、育成ゲームに対して特効キャラクタが設定される。期間限定イベントは、複数の種類が設けられており、いずれかの期間限定イベントが不定期に開催される。特効キャラクタは、期間限定イベントの種類ごとに設定される。上記したように、プレイヤは、育成対象キャラクタに設定可能なキャラクタを所持している。より具体的には、プレイヤは、育成対象キャラクタとなるキャラクタ（キャラクタID）が紐付けられたキャラクタカードを複数所持することができる。プレイヤは、ゲーム内通貨を消費して行われる抽選で当選したキャラクタカードを所持することができる。また、キャラクタカードは、運営者から無償あるいは有償でプレイヤに配布されてもよい。

20

【0419】

キャラクタカードには、サポートカードと同様に、キャラクタIDが紐付けられている。育成ゲームの準備段階処理において、プレイヤは、キャラクタカードを選択する。このとき、プレイヤによって選択されたキャラクタカードに紐付けられたキャラクタIDのキャラクタが育成対象キャラクタとなる。

30

【0420】

期間限定イベントの開催時には、プレイヤ端末1およびサーバ1000に、特効情報データが記憶される。特効情報データでは、キャラクタIDに、特効キャラクタを示す特効情報が紐付けられている。つまり、プレイヤ端末1およびサーバ1000では、特効情報データを参照することで、育成ゲームの特効キャラクタを特定することができる。

【0421】

本実施形態では、キャラクタA、B、C、D、Eの5体のキャラクタが特効キャラクタとして設定されている。したがって、特効情報データにおいては、キャラクタA、B、C、D、Eそれぞれに対応するキャラクタIDに特効情報が紐付けられており、その他のキャラクタIDには、特効情報が紐付けられていない。

40

【0422】

なお、ここでは、理解を容易するために、キャラクタA、キャラクタB等のキャラクタの種別と同じアルファベットをキャラクタIDとして示しているが、キャラクタIDは、実際には所定の桁数の数値で構成されている。

【0423】

図42は、キャラクタカードを説明する図である。運営者から提供されるキャラクタカードには、それぞれ異なるキャラクタカードIDが紐付けられている。そして、各キャラクタカードには、必ず1のキャラクタIDが紐付けられている。いずれかのキャラクタカードに紐付けられたキャラクタIDに対応するキャラクタが、育成ゲームにおける育成対象キャラクタとなり得る。ここでは、一例として、20種類のキャラクタIDが設けられ

50

ており、20種類のキャラクタが育成対象キャラクタになり得るものとする。

【0424】

一方で、キャラクタカードは、キャラクタIDの数よりも多く設けられている。つまり、キャラクタカードには、同一のキャラクタIDが紐付けられた複数のキャラクタカードが含まれている。例えば、図42に示すように、0001および0021のキャラクタカードIDが紐付けられたキャラクタカードには、いずれもキャラクタID=Aが紐付けられている。同様に、0003、0023および0024のキャラクタカードIDが紐付けられたキャラクタカードには、いずれもキャラクタID=Cが紐付けられている。

【0425】

育成ゲームにおいて、0001、0021のキャラクタカードIDが紐付けられたキャラクタカードをプレイヤが選択した場合、育成対象キャラクタは、いずれもキャラクタAとなる。ただし、能力パラメータ等の初期値や所持スキルは、キャラクタカードに紐付けられている。したがって、同じキャラクタが育成対象キャラクタとして設定されたとしても、プレイヤが選択したキャラクタカードが異なると、最終的に能力の異なる育成キャラクタが生成されることとなる。

10

【0426】

また、プレイヤ端末1およびサーバ1000においては、キャラクタカード所持データが設けられている。キャラクタカード所持データでは、キャラクタカードIDごとに所持情報が紐付けられる。所持情報は、当該キャラクタカードをプレイヤが所持しているか否かを識別する情報である。例えば、図42に示す例では、プレイヤは、0001、0003、0006、0007、0021のキャラクタカードIDが紐付けられたキャラクタカードを所持している。

20

【0427】

なお、ここでは図示を省略するが、プレイヤ端末1およびサーバ1000には、キャラクタカードレベルデータが設けられている。キャラクタカードレベルデータでは、キャラクタカードIDごとに、現在のレベルが紐付けられている。上記したように、プレイヤは、所定のアイテムやゲーム内通貨を消費することで、キャラクタカードのレベルを上昇させることができる。キャラクタカードのレベルは、1から5までの5段階である。キャラクタカードのレベルが高くなると、能力パラメータの初期値が上昇したり、所持スキルが増加したりする。

30

【0428】

図43は、サポートカードを説明する図である。運営者から提供されるサポートカードには、それぞれ異なるサポートカードIDが紐付けられている。そして、各サポートカードには、上記したように、1または複数のキャラクタIDが紐付けられている。サポートカードは、キャラクタIDの数よりも多く設けられている。つまり、サポートカードには、同一のキャラクタIDが紐付けられた複数のサポートカードが含まれている。

【0429】

例えば、図43に示すように、0001、0051および0101のサポートカードIDが紐付けられたサポートカードには、いずれもキャラクタID=Aが紐付けられている。ここでは、キャラクタID=Aが紐付けられたサポートカードとして、レアリティ=R、S R、S S Rがそれぞれ設定された3つのサポートカードが設けられている。また、0201のサポートカードIDが紐付けられたサポートカードには、C、D、EのキャラクタIDが紐付けられている。つまり、サポートカードID=0201のサポートカードは、上記のグループサポートカードである。

40

【0430】

そして、プレイヤ端末1およびサーバ1000においては、サポートカード所持データが設けられている。サポートカード所持データでは、サポートカードIDごとに所持情報が紐付けられる。所持情報は、当該サポートカードをプレイヤが所持しているか否かを識別する情報である。図43では、一例として、プレイヤが所持しているサポートカードの所持情報に○が記されている。

50

【 0 4 3 1 】

なお、ここでは図示を省略するが、プレイヤ端末1およびサーバ1000には、サポートカード上限解放データおよびサポートカードレベルデータが設けられている。サポートカード上限解放データでは、サポートカードIDごとに、現在の上限解放数が紐付けられている。また、サポートカードレベルデータでは、サポートカードIDごとに、現在のレベルが紐付けられている。

【 0 4 3 2 】

上記したように、レアリティがR、SR、SSRのサポートカードには、それぞれ、レベル20、25、30が上限として定められている。プレイヤは、アイテム等を消費することで、上限の範囲内でサポートカードのレベルを上昇させることができる。また、プレイヤは、アイテム等を消費することで、各サポートカードの上限解放を行うことができる。サポートカードのレベルの上限は、1回の上限解放につき「5」上昇する。ただし、上限解放の可能回数は、1つのサポートカードにつき4回に制限されている。したがって、4回の上限解放により、レアリティ=R、SR、SSRのサポートカードのレベルの上限は、それぞれ40、45、50となる。

10

【 0 4 3 3 】

図44は、キャラクタカードに設定される効果値を説明する図である。期間限定イベントでは、上記のように、特効キャラクタが設定される。そして、特効キャラクタが紐付けられたキャラクタカード、換言すれば、特効情報が設定されたキャラクタIDが紐付けられるキャラクタカードIDには、イベントポイントを変化させる効果値が設定されている。この効果値は、ボーナスポイントの算出にあたり、基礎ポイントに乗じられる値である。

20

【 0 4 3 4 】

効果値は、各キャラクタカードのレベルごとに設定されている。例えば、0001のキャラクタカードIDのキャラクタカードには、全てのレベルに対して、10%の効果値が設定されている。また、0002のキャラクタカードIDのキャラクタカードは、レベルが3以下であれば、効果値が3%となり、レベルが4以上であれば、効果値が5%となる。このように、レベルに拘わらず、共通の効果値が設定されたキャラクタカードや、レベルによって異なる効果値が設定されたキャラクタカードが設けられている。

【 0 4 3 5 】

また、ここでは、図44に示すように、同一のキャラクタIDが紐付けられた複数のキャラクタカードIDに対して、異なる効果値が設定されている。ただし、図44に示す効果値は一例に過ぎない。したがって、例えば、特効情報が設定されたキャラクタIDが紐付けられる全てのサポートカードIDに対して、共通の効果値が設定されてもよい。また、ここでは、レベルが高い場合の方が、低い場合に比べて、効果値が大きい。ただし、これとは逆に、レベルが低い場合の方が、高い場合に比べて、効果値が大きくなるように設定されてもよい。

30

【 0 4 3 6 】

図45は、サポートカードに設定される効果値を説明する図である。特効キャラクタが紐付けられたサポートカード、すなわち、特効情報が設定されたキャラクタIDが紐付けられるサポートカードIDには、上記と同様の効果値が設定されている。ここでは、サポートカードIDに設定される効果値が、各サポートカードの上限解放数ごとに設定されている。

40

【 0 4 3 7 】

例えば、0001のサポートカードIDのサポートカードは、上限解放数が2以下であれば、効果値が5%となり、上限解放数が3以上であれば、効果値が10%となる。ここでは、全てのサポートカードにおいて、上限解放数が大きい場合の方が、小さい場合よりも、効果値が大きくなるように設定されている。ただし、上限解放数に拘わらず、1のサポートカードIDに対して1の効果値が設定されてもよい。あるいは、上限解放数が小さい場合の方が、大きい場合よりも、効果値が大きくなるように設定されてもよい。

【 0 4 3 8 】

50

また、ここでは、レアリティが高いサポートカードの方が、レアリティの低いサポートカードよりも、大きな効果値が設定されている。ただし、効果値は、レアリティとは関係なく設定されてもよい。さらには、全てのサポートカード ID に対して、共通の効果値が設定されてもよい。また、上限解放数ではなく、レベルに応じた効果値が設定されてもよい。

【0439】

また、ここでは、グループサポートカードに紐付けられたキャラクタ ID に特効情報が設定されている。換言すれば、グループサポートカードに対応するキャラクタが、特効キャラクタに設定されている。本実施形態では、サポートカード ID = 0201 のグループサポートカードに対応する 3 体のキャラクタが、いずれも特効キャラクタに設定されている。ただし、グループサポートカードに対応する複数のキャラクタの一部が、特効キャラクタに設定されてもよい。

10

【0440】

上記のように、効果値が設定されたキャラクタカードおよびサポートカードを所持した状態で育成ゲームが開始されると、所持しているキャラクタカードおよびサポートカードに基づいてボーナスポイントが算出される。具体的には、所持しているキャラクタカードおよびサポートカードに基づいて、特効キャラクタごとに 1 の効果値が特定される。ここでは、特効キャラクタが 5 体設定されていることから、最大で 5 つの効果値が特定される。

【0441】

図 46 は、効果値の特定方法を説明する図である。育成メインゲームの開始時（準備段階処理の終了時）には、所持しているカードのうち、特効キャラクタであるキャラクタ A、B、C、D、E が紐付けられた全てのキャラクタカードおよびサポートカードが抽出される。換言すれば、特効情報が付されたキャラクタ ID を紐付けられたキャラクタカードおよびサポートカードが抽出される。

20

【0442】

ここでは、まず、所持しているキャラクタカードについて、特効キャラクタの紐付けられたキャラクタカードが抽出される。図 46 に示す例では、キャラクタ A が紐付けられた 2 つのキャラクタカードと、キャラクタ C が紐付けられた 1 つのキャラクタカードとが抽出されている。キャラクタカードが抽出されると、抽出されたキャラクタカードの現在のレベルに基づいて、キャラクタカードごとに効果値が特定される。

30

【0443】

図 46 に示す例では、キャラクタ A が紐付けられた 2 つのキャラクタカードの効果値が、それぞれ 10%、15% と特定されている。また、キャラクタ C が紐付けられたキャラクタカードの効果値が 5% と特定されている。

【0444】

次に、所持しているグループサポートカード以外のサポートカードについて、特効キャラクタの紐付けられたサポートカードが抽出される。そして、上限解放数に基づいて、抽出されたサポートカードごとに、上記と同様に効果値が特定される。

【0445】

次に、所持しているグループサポートカードについて、特効キャラクタの紐付けられたサポートカードが抽出され、上限解放数に基づいて、抽出されたグループサポートカードごとに、上記と同様に効果値が特定される。

40

【0446】

また、特効キャラクタの紐付けられたサポートカードが、レンタルサポートカードとしてデッキに編成された場合、当該レンタルカードについても、上記と同様に抽出され、効果値が特定される。なお、グループサポートカードがレンタルサポートカードとしてデッキに編成された場合において、当該レンタルサポートカードに特効キャラクタが紐付けられている場合には、上記と同様に、抽出および効果値の特定がなされる。

【0447】

なお、図 46 に示す例では、グループサポートカード以外のサポートカードがレンタル

50

サポートカードとしてデッキに編成されている。デッキに編成可能なレンタルカードは1つであるため、図46に示す例では、レンタルサポートカードとしてのグループサポートカードは抽出されない。

【0448】

以上のようにして、特効キャラクタが紐付けられたキャラクタカードおよびサポートカードが抽出され、カードごとに効果値が特定されると、次に、特効キャラクタごとに、1つの適用対象カードが決定される。ここでは、1の特効キャラクタに対して、複数のカードが抽出された場合、抽出されたカードの中で、効果値が最大のカードが、適用対象カードに決定される。

【0449】

例えば、図46に示す例では、キャラクタAの紐付けられたカードのうち、効果値が15%のキャラクタカードが、適用対象カードに決定される。つまり、キャラクタAについては、効果値が15%に決定される。また、キャラクタBの紐付けられたカードのうち、効果値が25%のサポートカードが、適用対象カードに決定される。つまり、キャラクタBについては、効果値が25%に決定される。

【0450】

また、キャラクタC、Eについては、いずれも同一のグループサポートカードが適用対象カードに決定される。ここでは、キャラクタC、Eについて、いずれも効果値が15%に決定される。

【0451】

また、キャラクタDの紐付けられたカードのうち、効果値が25%のレンタルサポートカードが、適用対象カードに決定される。つまり、キャラクタDについては、効果値が25%に決定される。

【0452】

このように、本実施形態では、特効キャラクタごとに1の適用対象カードが決定される。そして、全ての適用対象カードに設定される効果値が合算され、最終的に適用される1の適用効果値が決定される。図46に示す例では、太線で囲まれた5つの効果値を合算した95%が、適用効果値となる。

【0453】

育成ゲームの終了時にイベントポイントが算出される場合、まず、基礎ポイントが算出される。そして、基礎ポイントに、適用効果値を乗じてボーナスポイントが算出される。例えば、基礎ポイントが10000ptと算出された場合、この基礎ポイントに適用効果値を乗じた9500ptが、ボーナスポイントとして算出される。これにより、イベントポイントは、基礎ポイントにボーナスポイントを加えた19500ptとなる。

【0454】

図47Aは、期間限定イベント中の最終確認画面205Bを説明する第1の図である。図47Bは、期間限定イベント中の最終確認画面205Bを説明する第2の図である。期間限定イベント中、育成ゲームにおいてデッキの編成が完了すると、図47Aに示す最終確認画面205Bが表示される。最終確認画面205Bにおいても、プレイヤが選択した育成対象キャラクタ、第1継承グループを構成する育成キャラクタ、第2継承グループを構成する育成キャラクタ、デッキに編成されたサポートカード、プリセット表示部205a、スタート操作部205b、キャンセル操作部205cが表示される。

【0455】

そして、最終確認画面205Bには、ブースト操作部205dが表示される。ブースト操作部205dがタップされると、不図示の確認画面が表示される。プレイヤは、確認画面において、イベントブースト機能のオン、オフを切り替えることができる。イベントブースト機能というのは、1回の育成メインゲームで消費するゲームポイントを倍にする代わりに、育成ゲームの完了時に付与されるイベントポイントを倍にする機能である。

【0456】

また、最終確認画面205Bにおいては、育成対象キャラクタやデッキの編成を確認す

10

20

30

40

50

ることができる領域 205e、すなわち、プリセット表示部 205a よりも上方がスクロール可能に表示される。領域 205e をスクロールすると、図 47B に示すように、イベントボーナス情報画像 207 が表示される。イベントボーナス情報画像 207 には、適用対象カードと、適用対象カードによる効用値とが表示される。

【0457】

また、イベントボーナス情報画像 207 には、詳細ボタン 207a が設けられる。詳細ボタン 207a がタップされると、ボーナスポイント詳細画面 208 が表示される。

【0458】

図 48 は、ボーナスポイント詳細画面 208 を説明する図である。ボーナスポイント詳細画面 208 には、特効キャラクタ表示領域 208a が設けられている。特効キャラクタ表示領域 208a には、特効キャラクタに対応するキャラクタアイコンが表示されている。特効キャラクタ表示領域 208a に表示されるキャラクタアイコンにより、プレイヤは、期間限定イベントにおける特効キャラクタを把握することができる。10

【0459】

また、ボーナスポイント詳細画面 208 には、キャラクタカード表示領域 208b が設けられている。キャラクタカード表示領域 208b には、プレイヤが所持しており、かつ、特効キャラクタの紐付けられたキャラクタカードが表示される。つまり、キャラクタカード表示領域 208b には、プレイヤが所持しているキャラクタカードのうち、適用対象カードの候補として抽出された全てのキャラクタカードが表示される。20

【0460】

また、ボーナスポイント詳細画面 208 には、サポートカード表示領域 208c が設けられている。サポートカード表示領域 208c には、プレイヤが所持しており、かつ、特効キャラクタの紐付けられたサポートカードが表示される。つまり、サポートカード表示領域 208c には、プレイヤが所持しているサポートカードのうち、適用対象カードの候補として抽出された全てのサポートカードが表示される。30

【0461】

なお、キャラクタカード表示領域 208b およびサポートカード表示領域 208c に表示される、適用対象カードの候補として抽出されたカードには、最終的に適用対象カードに決定されるものと、適用対象カードに決定されないものとが含まれる。最終的に適用対象カードに決定されたカードには、「Bonus」と記された識別マークと、当該カードによる効用値とが表示される。30

【0462】

一方、キャラクタカード表示領域 208b およびサポートカード表示領域 208c に表示されるカードのうち、適用対象カードに決定されなかったカードは、適用対象カードよりも暗く表示される。このように、ボーナスポイント詳細画面 208 では、適用対象カードの候補として抽出されたカードと、適用対象カードとが識別可能に表示される。

【0463】

以上のように、本実施形態によれば、期間限定イベントの開催中、プレイヤは、育成ゲームをプレイすることで、報酬としてイベントポイントを獲得することができる。そして、特効キャラクタに対応するキャラクタカードまたはサポートカードを所持しているだけで、イベントポイントの獲得量が増加する。40

【0464】

従来、イベントポイントの獲得量を増加させるためには、例えば、特効キャラクタに対応するサポートカードをデッキに編成する必要があった。しかしながら、この場合、プレイヤは、自由にデッキを編成するのが難しくなり、選択肢が狭まる結果、ゲームをプレイする意欲が低下するおそれがある。本実施形態によれば、特効キャラクタに対応するキャラクタカードまたはサポートカードを所持しているだけで、イベントポイントの獲得量が増加するため、キャラクタカードおよびサポートカードを自由に選択することが可能となり、ゲーム意欲が低下する事がない。

【0465】

10

20

30

40

50

また、ゲームが運営される中では、新たなキャラクタカードやサポートカードが順次追加される。したがって、プレイヤの所持する各カードの数は徐々に増加することが予想される。より性能の高いカードが新たに追加されていくと、既存のカードを所持している必要性が低下する。しかしながら、本実施形態によれば、特効キャラクタに対応するカードを所持していることで、不定期に開催される期間限定イベントで獲得可能なイベントポイントが増加するため、より多くのカードを所持しようという意欲、ひいては、カードの獲得意欲が向上する。

【0466】

次に、上記の育成ゲームを実行するためのプレイヤ端末1およびサーバ1000の機能的構成について説明する。なお、以下では、育成ゲームのうち、特にグループサポートカードに関係する処理について詳述し、その他の処理については説明を省略する。10

【0467】

(プレイヤ端末1の機能的構成)

図49は、プレイヤ端末1におけるメモリ12の構成およびコンピュータとしての機能を説明する図である。メモリ12には、プログラム記憶領域12a、および、データ記憶領域12bが設けられている。CPU10は、ゲームが開始されると、端末側ゲーム制御用プログラム(モジュール)をプログラム記憶領域12aに記憶する。

【0468】

端末側ゲーム制御用プログラムには、情報設定処理プログラム700、カード抽選処理プログラム701、育成ゲーム実行プログラム702、育成完了時処理プログラム703が含まれる。なお、図49に列挙したプログラムは一例であり、端末側ゲーム制御用プログラムには、この他にも多数のプログラムが設けられている。20

【0469】

データ記憶領域12bには、データを記憶する記憶部として、プレイヤ情報記憶部750、ゲーム情報記憶部751が設けられている。なお、データ記憶領域12bには、この他にも多数の記憶部が設けられている。ここでは、育成ゲーム等、ゲームに直接関係する情報(以下、ゲーム情報と呼ぶ)がゲーム情報記憶部751に記憶される。

【0470】

なお、育成ゲーム等、各ゲームの進行中における各種の情報の仮記憶もゲーム情報記憶部751になされる。したがって、育成ゲームで育成された育成キャラクタに関する全ての情報はゲーム情報記憶部751に記憶される。また、例えば、プレイヤあるいは他のプレイヤに関する情報、プレイヤ端末1の設定情報等、ゲーム情報以外の情報を全てプレイヤ情報とする。プレイヤ情報は、プレイヤ情報記憶部750に記憶される。30

【0471】

CPU10は、プログラム記憶領域12aに記憶された各プログラムを動作させ、データ記憶領域12bの各記憶部のデータを更新する。そして、CPU10は、プログラム記憶領域12aに記憶された各プログラムを動作させることで、プレイヤ端末1(コンピュータ)を、端末側ゲーム制御部1Aとして機能させる。端末側ゲーム制御部1Aは、情報設定処理部700a、カード抽選処理部701a、育成ゲーム実行部702a、育成完了時処理部703aを含む。40

【0472】

具体的には、CPU10は、情報設定処理プログラム700を動作させ、コンピュータを情報設定処理部700aとして機能させる。同様に、CPU10は、カード抽選処理プログラム701、育成ゲーム実行プログラム702、育成完了時処理プログラム703を動作させ、それぞれカード抽選処理部701a、育成ゲーム実行部702a、育成完了時処理部703aとして機能させる。

【0473】

情報設定処理部700aは、プレイヤ端末1において各種の情報の設定が行われた場合に、設定に関する情報をプレイヤ情報としてプレイヤ情報記憶部750に記憶する。また、情報設定処理部700aは、プレイヤ情報記憶部750の情報を更新した場合、更新情50

報をサーバ1000に送信する。

【0474】

カード抽選処理部701aは、プレイヤの操作入力に基づいて、キャラクタカードまたはサポートカードのガチャ抽選をサーバ1000に要求する。また、カード抽選処理部701aは、サーバ1000からガチャ抽選の結果を受信すると、抽選結果を表示し、所持情報を更新する。

【0475】

育成ゲーム実行部702aは、育成ゲームに関する全ての処理を実行する。具体的には、育成ゲーム実行部702aは、準備段階処理および育成段階処理を実行する。

【0476】

育成完了時処理部703aは、育成ゲームの完了時に、育成キャラクタの能力パラメータ、適性パラメータ、獲得済みスキル、継承情報、因子情報、育成に使用したキャラクタの種別等を含む育成キャラクタ情報を記憶する。

10

【0477】

(サーバ1000の機能的構成)

図50は、サーバ1000におけるメモリ1012の構成およびコンピュータとしての機能を説明する図である。メモリ1012には、プログラム記憶領域1012a、およびデータ記憶領域1012bが設けられている。CPU1010は、ゲームが開始されると、サーバ側ゲーム制御用プログラム(モジュール)をプログラム記憶領域1012aに記憶する。

20

【0478】

サーバ側ゲーム制御用プログラムには、情報設定処理プログラム1100、カード抽選処理プログラム1101、育成ゲーム実行プログラム1102、育成ゲーム終了処理プログラム1103が含まれる。なお、図50に列挙したプログラムは一例であり、サーバ側ゲーム制御用プログラムには、この他にも多数のプログラムが設けられている。

【0479】

データ記憶領域1012bには、データを記憶する記憶部として、プレイヤ情報記憶部1150、ゲーム情報記憶部1151が設けられている。なお、データ記憶領域1012bには、この他にも多数の記憶部が設けられている。ここでは、全てのプレイヤのゲーム情報が、プレイヤIDに紐付けられてゲーム情報記憶部1151に記憶される。また、全てのプレイヤのプレイヤ情報が、プレイヤIDに紐付けられてプレイヤ情報記憶部1150に記憶される。

30

【0480】

CPU1010は、プログラム記憶領域1012aに記憶された各プログラムを動作させ、データ記憶領域1012bの各記憶部のデータを更新する。そして、CPU1010は、プログラム記憶領域1012aに記憶された各プログラムを動作させることで、サーバ1000(コンピュータ)を、サーバ側ゲーム制御部1000Aとして機能させる。サーバ側ゲーム制御部1000Aは、情報設定処理部1100a、カード抽選処理部1101a、育成ゲーム実行部1102a、育成ゲーム終了処理部1103aを含む。

40

【0481】

具体的には、CPU1010は、情報設定処理プログラム1100を動作させ、コンピュータを情報設定処理部1100aとして機能させる。同様に、CPU1010は、カード抽選処理プログラム1101、育成ゲーム実行プログラム1102、育成ゲーム終了処理プログラム1103を動作させ、それぞれカード抽選処理部1101a、育成ゲーム実行部1102a、育成ゲーム終了処理部1103aとして機能させる。

【0482】

情報設定処理部1100aは、プレイヤ端末1において各種の情報の設定が行われた場合に、プレイヤ端末1から受信した更新情報に基づいて、プレイヤ情報記憶部1150のプレイヤ情報を更新する。また、情報設定処理部1100aは、時間を計時し、各プレイヤのゲームポイントを更新する。

50

【 0 4 8 3 】

カード抽選処理部 1101a は、プレイヤ端末 1 から受信したガチャ抽選の要求に基づいて、プレイヤに付与するキャラクタカードまたはサポートカードを抽選により決定する。また、カード抽選処理部 1101a は、抽選結果に基づいて所持情報を更新する。

【 0 4 8 4 】

育成ゲーム実行部 1102a は、育成ゲームに関する全ての処理を実行する。

【 0 4 8 5 】

育成ゲーム終了処理部 1103a は、育成ゲームが終了すると、育成された育成キャラクタについて、評価点や育成ランク等を導出する。また、育成ゲーム終了処理部 1103a は、育成キャラクタが獲得する因子を抽選により決定する。そして、育成キャラクタの能力パラメータ、適性パラメータ、獲得済みスキル、継承情報、因子情報、育成に使用したキャラクタの種別等を含む育成キャラクタ情報をプレイヤ ID に紐付けてゲーム情報記憶部 1151 に記憶する。10

【 0 4 8 6 】

なお、プレイヤ端末 1 における情報設定処理部 700a と、サーバ 1000 における情報設定処理部 1100a とは、いずれもプレイヤ情報を記憶する点で共通するが、具体的な処理の内容や、記憶するプレイヤ情報の範囲が互いに異なる。また、プレイヤ端末 1 における育成ゲーム実行部 702a と、サーバ 1000 における育成ゲーム実行部 1102a とは、いずれも育成ゲームに関する処理を実行する点で共通するが、両者の役割、すなわち、担当範囲が異なっている。20

【 0 4 8 7 】

上記のプレイヤ端末 1 およびサーバ 1000 における各機能部が遂行する処理について、以下にフローチャートを用いて説明する。

【 0 4 8 8 】

(プレイヤ端末 1 およびサーバ 1000 の処理)

育成ゲームに係る処理

図 5-1 は、育成ゲームに係るプレイヤ端末 1 およびサーバ 1000 の処理を説明するシーケンス図である。なお、以下の説明では、プレイヤ端末 1 における処理を Pn (n は任意の整数) と示す。また、サーバ 1000 における処理を Sn (n は任意の整数) と示す。30

【 0 4 8 9 】

プレイヤがプレイヤ端末 1 において各種の設定変更操作を行うと、プレイヤ端末 1 の情報設定処理部 700a は、プレイヤの操作入力に基づいて、プレイヤ情報記憶部 750 を更新するための情報設定処理 (P1) を行う。この情報設定処理では、更新情報がサーバ 1000 に送信される。サーバ 1000 では、更新情報を受信すると、情報設定処理部 1100a がプレイヤ情報記憶部 1150 のプレイヤ情報を更新する (S1)。

【 0 4 9 0 】

なお、P1、S1 で更新されるプレイヤ情報としては、例えば、プレイヤが設定可能なプロフィール情報がある。また、例えば、設定変更操作として、他のプレイヤをフレンドに追加する操作、あるいは、フレンドを解除する操作が入力されると、フレンドに関する情報であるフレンド情報が更新される。なお、P1 および S1 では、情報設定処理部 700a、情報設定処理部 1100a それぞれが、育成ゲームを実行するために消費するゲームポイントを管理している。情報設定処理部 700a、1100a は、ゲームポイントが上限値未満である場合、時間を計時し、所定時間おきにゲームポイントを所定値ずつプレイヤに付与する。40

【 0 4 9 1 】

プレイヤ端末 1 において、メニューバー 102 のガチャ画面選択操作部 102e がタップされると、ガチャ画面が表示される。プレイヤは、ガチャ画面において、キャラクタカードまたはサポートカードのガチャ抽選を要求するガチャ抽選要求操作を入力可能である。ガチャ画面では、実行するガチャ抽選の種別、および、ガチャ抽選の実行回数が設定可能である。ガチャ抽選要求操作が入力されると、カード抽選処理部 701a が要求情報を

10

20

30

40

50

サーバ1000に送信する（P2）。要求情報は、ガチャ抽選の種別、すなわち、キャラクタカードおよびサポートカードの種別、および、ガチャ抽選の実行回数を示す情報を含む。

【0492】

要求情報を受信すると、サーバ1000において、カード抽選処理部1101aが抽選処理を実行する（S2）。ここでは、カード抽選処理部1101aが、要求された実行回数分だけ、ガチャ抽選を実行する。そして、カード抽選処理部1101aは、プレイヤ情報記憶部1150において、当選したキャラクタカードまたはサポートカードの所持情報を記憶する。また、カード抽選処理部1101aは、ガチャ抽選の結果を示す結果情報をプレイヤ端末1に受信させる。

10

【0493】

結果情報を受信すると、プレイヤ端末1において、カード抽選処理部701aが結果情報受信処理を実行する（P3）。ここでは、カード抽選処理部701aが、受信した結果情報に基づいてガチャ抽選の結果を報知する。また、カード抽選処理部701aは、プレイヤ情報記憶部750において、当選したキャラクタカードまたはサポートカードの所持情報を記憶する。

【0494】

プレイヤ端末1において、育成ゲームを開始するための育成ゲーム開始操作が入力されると、育成ゲーム実行部702aは、準備段階処理（P6）を実行する。また、この準備段階処理中には、プレイヤ端末1とサーバ1000との間で通信処理が行われる。サーバ1000では、プレイヤ端末1から受信する情報に基づいて、育成ゲーム実行部1102aが準備段階処理（S6）を実行する。

20

【0495】

図52は、プレイヤ端末1における準備段階処理（P6）を説明する第1のフローチャートである。図53は、プレイヤ端末1における準備段階処理（P6）を説明する第2のフローチャートである。図54は、プレイヤ端末1における最終確認画面表示処理（P50）を説明するフローチャートである。図55は、プレイヤ端末1における準備段階処理（P6）を説明する第3のフローチャートである。プレイヤ端末1の育成ゲーム実行部702aは、ディスプレイ26において、育成対象キャラクタ選択画面150の表示中であるか判定する（P6-1）。

30

【0496】

育成対象キャラクタ選択画面150の表示中であり（P6-1のYES）、画面の表示を切り替える表示切替操作が入力された場合（P6-2のYES）、育成ゲーム実行部702aは、ディスプレイ26の表示画面を切り替える（P6-13）。

【0497】

また、育成対象キャラクタ選択画面150において、選択操作（キャラクタアイコン151のタップ）が入力されると（P6-3のYES）、育成ゲーム実行部702aは、選択操作入力が行われたキャラクタアイコン151に対応するキャラクタカードを仮記憶し（P6-4）、表示画面を切り替える（P6-13）。

【0498】

また、育成対象キャラクタ選択画面150において、決定操作（ネクスト操作部154のタップ）が入力されると（P6-5のYES）、育成ゲーム実行部702aは、上記P6-4において仮記憶されたキャラクタカードに紐付くキャラクタを育成対象キャラクタとして仮登録する（P6-6）。また、育成ゲーム実行部702aは、フレンドの代表キャラクタ等、所定の抽出条件にしたがって抽出された代表キャラクタに関する情報をサーバ1000から取得し（P6-7）、表示画面を切り替える（P6-13）。

40

【0499】

また、継承キャラクタ選択画面170または育成キャラクター覧画面180の表示中であり（P6-8のYES）、画面の表示を切り替える表示切替操作が入力された場合（P6-9のYES）、育成ゲーム実行部702aは、ディスプレイ26の表示画面を切り替

50

える（P 6 - 13）。

【0500】

ここで、継承キャラクタ選択画面170または育成キャラクター覧画面180における表示切替操作としては、図7Bに示すスキル表示ボタン172のタップ、育成キャラクタアイコン182の長押し、図12に示すキャラクタ詳細ダイアログ185Aにおける二つ名変更ボタン186a、メモ入力ボタン186b、スキル表示タブ188a、継承情報表示タブ188b、育成情報表示タブ188c、クローズ操作部188dのタップが含まれる。

【0501】

例えば、育成キャラクター覧画面180においてスキル表示ボタン172がタップされた場合、育成ゲーム実行部702aは、P 6 - 13において、スキル表示ダイアログ185Bを表示する。また、育成キャラクター覧画面180において育成キャラクタアイコン182が長押しされた場合、育成ゲーム実行部702aは、P 6 - 13において、キャラクタ詳細ダイアログ185Aを表示する。なお、キャラクタ詳細ダイアログ185Aにおいて、二つ名変更ボタン186a、メモ入力ボタン186b、スキル表示タブ188a、継承情報表示タブ188b、育成情報表示タブ188c、クローズ操作部188dがタップされた場合には、各操作部に対応する画面の切り替えがなされる。

10

【0502】

また、育成キャラクター覧画面180において、選択操作（育成キャラクタアイコン182のタップ）が入力されると（P 6 - 10のYES）、育成ゲーム実行部702aは、選択操作入力が行われた育成キャラクタアイコン182に対応するキャラクタを継承キャラクタとして仮記憶し（P 6 - 11）、表示画面を切り替える（P 6 - 13）。

20

【0503】

また、継承キャラクタ選択画面170において、決定操作（ネクスト操作部154のタップ）が入力されると（P 6 - 12のYES）、育成ゲーム実行部702aは、サポートカード編成画面190をディスプレイ26に表示する（P 6 - 13）。

【0504】

また、サポートカード選択画面200の表示中であり（図53のP 6 - 14のYES）、サポートカード選択画面200において、選択操作（サポートカードのカードアイコン201のタップ）が入力されると（P 6 - 15のYES）、育成ゲーム実行部702aは、選択操作が行われたカードアイコン201に対応するサポートカードを仮記憶し（P 6 - 16）、表示画面を切り替える（P 6 - 17）。

30

【0505】

また、サポートカード編成画面190の表示中であり（P 6 - 18のYES）、画面の表示を切り替える表示切替操作が入力された場合（P 6 - 19のYES）、育成ゲーム実行部702aは、ディスプレイ26の表示画面を切り替える（P 6 - 20）。

【0506】

また、サポートカード編成画面190においてスタート操作（スタート操作部193のタップ）が入力されると（P 6 - 21のYES）、育成ゲーム実行部702aは、図54に示す最終確認画面表示処理（P 50）を実行する。

40

【0507】

図54に示すように、最終確認画面表示処理では、育成ゲーム実行部702aは、現在、期間限定イベントの開催中であるかを判定する（P 50 - 1）。期間限定イベントの開催中であれば、育成ゲーム実行部702aは、キャラクタカード抽出処理を実行する（P 50 - 2）。ここでは、育成ゲーム実行部702aは、特効情報が設定されたキャラクタIDを特定し、特定したキャラクタID、および、所持情報の双方が紐付けられた全てのキャラクタカードを抽出する。

【0508】

次に、育成ゲーム実行部702aは、サポートカード抽出処理を実行する（P 50 - 3）。ここでは、育成ゲーム実行部702aは、特効情報が設定されたキャラクタID、お

50

および、所持情報の双方が紐付けられた、グループサポートカードを除く全てのサポートカードを抽出する。

【 0 5 0 9 】

次に、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、グループサポートカード抽出処理を実行する (P 5 0 - 4)。ここでは、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、特効情報が設定されたキャラクタ ID、および、所持情報の双方が紐付けられた、全てのグループサポートカードを抽出する。

【 0 5 1 0 】

次に、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、レンタルサポートカード抽出処理を実行する (P 5 0 - 5)。ここでは、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、デッキに編成されたレンタルサポートカードが、グループサポートカードではなく、かつ、特効情報が設定されたキャラクタ ID に紐付く場合、当該レンタルサポートカードを抽出する。

10

【 0 5 1 1 】

次に、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、レンタルグループサポートカード抽出処理を実行する (P 5 0 - 6)。ここでは、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、デッキに編成されたレンタルサポートカードが、グループサポートカードであり、かつ、特効情報が設定されたキャラクタ ID に紐付く場合、当該グループサポートカードを抽出する。

【 0 5 1 2 】

次に、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、P 5 0 - 2 から P 5 0 - 6 で抽出されたカードの中から、特効キャラクタごとに適用対象カードを決定する (P 5 0 - 7)。ここでは、例えば、抽出されたカードごとに、効果値が特定される。そして、特効キャラクタごとにカードが分類され、同一の特効キャラクタに対応するカードの中で、特定された効果値が最大のカードが、適用対象カードに決定される。

20

【 0 5 1 3 】

次に、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、P 5 0 - 7 で決定された適用対象カードの効果値を合算して、適用効果値を算出する (P 5 0 - 8)。次に、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、抽出された全てのカード、全てのカードそれぞれの効果値、適用対象カード、適用効果値を示す各情報を、ボーナス情報として保存する (P 5 0 - 9)。

【 0 5 1 4 】

次に、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、プレイヤが選択したキャラクタカードおよびサポートカードの情報を取得し (P 5 0 - 1 0)、最終確認画面 2 0 5 、 2 0 5 B を生成して表示する (P 5 0 - 1 1)。

30

【 0 5 1 5 】

以上の最終確認画面表示処理により、期間限定イベントの開催中は最終確認画面 2 0 5 B が表示され、期間限定イベントの開催中でなければ、最終確認画面 2 0 5 が表示されることとなる。

【 0 5 1 6 】

また、図 5 5 に示すように、プリセット選択画面 2 0 5 A の表示中であれば (P 6 - 2 2 の Y E S)、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、プリセットに対応する予約選択情報を仮記憶する等、プリセット関連処理を実行する (P 6 - 2 3)。

40

【 0 5 1 7 】

また、最終確認画面 2 0 5 、 2 0 5 B の表示中であり (P 6 - 2 4 の Y E S)、画面の表示を切り替える表示切替操作が入力された場合 (P 6 - 2 5 の Y E S)、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、ディスプレイ 2 6 の表示画面を切り替える (P 6 - 2 6)。

【 0 5 1 8 】

また、最終確認画面 2 0 5 、 2 0 5 B において、決定操作 (スタート操作部 2 0 5 b のタップ) が入力されると (P 6 - 2 7 の Y E S)、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、ゲームポイントが所定値 (例えは 3 0) 以上であるかを判定する (P 6 - 2 8)。ゲームポイントが所定値以上であれば (P 6 - 2 8 の Y E S)、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、確認情報をサーバ 1 0 0 0 に送信する (P 6 - 2 9)。

50

【 0 5 1 9 】

なお、確認情報には、仮登録されている育成対象キャラクタ、継承キャラクタおよびサポートカードを識別する情報が含まれる。確認情報を受信すると、サーバ1000では、準備段階処理(S6)において、仮登録されている育成対象キャラクタ、継承キャラクタおよびサポートカードを使用した育成メインゲームの実行許可の判定が行われる。

【 0 5 2 0 】

プレイヤ端末1において、確認情報を送信(P6-29)した後、許可情報を受信すると(P6-30のYES)、育成ゲーム実行部702aは、上記P6-6で仮登録された育成対象キャラクタを登録する(P6-31)。また、育成ゲーム実行部702aは、上記P6-11で継承キャラクタとして仮記憶された育成キャラクタ、および、上記P6-16で仮記憶されたサポートカードをデッキに登録する。そして、育成ゲーム実行部702aは、ディスプレイ26にゲーム画面210を表示し、育成メインゲームを開始するための育成メインゲーム開始処理を実行する(P6-32)。

10

【 0 5 2 1 】

図51に戻り、準備段階処理(P6)が終了すると、育成ゲーム実行部702aは、育成段階処理(P7)を実行する。また、この育成段階処理中には、プレイヤ端末1とサーバ1000との間で通信処理が行われる。サーバ1000では、プレイヤ端末1から受信する情報に基づいて、育成ゲーム実行部1102aが育成段階処理(S7)を実行する。

【 0 5 2 2 】

図56は、サーバ1000における育成段階処理を説明するフローチャートである。サーバ1000の育成ゲーム実行部1102aは、ターン開始時であれば(S7-1のYES)、ターン開始時処理(S10)を実行し、ターン開始時でなければ、ターン中処理(S20)を実行する。

20

【 0 5 2 3 】

図57は、サーバ1000におけるターン開始時処理を説明するフローチャートである。図57に示すように、まず、サーバ1000の育成ゲーム実行部1102aは、シナリオイベント発生有無決定処理を実行する(S10-1)。ここでは、現在のターン数で必ず発生させるシナリオイベントがある場合に、育成ゲーム実行部1102aは、当該シナリオイベントの発生を決定する。また、現在のターン数で必ず発生させるシナリオイベントがない場合、育成ゲーム実行部1102aは、抽選によりシナリオイベントの発生有無および発生させるシナリオイベントの種別を決定する。

30

【 0 5 2 4 】

また、育成ゲーム実行部1102aは、キャラクタ所持イベント発生有無決定処理を実行する(S10-2)。ここでは、現在のターン数で必ず発生させるキャラクタ所持イベントがある場合に、育成ゲーム実行部1102aは、当該キャラクタ所持イベントの発生を決定する。また、現在のターン数で必ず発生させるキャラクタ所持イベントがない場合、育成ゲーム実行部1102aは、抽選によりキャラクタ所持イベントの発生有無および発生させるキャラクタ所持イベントの種別を決定する。

【 0 5 2 5 】

また、育成ゲーム実行部1102aは、第1イベント発生有無決定処理を実行する(S10-3)。ここでは、ターン開始時において、ランダムに乱数が取得され、取得された乱数と第1イベントテーブルとに基づいて、第1イベントの発生有無および発生させる第1イベントの種別が決定される。

40

【 0 5 2 6 】

また、育成ゲーム実行部1102aは、サポートキャラクタ抽選処理を実行する(S10-4)。具体的に、育成ゲーム実行部1102aは、図32に示す配置有無テーブルを参照して、サポートキャラクタを各トレーニング項目に配置するか否か抽選により決定する。この処理は、サポートキャラクタごとに実行される。

【 0 5 2 7 】

なお、サポートキャラクタのトレーニング項目への配置が決定された場合、育成ゲーム

50

実行部 1102a は、トレーニング項目ごとに設けられたトレーニング ID に対し、サポートカード ID (あるいはサポートキャラクタ ID) を紐付ける。

【0528】

また、育成ゲーム実行部 1102a は、友情トレーニングの発生有無を判定する友情トレーニング判定処理 (S11) を実行する。

【0529】

図 58 は、サーバ 1000 における友情トレーニング判定処理を説明するフローチャートである。育成ゲーム実行部 1102a は、S10-4においていずれかのトレーニング項目に紐付けられたサポートカードを抽出する (S11-1)。サポートカードが抽出された場合 (S11-2 の YES)、育成ゲーム実行部 1102a は、友情トレーニングの発生有無を判定する処理対象のサポートカードをセットする (S11-3)。10

【0530】

S11-3 でセットされたサポートカードが、グループサポートカードではない場合 (S11-4 の NO)、育成ゲーム実行部 1102a は、当該サポートカードの配置されたトレーニング項目が、当該サポートカードに設定された得意トレーニングであるかを判定する (S11-5)。サポートカードが得意トレーニングに配置され (S11-5 の YES)、かつ、当該サポートカードの絆ゲージの値が所定値 (80) 以上である場合 (S11-6 の YES)、育成ゲーム実行部 1102a は、友情トレーニングの発生を示す友情トレーニング発生情報を、当該サポートカードに紐付けてセットする (S11-7)。20

【0531】

一方、S11-3 でセットされたサポートカードが、グループサポートカードであり (S11-4 の YES)、かつ、特典ゾーン中である場合 (S11-9 の YES) にも、育成ゲーム実行部 1102a は、友情トレーニング発生情報をセットする (S11-7)。なお、トレーニング項目に配置されたサポートカードのうち、S11-3 から S11-9 の処理を実行していない未処理のサポートカードがある場合、育成ゲーム実行部 1102a は、S11-3 から処理を繰り返す。

【0532】

図 57 に戻り、育成ゲーム実行部 1102a は、能力パラメータ決定処理を実行する (S10-5)。能力パラメータ決定処理では、各トレーニングが実行され、成功した場合の育成対象キャラクタの能力パラメータの上昇値を決定する。具体的に、育成ゲーム実行部 1102a は、図 33A に示すトレーニングレベルテーブル、図 33B、図 33C に示す上昇固定値テーブル、図 33D に示すボーナス加算率テーブルを参照して、すべてのトレーニング項目に対してトレーニングが成功した場合における育成対象キャラクタの能力パラメータの上昇値を決定する。これにより、友情トレーニングが発生する場合、能力パラメータの上昇値が大きくなる。30

【0533】

また、ここでは、育成ゲーム実行部 1102a は、各トレーニング項目が実行された場合の体力減少量あるいは体力回復量を不図示の体力テーブルを参照して決定する。また、育成ゲーム実行部 1102a は、育成対象キャラクタの体力に基づいて、各トレーニング項目に対するトレーニングの失敗率を算出する。

【0534】

また、育成ゲーム実行部 1102a は、第 2 イベント発生有無決定処理を実行する (S10-6)。具体的に、育成ゲーム実行部 1102a は、図 34 に示す第 2 イベントテーブルを参照して第 2 イベントの発生有無を抽選により決定する。具体的に、サポートキャラクタ抽選処理 (S10-4) 後、ランダムに乱数が取得され、取得された乱数と第 2 イベントテーブルとに基づいて、第 2 イベントの発生有無が決定される。ここでは、例えば、育成ゲーム実行部 1102a は、S10-4 においてトレーニング項目に紐付けられたサポートカードに予め設定されているサポートイベントの付与を可能とするか否かを決定するための付与抽選を行う。

【0535】

10

20

30

40

50

なお、ここでは、第2イベントの発生が決定された場合、第2イベントの発生による効用が決定される。この際、特典ゾーン中であれば、育成ゲーム実行部1102aは、第2イベントの発生による効用が大きくなるように演算処理を行う。

【0536】

また、育成ゲーム実行部1102aは、ライバルキャラクタ抽選処理を実行する(S10-7)。具体的に、育成ゲーム実行部1102aは、図38に示す配置有無テーブルを参照して、ライバルキャラクタを各適合レースに配置するか否かを抽選により決定する。

【0537】

また、育成ゲーム実行部1102aは、継承イベント発生有無決定処理を実行する(S10-8)。具体的には、育成ゲーム実行部1102aは、現在のターンが因子発動ターンである場合、継承イベントの発生を決定する。この場合、育成ゲーム実行部1102aは、S6の準備段階処理でデッキに登録された継承キャラクタの因子情報に基づいて、各因子の発動有無を決定する。これにより、発動が決定された因子に応じて、能力パラメータあるいは適性パラメータが上昇したり、スキルのヒントが獲得されたりする。

【0538】

育成ゲーム実行部1102aは、S10-1～S10-8における抽選結果に関する情報を含むゲーム情報を、ゲーム情報記憶部1151に保存する(S10-9)。また、育成ゲーム実行部1102aは、ゲーム情報記憶部1151に保存したゲーム情報を、プレイヤ端末1に受信させる処理を行う。

【0539】

図59は、プレイヤ端末1における育成段階処理を説明するフローチャートである。プレイヤ端末1の育成ゲーム実行部702aは、ターン開始時であれば(P7-1のYES)、ターン開始時処理(P10)を実行し、ターン開始時でなければ、ターン中処理(P20)を実行する。

【0540】

図60は、プレイヤ端末1におけるターン開始時処理を説明するフローチャートである。プレイヤ端末1におけるターン開始時処理(P10)は、サーバ1000においてターン開始時処理(S10)が実行され、S10-9においてゲーム情報がセットされることで開始される。

【0541】

育成ゲーム実行部702aは、サーバ1000のゲーム情報記憶部1151にアクセスし、サーバ1000からS10-9で保存されたゲーム情報を受信する(P10-1)。また、育成ゲーム実行部702aは、受信したゲーム情報に基づいて、ゲーム画面210等を表示する表示処理を行う(P10-2)。そして、育成ゲーム実行部702aは、育成段階処理に係る各種コマンドをプレイヤに選択可能とするためのコマンド設定処理を実行する(P10-3)。

【0542】

具体的に、育成ゲーム実行部702aは、例えば、図19に示す選択項目テーブルを参照し、現在のターン数に基づいて、レスト操作部215、トレーニング操作部216、スキル操作部217、お出かけ操作部218、個人レース操作部219、ショップ操作部220、アイテム操作部221等の各種コマンドをプレイヤに選択可能とする処理を行う。また、育成ゲーム実行部702aは、個人レース操作部219に紐付く複数の個人レース選択操作部266をプレイヤに選択可能とする処理を行う。

【0543】

また、コマンド処理において、育成ゲーム実行部702aは、各トレーニング項目に対応するスピード操作部241、スタミナ操作部242、パワー操作部243、根性操作部244および賢さ操作部245と、スキル表示欄251と、育成対象キャラクタ選択操作部256aと、サポートキャラクタ選択操作部256bと、第1所属キャラクタ選択操作部258aから第5所属キャラクタ選択操作部258eと、全所属キャラクタ選択操作部259と、リザルト操作部273と、レース操作部274と、アイテム交換操作部303

10

20

30

40

50

等のコマンドをプレイヤに選択可能とする。育成ゲーム実行部 702a は、これら複数のコマンドから一のコマンドをプレイヤに選択可能とする処理を行う。

【0544】

なお、育成ゲーム実行部 702a は、後述する解放情報をサーバ 1000 から受信することによって、以後、全所属キャラクタ選択操作部 259 を選択可能とする。

【0545】

その後、育成ゲーム実行部 702a は、いずれかのコマンドがプレイヤにより選択されると (P10-4 の YES)、プレイヤが選択したコマンドを識別可能なコマンド情報をサーバ 1000 に送信する (P10-5)。

【0546】

図 61 は、サーバ 1000 におけるターン中処理を説明するフローチャートである。サーバ 1000 におけるターン中処理 (S20) は、プレイヤ端末 1 においてターン開始時処理 (P10) が実行され、P10-5 においてコマンド情報が送信されることで開始される。

【0547】

育成ゲーム実行部 1102a は、送信されたコマンド情報を解析する (S20-1)。アイテムあるいはスキルの獲得に関連するコマンド情報を受信した場合 (S20-2 の YES)、育成ゲーム実行部 1102a は、アイテムあるいはスキルを獲得させるアイテム、スキル関連処理を実行する (S20-3)。

【0548】

また、レースの実行に関連するコマンド情報を受信した場合 (S20-4 の YES)、育成ゲーム実行部 1102a は、シミュレーション実行処理によりレース結果を導出し (S20-5)、報酬を決定する (S20-6)。

【0549】

また、いずれかのトレーニング項目を示すコマンド情報を受信した場合 (S20-7 の YES)、育成ゲーム実行部 1102a は、トレーニング実行処理を行う (S20-8)。ここでは、トレーニングの成功または失敗が決定され、能力パラメータが更新される。また、ここでは、実行されたトレーニングにサポートカードが紐付けられている場合、絆ゲージの値を更新する処理が実行される。

【0550】

また、レスト操作部 215 を示すコマンド情報を受信した場合 (S20-9 の YES)、育成ゲーム実行部 1102a は、レスト実行処理を行う (S20-10)。ここでは、体力の上昇値が決定され、決定された上昇値が、現在の体力に加算される。

【0551】

また、お出かけが選択された場合、すなわち、育成対象キャラクタ選択操作部 256a、サポートキャラクタ選択操作部 256b、第 1 所属キャラクタ選択操作部 258a から第 5 所属キャラクタ選択操作部 258e、全所属キャラクタ選択操作部 259 を示すコマンド情報を受信した場合 (S20-11 の YES)、育成ゲーム実行部 1102a は、お出かけ選択処理を行う (S21)。

【0552】

図 62 は、サーバ 1000 におけるお出かけ選択処理を説明するフローチャートである。育成対象キャラクタ選択操作部 256a を示すコマンド情報を受信した場合 (S21-1 の YES)、育成ゲーム実行部 1102a は、一人お出かけイベント決定処理 (S21-2) を実行する。ここでは、一人お出かけイベントの実行パターンが決定される。また、決定された実行パターンに基づいて、パラメータが更新される。

【0553】

サポートキャラクタ選択操作部 256b を示すコマンド情報を受信した場合 (S21-3 の YES)、育成ゲーム実行部 1102a は、友人お出かけイベント決定処理 (S21-4) を実行する。ここでは、友人お出かけイベントの実行パターンが決定される。また、決定された実行パターンに基づいて、パラメータが更新される。

10

20

30

40

50

【 0 5 5 4 】

また、いずれかの所属キャラクタが選択された場合（S 2 1 - 5 の Y E S）、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、所属キャラクタ別イベントの実行パターンを決定する（S 2 1 - 6）。ここでは、決定された実行パターンに基づいて、パラメータが更新される。

【 0 5 5 5 】

また、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、プレイヤが選択した所属キャラクタの選択済み情報を記憶する（S 2 1 - 7）。そして、グループサポートカードに紐付けられた全ての所属キャラクタについて、選択済み情報が記憶された場合（S 2 1 - 8 の Y E S）、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、全所属キャラクタ選択操作部 2 5 9 の解放を示す解放情報を記憶、セットする（S 2 1 - 9）。

10

【 0 5 5 6 】

また、全所属キャラクタ選択操作部 2 5 9 が選択され（S 2 1 - 5 の N O）、解放情報が記憶されている場合（S 2 1 - 1 0 の Y E S）、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、全所属キャラクタイベントの実行パターンを決定する（S 2 1 - 1 1）。ここでは、決定された実行パターンに基づいて、パラメータが更新される。また、ここでは、全所属キャラクタイベントがはじめて決定された場合、所持スキルを付与する処理が実行される。

【 0 5 5 7 】

図 6 1 に戻り、ターンの終了を伴う処理が実行された場合、お出かけ関連イベント実行処理（S 2 2 ）が実行される。

【 0 5 5 8 】

図 6 3 は、サーバ 1 0 0 0 におけるお出かけ関連イベント実行処理を説明するフローチャートである。お出かけ可能状態ではなく（S 2 2 - 1 の N O）、初期イベントが発生済みである場合（S 2 2 - 2 の Y E S）、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、連続イベント抽選を行う（S 2 2 - 3）。ここでは、グループサポートカードの現在の絆ゲージの値に基づいて、連続イベント抽選の当選確率が設定される。連続イベント抽選に当選すると（S 2 2 - 4 の Y E S）、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、連続イベントを実行するための連続イベント実行処理を行う（S 2 2 - 5）。

20

【 0 5 5 9 】

これにより、プレイヤ端末 1 において連続イベントが実行される。なお、具体的な処理については説明を省略するが、連続イベントが実行された際に、プレイヤ端末 1 において所定の選択肢がプレイヤによって選択されると、プレイヤ端末 1 およびサーバ 1 0 0 0 において、お出かけ可能状態に設定される。

30

【 0 5 6 0 】

また、初期イベントが発生済みでない場合（S 2 2 - 2 の N O）、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、S 2 0 - 8 においてグループサポートカードの配置されたトレーニングが実行されたかを判定する（S 2 2 - 6）。グループサポートカードの配置されたトレーニングが実行された場合（S 2 2 - 6 の Y E S）、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、初期イベントを実行するための初期イベント実行処理を行う（S 2 2 - 9）。これにより、プレイヤ端末 1 において初期イベントが実行される。

40

【 0 5 6 1 】

また、グループサポートカードの配置されたトレーニングが実行されていない場合（S 2 2 - 6 の N O）、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、初期イベント抽選を実行する（S 2 2 - 7）。初期イベント抽選で当選した場合（S 2 2 - 8 の Y E S）、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、初期イベント実行処理を行う（S 2 2 - 9）。

【 0 5 6 2 】

図 6 1 に戻り、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、お出かけ関連イベント実行処理に続いて、特典ゾーン設定処理（S 2 3 ）を行う。

【 0 5 6 3 】

図 6 4 は、サーバ 1 0 0 0 における特典ゾーン設定処理を説明するフローチャートである。特典ゾーン中ではなく（S 2 3 - 1 の Y E S）、お出かけ可能状態であり（S 2 3 -

50

2 の Y E S) 、グループサポートカードの配置されたトレーニングが実行された場合 (S 2 3 - 3 の Y E S) 、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、特典ゾーン発生抽選を実行する (S 2 3 - 4) 。特典ゾーン発生抽選で当選すると (S 2 3 - 5 の Y E S) 、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、特典ゾーン中であることを示す特典ゾーン中情報をセットする (S 2 3 - 6) 。なお、特典ゾーン中情報は、育成ゲーム、育成対象キャラクタ、グループサポートカードのいずれに紐付けられてもよい。

【 0 5 6 4 】

また、特典ゾーン中であれば (S 2 3 - 1 の N O) 、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、特典ゾーンの継続ターン数を更新する (S 2 3 - 7) 。ここでは、特典ゾーンの開始後、何ターン目の処理が実行されたかが計数される。特典ゾーンの継続ターン数が 5 ターンであれば (S 2 3 - 8 の Y E S) 、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、特典ゾーン中情報をクリアする (S 2 3 - 1 1) 。これにより、特典ゾーンが解除、すなわち、終了となる。

10

【 0 5 6 5 】

また、特典ゾーンの継続ターン数が 5 ターンでなければ (S 2 3 - 8 の N O) 、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、解除抽選を実行する (S 2 3 - 9) 。解除抽選で当選した場合 (S 2 3 - 1 0 の Y E S) 、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、特典ゾーン中情報をクリアする (S 2 3 - 1 1) 。

【 0 5 6 6 】

図 6 1 に戻り、育成ゲーム実行部 1 1 0 2 a は、ターン中処理 (S 2 0) における上記各処理の結果に基づいてゲーム情報を保存し、プレイヤ端末 1 に受信させる。

20

【 0 5 6 7 】

図 6 5 は、プレイヤ端末 1 におけるターン中処理を説明するフローチャートである。プレイヤ端末 1 におけるターン中処理 (P 2 0) は、サーバ 1 0 0 0 においてターン中処理 (S 2 0) が実行され、 S 2 0 - 1 2 においてゲーム情報がセットされることで開始される。育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、受信したゲーム情報を解析する (P 2 0 - 1) 。そして、グループサポートカードの配置されたトレーニングが実行され (P 2 0 - 2 の Y E S) 、かつ、特典ゾーン中であれば (P 2 0 - 3 の Y E S) 、特典演出の実行パターンを抽選により決定する (P 2 0 - 4) 。

【 0 5 6 8 】

そして、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、 P 2 0 - 4 で決定された実行パターンで特典演出を実行する (P 2 0 - 5) 。また、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、 P 2 0 - 1 の解析結果に基づいて、イベント画面等、各種のゲーム画面を表示する (P 2 0 - 6) 。ここでは、育成ゲーム実行部 7 0 2 a は、サーバ 1 0 0 0 において各種イベントの実行パターンが決定された場合に、決定された実行パターンのイベントを発生させる。

30

【 0 5 6 9 】

以上の処理により、上記した育成ゲームが実現される。なお、上記したプレイヤ端末 1 およびサーバ 1 0 0 0 における処理は一例に過ぎない。また、上記した各処理は、プレイヤ端末 1 のみで実行されてもよいし、サーバ 1 0 0 0 のみで実行されてもよい。

【 0 5 7 0 】

図 5 1 に戻り、育成ゲームが終了すると、サーバ 1 0 0 0 において、育成ゲーム終了処理部 1 1 0 3 a が育成ゲーム終了処理 (S 8) を実行する。

40

【 0 5 7 1 】

図 6 6 は、サーバ 1 0 0 0 における育成ゲーム終了処理 (S 8) を説明するフローチャートである。育成ゲーム終了処理部 1 1 0 3 a は、プレイヤ端末 1 から受信した終了情報に基づいて、評価点を導出する (S 8 - 1) 。また、育成ゲーム終了処理部 1 1 0 3 a は、導出した評価点に基づいて、育成ランクを導出する (S 8 - 2) 。

【 0 5 7 2 】

また、育成ゲーム終了処理部 1 1 0 3 a は、育成キャラクタが獲得する因子を決定する (S 8 - 3) 。また、育成ゲーム終了処理部 1 1 0 3 a は、獲得したファン数に基づいてクラスを決定する (S 8 - 4) 。また、育成ゲーム終了処理部 1 1 0 3 a は、育成ランク

50

あるいはファン数等、所定のパラメータに基づいて、親愛度ポイントを決定する（S 8 - 5）。なお、詳しい説明は省略するが、親愛度ポイントは、育成キャラクタではなく、育成キャラクタの元となるキャラクタに付与されるポイントである。

【0573】

上記したストーリ画面は、キャラクタごとに複数設けられており、一部のストーリ画面には解放条件が設定されている。ストーリ画面の中には、解放条件として親愛度ポイントが設定されているものがあり、親愛度ポイントが閾値以上となることで、プレイヤは、当該ストーリ画面を視聴可能となる。

【0574】

また、育成ゲーム終了処理部1103aは、二つ名を決定する（S 8 - 6）。ここでは、育成メインゲームで達成された条件を確認し、育成キャラクタが獲得する二つ名が決定される。また、育成ゲーム終了処理部1103aは、評価点、育成ランク、能力パラメータ、適性パラメータ、獲得済みスキル、継承情報、因子情報、クラス、二つ名等を含む育成キャラクタ情報を、当該プレイヤのプレイヤIDに紐付けて、ゲーム情報記憶部1151に記憶する（S 8 - 7）。また、育成ゲーム終了処理部1103aは、育成結果情報をセットし、プレイヤ端末1に受信させる（S 8 - 8）。

10

【0575】

また、育成ゲーム終了処理部1103aは、育成キャラクタ情報に基づいて報酬を決定する（S 8 - 9）。そして、期間限定イベントの開催中であれば（S 8 - 10のYES）、育成ゲーム終了処理部1103aは、育成キャラクタ情報に基づいて、イベントポイントの基礎ポイントを算出する（S 8 - 11）。また、育成ゲーム終了処理部1103aは、適用対象カードを抽出し（S 8 - 12）、適用効果値を決定する（S 8 - 13）。

20

【0576】

なお、適用対象カードの抽出および適用効果値の決定は、P50-2からP50-8と同様に行われてもよい。あるいは、プレイヤ端末1から、P50-9で保存されたボーナス情報を受信して適用効果値が決定されてもよい。そして、育成ゲーム終了処理部1103aは、適用効果値に基づいてボーナスポイントを算出する（S 8 - 14）。その後、育成ゲーム終了処理部1103aは、S 8 - 9で決定した報酬、S 8 - 11で算出した基礎ポイント、S 8 - 14で算出したボーナスポイントを含む報酬情報を記憶し、プレイヤ端末1に受信させるようにセットする（S 8 - 15）。

30

【0577】

図51に戻り、育成結果情報および報酬情報を受信すると、育成完了時処理部703aは、育成ゲーム終了処理（P8）を実行する。ここでは、育成完了時処理部703aは、受信した育成結果情報および報酬情報をゲーム情報記憶部751に記憶する。また、育成完了時処理部703aは、育成結果情報および報酬情報に基づいて、育成完了画面340をディスプレイ26に表示する。

【0578】

以上、添付図面を参照しながら実施形態の一態様について説明したが、本発明は上記実施形態に限定されないことは言うまでもない。当業者であれば、特許請求の範囲に記載された範疇において、各種の変形例または修正例に想到し得ることは明らかであり、それについても当然に技術的範囲に属するものと了解される。

40

【0579】

上記実施形態で説明したゲーム性、プレイヤ端末1およびサーバ1000における処理は一例に過ぎない。いずれにしても、情報処理プログラムは、以下の処理を、コンピュータ（実施形態ではプレイヤ端末1およびサーバ1000のいずれか一方または双方）に遂行させるものであればよい。

【0580】

（コンピュータに遂行させる処理）

所定ゲーム（実施形態では、一例として育成ゲーム）で使用するためのゲーム媒体（実施形態では、一例としてキャラクタカードおよびサポートカード）のうち、予め設定され

50

た所持条件（実施形態では、運営者からの配布、ガチャ抽選での当選）が成立したゲーム媒体に対して、所持情報を紐付ける処理（実施形態では、一例として、S 2、P 3）。

いざれかのゲーム媒体が特定ゲーム媒体（実施形態では、一例として、特効情報が設定されたキャラクタIDが紐付けられるキャラクタカードおよびサポートカード）として設定される対象ゲーム（実施形態では、一例として育成ゲーム）を実行する処理（実施形態では、一例として、P 6、P 7、S 6、S 7）。

対象ゲームの特定ゲーム媒体に設定され、かつ、所持情報が紐付けられたゲーム媒体を対象ゲーム媒体として抽出する処理（実施形態では、一例として、P 50 - 2 から P 50 - 7、S 8 - 12）。

抽出された対象ゲーム媒体に基づいて適用効果値を決定する処理（実施形態では、一例として、P 50 - 8、S 8 - 13）。

対象ゲームが実行された場合、適用効果値に基づいてプレイヤに報酬を付与する処理（実施形態では、一例として、S 8 - 15）。

【0581】

なお、上記実施形態では、ゲーム媒体（キャラクタカードおよびサポートカード）を使用する所定ゲームと、特定ゲーム媒体が設定される対象ゲームとが同一である場合について説明した。ただし、所定ゲームと対象ゲームとは別のゲームでもよい。例えば、所定ゲームは、キャラクタカードおよびサポートカードを使用する上記の育成ゲームであり、対象ゲームは、育成キャラクタを使用するチーム競技ゲームでもよい。

【0582】

また、上記実施形態では、対象ゲームは、ゲーム媒体を使用する所定ゲームであり、ゲーム媒体は、第1種別（キャラクタカード）および第2種別（サポートカード）を含む複数の種別のいざれかに分類される。そして、対象ゲームを実行する処理（実施形態では、一例として、育成ゲームを実行する処理）は、対象ゲームで使用する第1種別および第2種別それぞれのゲーム媒体を、プレイヤの操作に基づいて設定する処理（実施形態では、一例として、準備段階処理）と、設定された第1種別および第2種別のゲーム媒体に基づいて、対象ゲームを進行する処理（実施形態では、一例として、育成段階処理）と、を含む。

【0583】

ただし、所定ゲームで使用するためのゲーム媒体の種別は、例えば、キャラクタカードおよびサポートカードのいざれか一方のみでもよい。また、所定ゲームの具体的な内容やゲームジャンルは上記実施形態に限定されない。所定ゲームは、プレイヤが所持しているゲーム媒体を使用してプレイするものであればよく、ゲーム媒体の種別数等も特に限定されるものではない。

【0584】

また、適用効果値を決定する処理では、対象ゲーム媒体（実施形態では、一例として、特効キャラクタ）ごとに効果値が特定され、特定された対象ゲーム媒体ごとの効果値に基づいて、適用効果値が決定される。ただし、適用効果値の決定方法はこれに限らない。

【0585】

例えば、上記実施形態では、1の特効キャラクタに対して、最大の効果値のみが適用されることとしたが、特効キャラクタに対応する全てのカードが適用対象カードに決定されてもよい。この場合、所持している全ての適用対象カードの効果値が合算され、適用効果値が算出されてもよい。また、例えば、1の特効キャラクタに対して、複数の適用対象カードが決定されてもよい。いざれにしても、1の特効キャラクタに対して適用対象カードを決定する条件、ならびに、1の特効キャラクタに対して決定される適用対象カードの数は特に限定されるものではない。

【0586】

さらには、特効キャラクタごとに適用対象カードが決定されるのではなく、特効キャラクタに対応する全てのカードが適用対象カードの候補として抽出され、抽出された候補の中で、効果値が大きい所定数のカードが適用対象カードとして決定されてもよい。また、

10

20

30

40

50

例えば、キャラクタカードとサポートカードとで、それぞれ別個に所定数の適用対象カードが決定されてもよい。

【0587】

また、上記実施形態では、適用対象カードに設定される効果値が合算されて最終的な適用効果値が算出されることとした。ただし、適用効果値の算出方法はこれに限らない。例えば、適用対象カードに設定される効果値を、所定の演算式に入力したうえで、適用効果値が算出されてもよい。

【0588】

また、上記実施形態では、1のグループサポートカードに紐付けられた複数の特効キャラクタに対して、同一の効果値が設定されることとした。ただし、1のグループサポートカードに紐付けられる複数の特効キャラクタに対して、異なる効果値が設定されてもよい。

10

【0589】

また、上記実施形態では、イベントポイントが報酬として付与される場合について説明した。ただし、報酬の内容は特に限定されるものではなく、例えば、ゲーム内で使用可能なアイテムが報酬として付与されてもよい。この場合、例えば、算出された適用効果値によって、アイテムの付与数、あるいは、付与されるアイテムの内容が異なってもよい。

【0590】

また、上記実施形態では、基礎ポイントに適用効果値を乗算してボーナスポイントを算出することとした。ただし、適用効果値は、例えばポイントであり、適用効果値そのものがポイントとしてプレイヤーに付与されてもよい。

20

【0591】

また、上記実施形態では、期間限定イベントの開催中に限りに、イベントボーナスが付与されることとしたが、上記の期間限定イベントは、特段の期間が設けられずともよい。例えば、イベントボーナスが付与されるシナリオが選択された場合に、常にイベントボーナスが付与されてもよい。

【0592】

また、上記実施形態では、期間限定イベントの開催中に育成ゲームがプレイされた場合、必ず、イベントポイントが付与されることとした。ただし、イベントポイント機能のオン、オフをプレイヤーが設定可能であってもよい。この場合、イベントポイント機能をオンした状態で育成ゲームを開始した場合に限り、イベントポイントが付与される。これにより、プレイヤーの自由度が確保される。

30

【0593】

なお、上記実施形態、および、各種変形例における処理を実行するための情報処理プログラムは、コンピュータが読み取り可能な非一時的記憶媒体に格納され、記憶媒体として提供されてもよい。さらには、この記憶媒体を含むゲーム端末装置が提供されてもよい。また、上記実施形態、および、各種変形例は、各機能およびフローチャートに示すステップを実現する情報処理方法としてもよい。

【符号の説明】

【0594】

1 プレイヤ端末

40

1000 サーバ

S 情報処理システム

50

【図面】

【図 1】

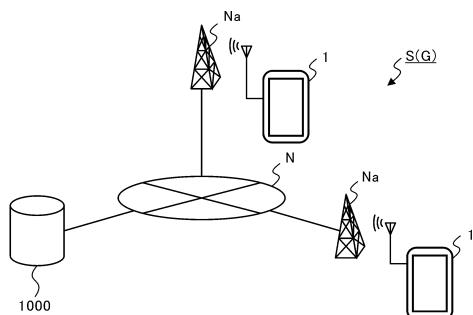


FIG.1

【図 2】

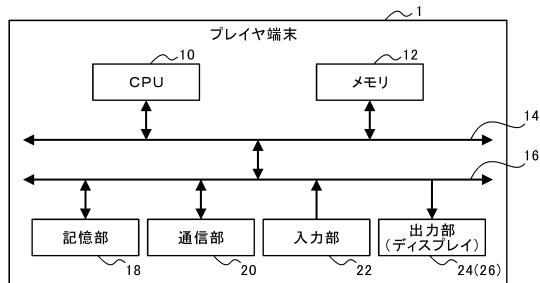


FIG.2A

10

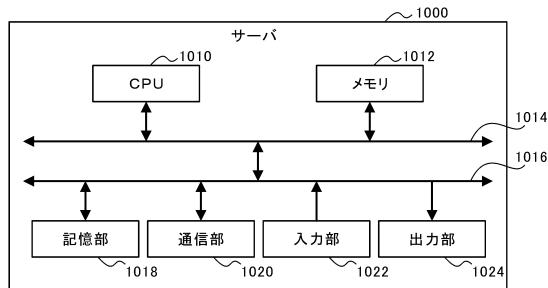


FIG.2B

20

【図 3】

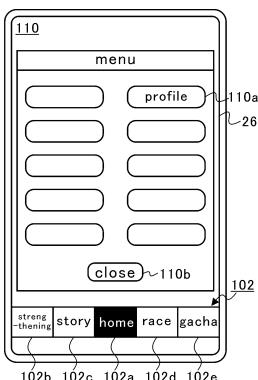
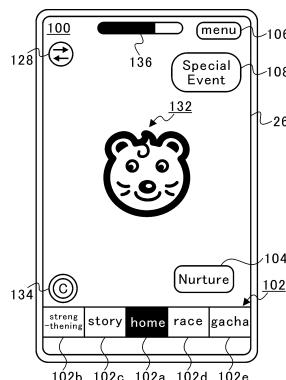


FIG.3A

FIG.3B

30

【図 4】

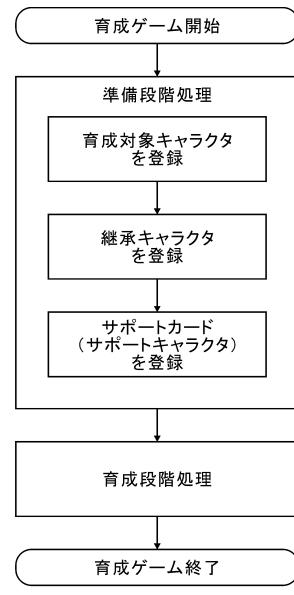


FIG.4

40

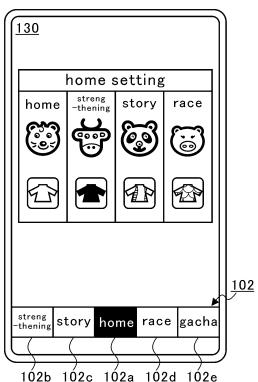
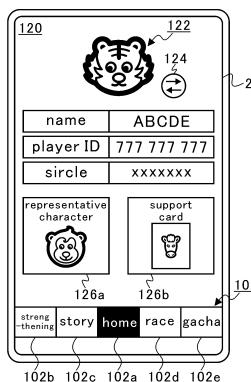


FIG.3C

FIG.3D

50

【図5】

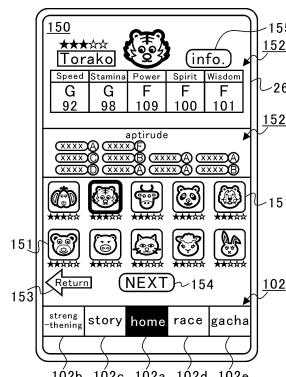


FIG.5A

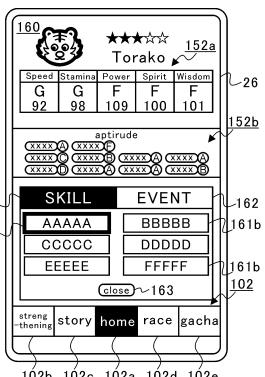


FIG.5B

【四六】

キャラクタ 種別	能力パラメータ(初期値)				
	スピード	スタミナ	パワー	根性	賢さ
A	90	65	60	102	105
B	102	63	73	105	100
C	92	98	109	100	101
D	80	72	110	112	64
E	100	102	62	65	71

FIG.6A

キャラクタ 種別	適性パラメータ(初期値)									
	場適性		距離適性				脚質適性			
	芝	ダート	短	マイル	中	長	逃げ	先行	差し	追込
A	A	G	G	E	A	A	C	A	A	D
B	A	F	A	B	D	E	A	A	F	F
C	A	F	E	A	A	C	C	A	A	A
D	E	A	A	B	C	C	G	F	A	D
E	A	B	B	A	A	B	B	A	A	E

FIG. 6B

キャラクタ 種別	獲得済みスキルおよび所持スキル											
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	
A						○	○	◎			○	
B			○	◎	○		○		○			
C	◎	○	○	○	○	○	○	○	○			
D					◎	○	○	○			○	
E						◎			○		○	

FIG.6C

FIG.6D

【 四 7 】

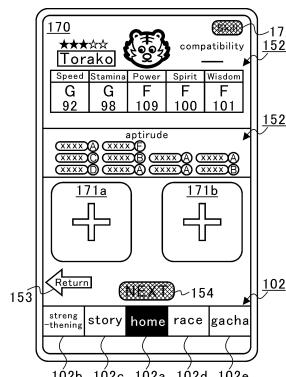


FIG. 7A

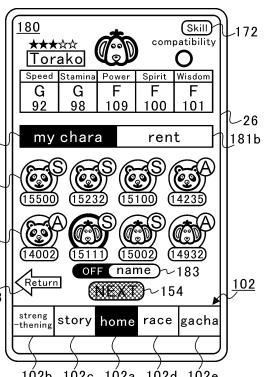


FIG. 7B

【 义 8 】

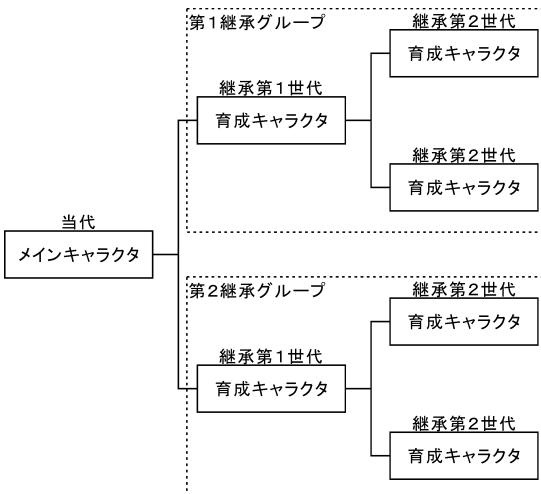


FIG.8

170		Compatibility O		
★★★★	Torakō			
Speed	Stamina	Power		
G	G	F		
92	98	172		
		100		
		101		
		+63		
		sprirude		
xxxxx	xxxxx	xxxxx		
xxxxx	xxxxx	xxxxx		
xxxxx	xxxxx	xxxxx		
xxxxx	xxxxx	xxxxx		
xxxxx	xxxxx	xxxxx		
171a	171b			
				
strong -thening	story	home race gacha		
153	~154			
102b	102c	102d	102e	102f

FIG 7G

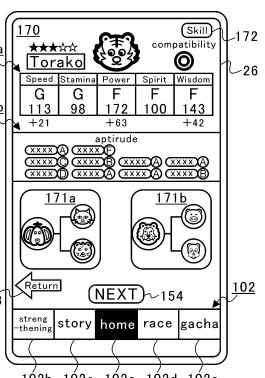


FIG 7D

10

20

30

40

【図 9】

因子種別	効果	発動タイミング
因子情報	基礎能力因子	能力パラメータ上昇
	適性因子	適性パラメータ上昇
	レース因子	能力パラメータ上昇
	キャラ因子	スキルヒント獲得
	スキル因子	スキルヒント獲得
		因子発動ターン

FIG.9

【図 10】

判定対象	当代	第1継承グループ			第2継承グループ		
		継承第1世代	継承A	継承B	継承第1世代	継承A	継承B
No.1	○	○					
No.2	○				○		
No.3		○			○		
No.4	○	○	○				
No.5	○	○		○			
No.6	○			○	○		
No.7	○			○		○	

FIG.10A

10

判定項目	内容	相性期待値
No.1	同学年	+2
No.2	同僚	+2
No.3	仲良し	+2
No.4	得意脚質	+7
No.5	距離適性	+7
No.6	場適性	+7

FIG.10B

20

【図 11】

ソート条件	
評価点	因子
スキル数	名前
場適性	登録日
脚質適性	相性レベル
距離適性	メモ

FIG.11A

絞り込み条件		
基礎能力因子	因子レベル	継承元の有無
適性因子	因子レベル	継承元の有無
相性レベル	◎ ○ △	

FIG.11B

【図 12】

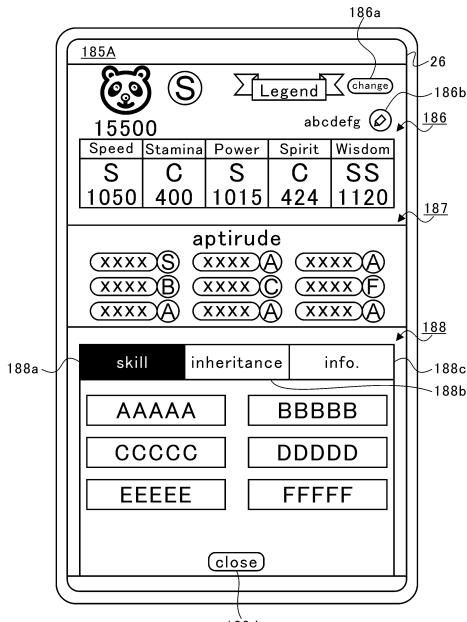


FIG.12

30

40

50

【図13】

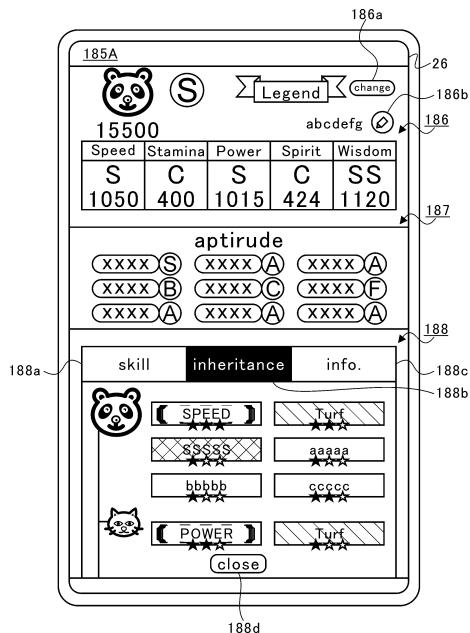


FIG.13

【図14】

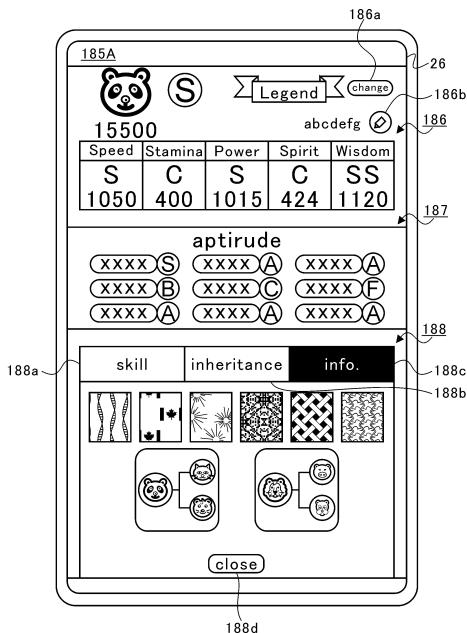


FIG.14

10

20

【図15】

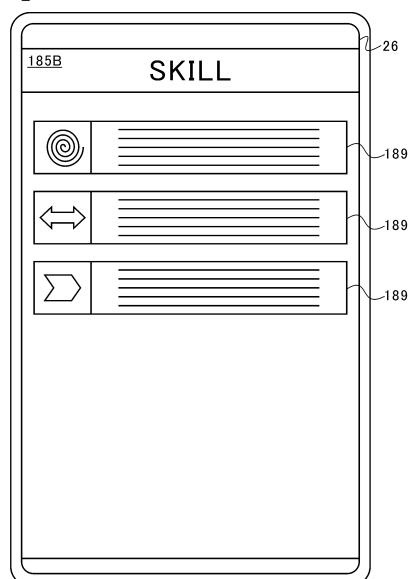


FIG.15

【図16】

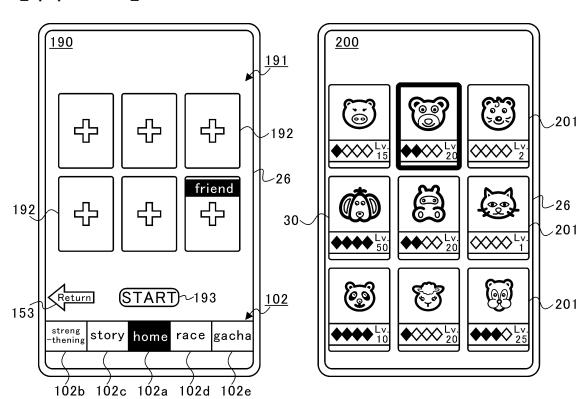
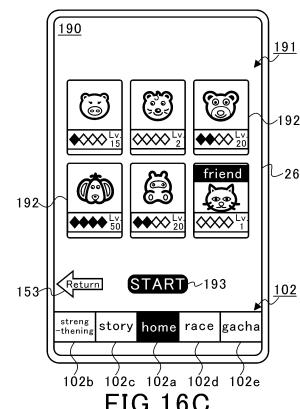


FIG.16A

30

FIG.16B



40

FIG.16C

50

【図17】

サポートカード種別	サポートキャラクタ (キャラクタID)	レアリティ	レベル	得意トレーニング
A1	A	SSR	50	スピード
A2	A	SR	45	スタミナ
A3	A	R	40	質
B1	B	SR	1	パワー
G	A,C,E,H,K	SSR	50	—

FIG.17A

サポートカード種別	サポート効果						
	対象a	対象b	対象c	対象d	対象e	対象f	対象g
A1	+60%		+40%		+30%	+2pt	
A2	+50%	+40%					
A3	+40%			+25%		+1pt	
B1	+10%				+5%		+1pt
G	+15%						+1pt

FIG.17B

サポートカード種別	所持スキル										
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
A1			○		○	○		○	○	○	○
A2			○			○		○			
A3				○			○				
B1					○	○			○	○	
G								○			

FIG.17C

サポートカード種別	サポートイベント										
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
A1			○			○			○	○	
A2			○		○	○					
A3				○							
B1		○			○	○					
G								○			

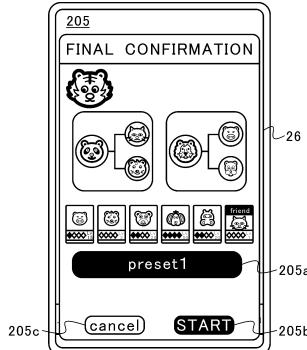
FIG.17D

【図19】

ターン数	選択項目					スキル獲得 ショップ利用 アイテム使用
	Rest	Training	Going Out	Race	Special Race	
第1ターン	○	○	○	X	X	
第2ターン	○	○	○	X	X	
第3ターン	○	○	○	X	X	
第4ターン	○	○	○	X	X	
第5ターン	○	○	○	X	X	
第6ターン	○	○	○	X	X	
第7ターン	○	○	○	X	X	
第8ターン	○	○	○	X	X	
第9ターン	○	○	○	X	X	
第10ターン	○	○	○	X	X	
第11ターン	○	○	○	X	X	
第12ターン	○	○	○	X	X	
第13ターン	○	○	○	O	X	
第14ターン	○	○	○	O	X	
第15ターン	○	○	○	O	X	
第16ターン	○	○	○	O	X	
第17ターン	○	○	○	O	X	
第18ターン	○	○	○	O	X	
第19ターン	○	○	○	O	X	
第20ターン	○	○	○	O	X	
第21ターン	○	○	○	O	X	
第22ターン	○	○	○	O	X	
第23ターン	○	○	○	O	X	
第24ターン	○	○	○	O	X	
第25ターン	○	○	○	O	X	
第26ターン	○	○	○	O	X	
第27ターン	○	○	○	O	X	
第28ターン	○	○	○	O	X	
第29ターン	○	○	○	O	X	
第30ターン	○	○	○	O	X	
第31ターン	○	○	○	O	X	
第32ターン	○	○	○	O	X	
第33ターン	○	○	○	O	X	
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	
第73ターン	○	○	○	X	X	
第74ターン	X	X	X	X	O	
第75ターン	○	○	○	X	X	
第76ターン	X	X	X	X	O	
第77ターン	○	○	○	X	X	
第78ターン	X	X	X	X	O	

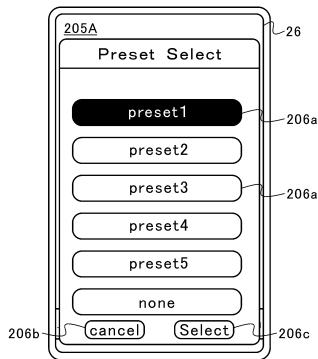
FIG.19

【図18】



10

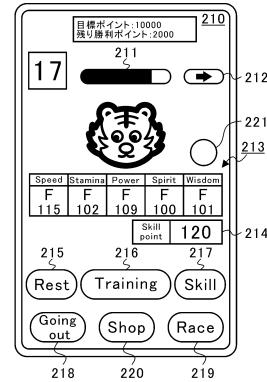
FIG.18A



20

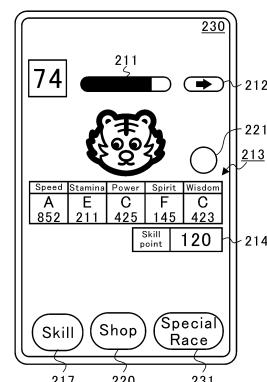
FIG.18B

【図20】



30

FIG.20A

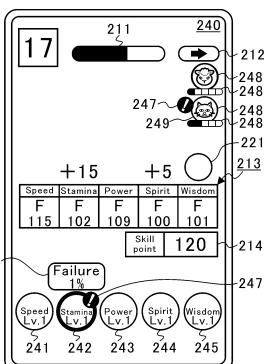
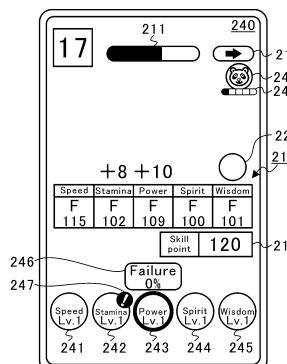


40

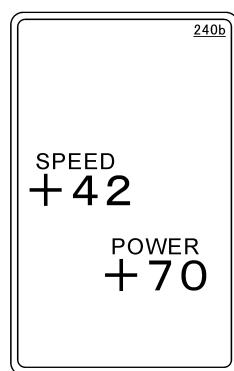
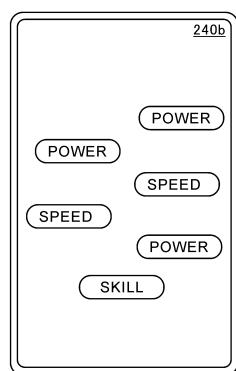
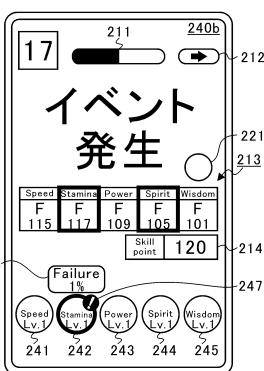
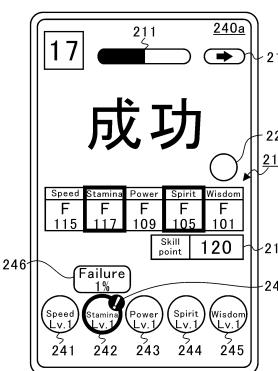
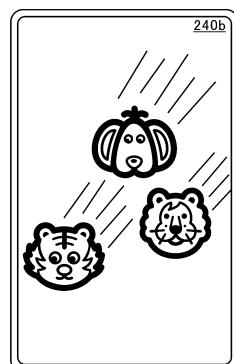
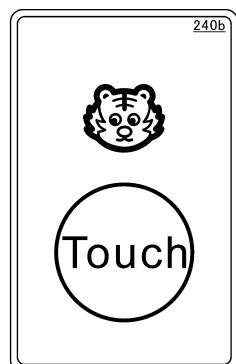
FIG.20B

50

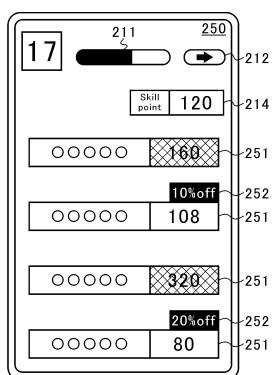
【図 2 1】



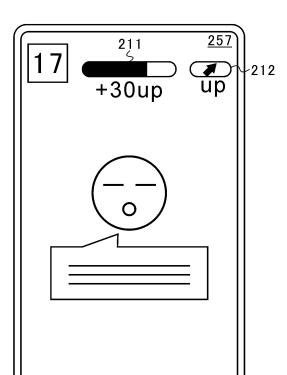
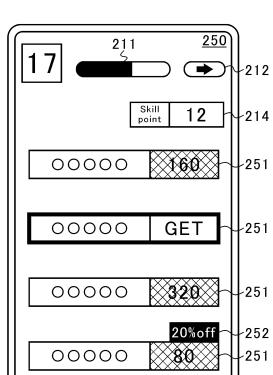
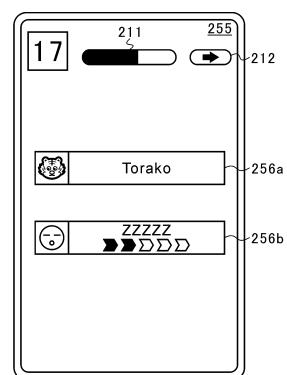
【図 2 2】



【図 2 3】



【図 2 4】



10

20

30

40

50

【図 25】

実行回数	実行パターン	効用(特典)	
		体力	調子
1回目	イベントNo.1	+30	+1
2回目	イベントNo.2	+37	+1
3回目	イベントNo.3	+35	+2
4回目	イベントNo.4	+35	+2
5回目	イベントNo.5	+30	+1
6回目～	イベントNo.6	+38	+2

FIG.25

【図 26】

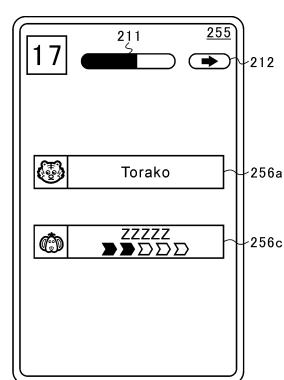


FIG.26A

10

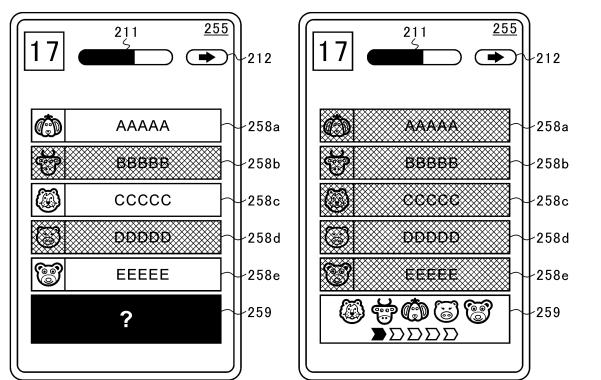


FIG.26B

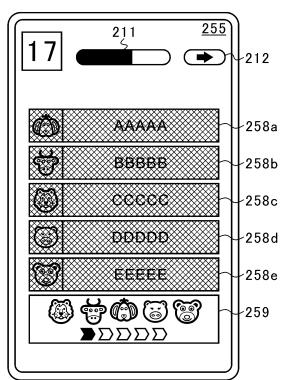


FIG.26C

20

【図 27】



FIG.27A

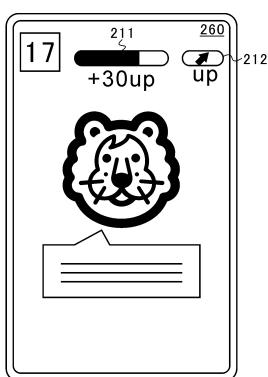


FIG.27B

【図 28】

選択キャラクタ	イベント	イベント出現キャラクタ	効用(特典)		
			体力	調子	スキル
A	イベントNo.11	A	+30	+1	—
C	イベントNo.12	C	+30	+1	—
E	イベントNo.13	E	+15	+2	—
H	イベントNo.14	H	+30	+1	—
K	イベントNo.15	K	+15	+2	—
ACEHK	イベントNo.16	ACEHK	+50	+2	○

FIG.28

30

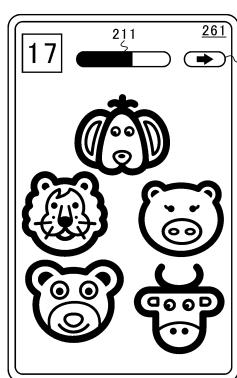


FIG.27C



FIG.27D

40

50

【図29】



FIG.29A

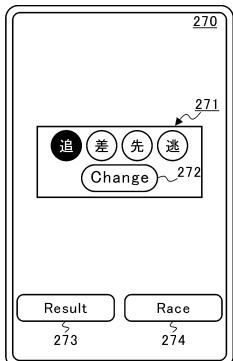


FIG.29B

【図30】

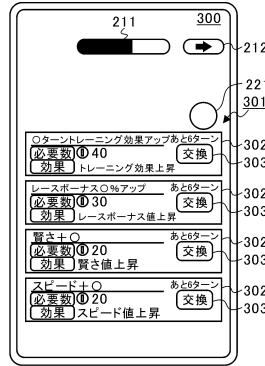


FIG.30

10



FIG.29C



FIG.29D

20

【図31】

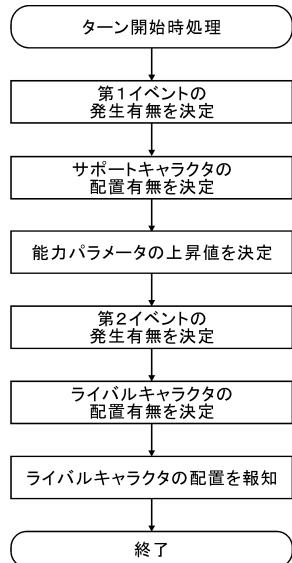


FIG.31

30

【図32】

キャラクタ 識別情報	トレーニング項目配置有無				
	配置する				配置 しない
スピード	スタミナ	パワー	根性	賢さ	
サポートキャラクタ	16%	16%	16%	16%	20%

FIG.32

40

50

【図33】

選択回数	トレーニングレベル				
	スピード	スタミナ	パワー	根性	賢さ
~3	Lv.1	Lv.1	Lv.1	Lv.1	Lv.1
4~7	Lv.2	Lv.2	Lv.2	Lv.2	Lv.2
8~11	Lv.3	Lv.3	Lv.3	Lv.3	Lv.3
12~15	Lv.4	Lv.4	Lv.4	Lv.4	Lv.4
16~	Lv.5	Lv.5	Lv.5	Lv.5	Lv.5

FIG.33A

トレーニング レベル	上昇固定値(スピード)				
	スピード	スタミナ	パワー	根性	賢さ
Lv.1	8	0	6	0	0
Lv.2	10	0	8	0	0
Lv.3	12	0	10	0	0
Lv.4	14	0	12	0	0
Lv.5	20	0	18	0	0

FIG.33B

トレーニング レベル	上昇固定値(パワー)				
	スピード	スタミナ	パワー	根性	賢さ
Lv.1	0	6	8	0	0
Lv.2	0	8	10	0	0
Lv.3	0	10	12	0	0
Lv.4	0	12	14	0	0
Lv.5	0	18	20	0	0

FIG.33C

サポートカード 種別	友情トレーニング 発生有無	ボーナス加算率	
		あり	10%UP
グループ	なし	なし	
その他	あり	20%UP	
その他	なし	なし	

FIG.33D

【図35】

グループサポート カードイベント分類	発生条件		効用
第1イベント	・抽選で当選		パラメータ 上昇
初期イベント	1	・初期イベントが発生していない ・グループサポートカードが配置されたトレーニングを実行	連続イベント が発生可能
	2	・初期イベントが発生していない ・初期イベント抽選で当選(0.1%)	
連続イベント	・初期イベントが発生済み ・連続イベント抽選で当選 (5%,10%,15%)		お出かけ 可能状態を 設定可能
お出かけイベント	1	・お出かけ可能状態 ・お出かけでキャラクタを選択	体力UP 調子UP
	2	・全ての所属キャラクタを選択済み	体力UP 調子UP スキル獲得
第2イベント	・連続イベントが発生済み ・グループサポートカードが配置されたトレーニングを実行 ・発生抽選で当選(40%)		パラメータ 上昇

FIG.35

【図34】

イベント種別	イベント発生有無				
	発生させる				発生 させない
イベントA	イベントB	イベントC	イベントD		
第2イベント	5%	5%	5%	5%	80%

FIG.34

10

20

30

40

【図36】

各種条件	効用
・お出かけ可能状態 ・グループサポートカードが配置されたトレーニングを実行 ・特典ゾーン発生抽選で当選(10%)	・特典ゾーン開始 ・バッドコンディション解消
・特典ゾーン中	・バッドコンディション にならない ・第2イベントの効果UP
・特典ゾーン中 ・グループサポートカードが配置されたトレーニングを実行	・友情トレーニング発生 ・特典演出の実行
・特典ゾーン発生後2~4ターンで 解除抽選に当選(50%) or ・特典ゾーン発生後5ターン経過	・特典ゾーン終了

FIG.36

50

【図37】

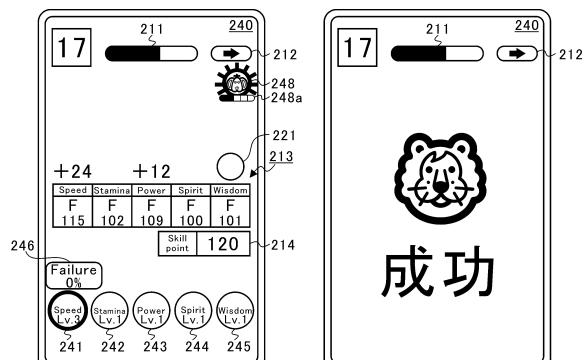


FIG.37A

FIG.37B

【図38】

キャラクタ 識別情報	難易度	配置有無	
		配置 する	配置 しない
ライバル キャラクタ	G I	60%	40%
	G II	50%	50%
	G III	40%	60%

FIG.38

10

【図39】

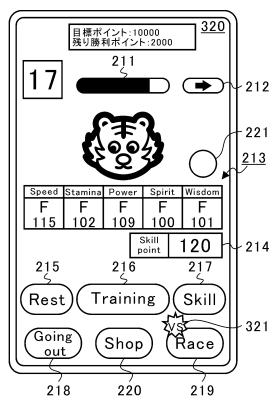
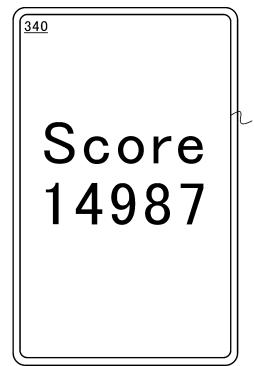


FIG.39A

【図40】



FIG.40A



20

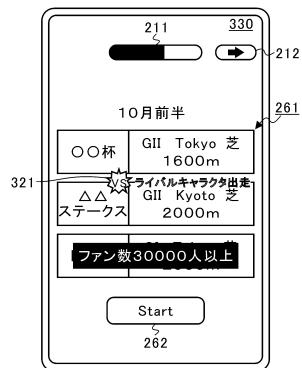


FIG.39B

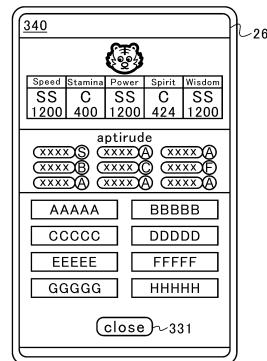


FIG.40C

30

40

50

【図 4 1】

キャラクタID	特効情報
A	○
B	○
C	○
D	○
E	○
F	—
G	—
R	—
S	—
T	—

FIG.41

【図 4 2】

キャラクタカードID	キャラクタID	所持情報
0001	A	○
0002	B	—
0003	C	○
0004	D	—
0005	E	—
0006	F	○
0007	G	○
0021	A	○
0022	B	—
0023	C	—
0024	C	—
0025	D	—

FIG.42

10

【図 4 3】

サポートカードID	キャラクタID	レアリティ	所持情報
0001	A	R	—
0002	B	R	—
0003	C	R	—
0004	D	R	—
0005	E	R	○
0006	F	R	○
0007	G	R	○
0051	A	SR	○
0052	B	SR	○
0053	C	SR	—
0054	D	SR	○
0055	E	SR	—
0101	A	SSR	—
0102	B	SSR	○
0103	C	SSR	—
0104	D	SSR	—
0105	E	SSR	—
0201	C,D,E	SSR	○

FIG.43

20

【図 4 4】

キャラクタカードID	キャラクタID	レベル				
		Lv.1	Lv.2	Lv.3	Lv.4	Lv.5
0001	A	10%up	10%up	10%up	10%up	10%up
0002	B	3%up	3%up	3%up	5%up	5%up
0003	C	3%up	3%up	3%up	5%up	5%up
0004	D	3%up	3%up	3%up	5%up	5%up
0005	E	3%up	3%up	3%up	5%up	5%up
0021	A	15%up	15%up	15%up	15%up	15%up
0022	B	10%up	11%up	12%up	13%up	15%up
0023	C	10%up	11%up	12%up	13%up	15%up
0024	C	10%up	11%up	12%up	13%up	15%up
0025	D	10%up	11%up	12%up	13%up	15%up

FIG.44

30

【図 4 5】

サポートカードID	キャラクタID	上限解放数				
		0	1	2	3	4
0001	A	5%up	5%up	5%up	10%up	10%up
0002	B	3%up	3%up	3%up	5%up	5%up
0003	C	3%up	3%up	3%up	5%up	5%up
0004	D	3%up	3%up	3%up	5%up	5%up
0005	E	3%up	3%up	3%up	5%up	5%up
0051	A	7%up	9%up	10%up	13%up	15%up
0052	B	7%up	9%up	10%up	13%up	15%up
0053	C	7%up	9%up	10%up	13%up	15%up
0054	D	7%up	9%up	10%up	13%up	15%up
0055	E	7%up	9%up	10%up	13%up	15%up
0101	A	17%up	19%up	21%up	23%up	25%up
0102	B	17%up	19%up	21%up	23%up	25%up
0103	C	17%up	19%up	21%up	23%up	25%up
0104	D	17%up	19%up	21%up	23%up	25%up
0105	E	17%up	19%up	21%up	23%up	25%up
0201	C,D,E	7%up	9%up	10%up	13%up	15%up

FIG.45

40

【図 4 6】

	特効キャラクタ				
	A	B	C	D	E
キャラクタカード	10%up 15%up	—	5%up	—	—
サポートカード	10%up 25%up	—	10%up	5%up	—
グループサポートカード	—	—	15%up	15%up	15%up
レンタルサポートカード	—	—	—	25%up	—
レンタルGサポートカード	—	—	—	—	—

FIG.46

50

【図47】

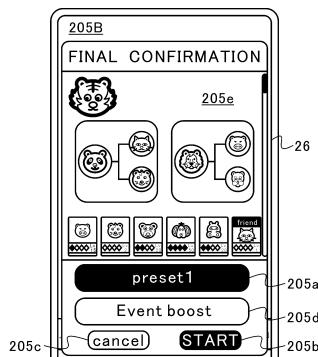


FIG.47A

【図48】

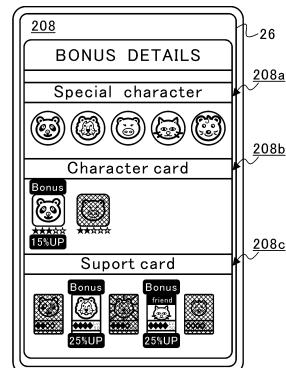


FIG.48

10

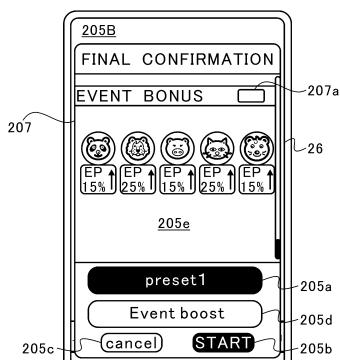


FIG.47B

20

【図49】

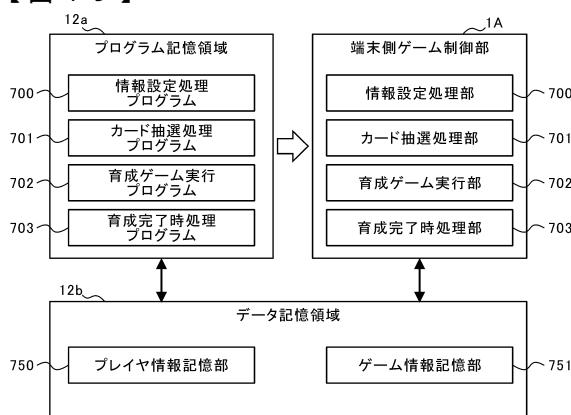


FIG.49

【図50】

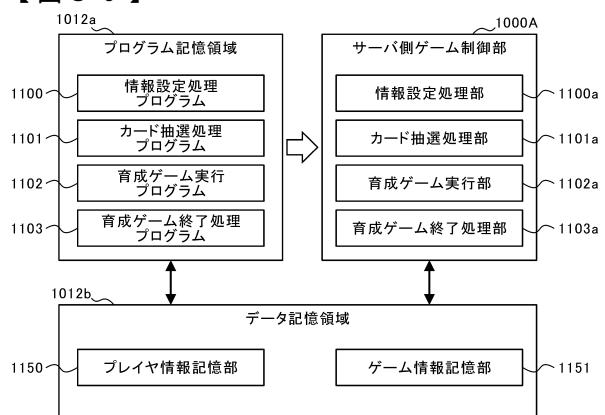


FIG.50

30

40

50

【図 5 1】

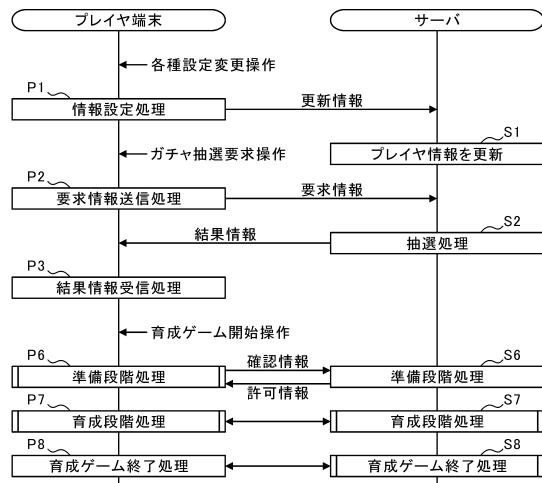


FIG.51

【図 5 2】

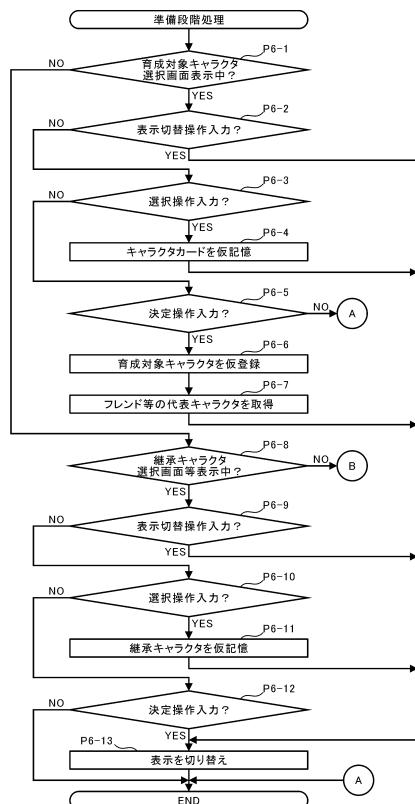


FIG.52

【図 5 3】

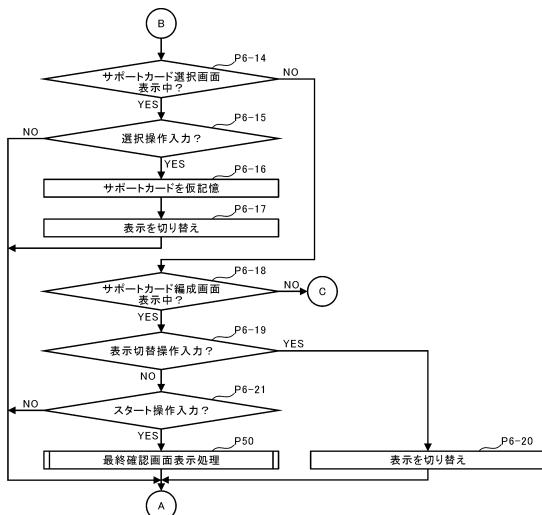


FIG.53

【図 5 4】

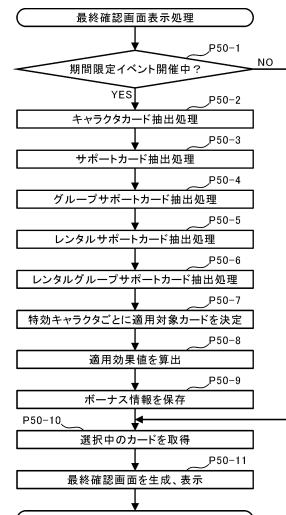


FIG.54

10

20

30

40

50

【図 5 5】

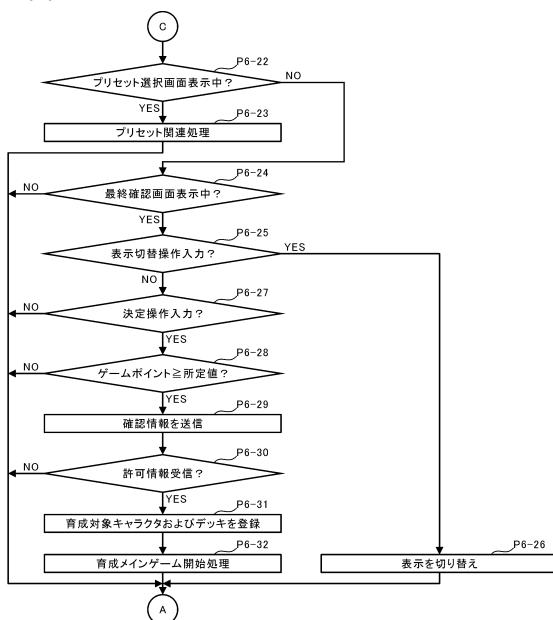


FIG.55

10

【図 5 6】

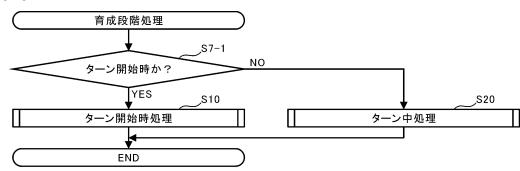


FIG.56

20

【図 5 7】

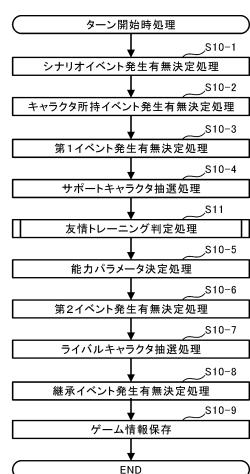


FIG.57

30

【図 5 8】

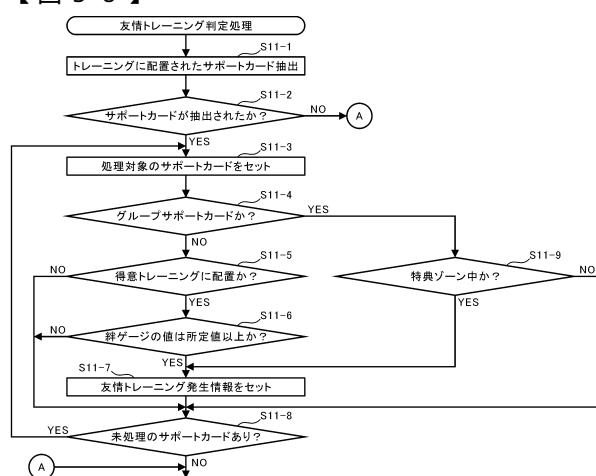


FIG.58

40

50

【図 59】

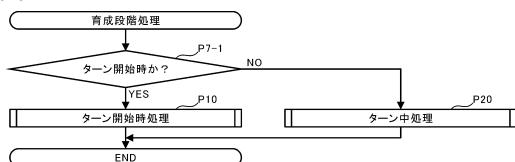


FIG.59

【図 60】

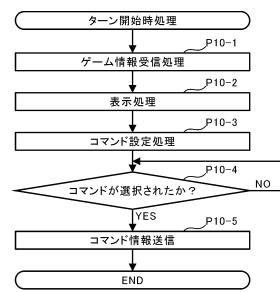


FIG.60

10

【図 61】

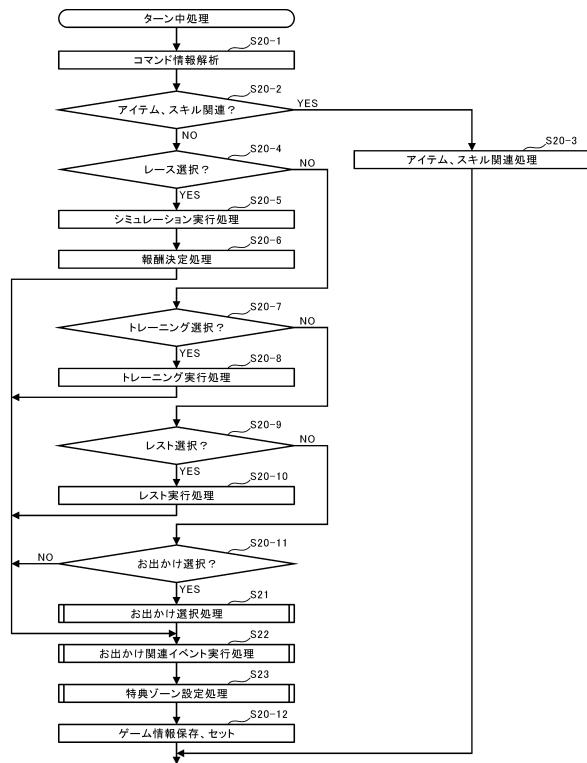


FIG.61

20

【図 62】

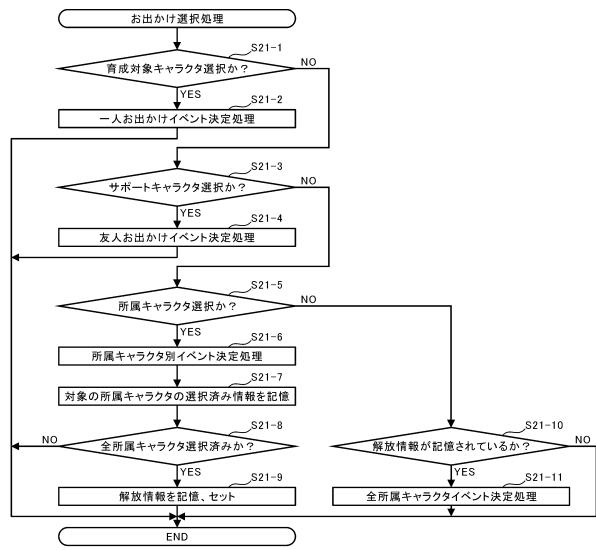


FIG.62

30

40

50

【図 6 3】

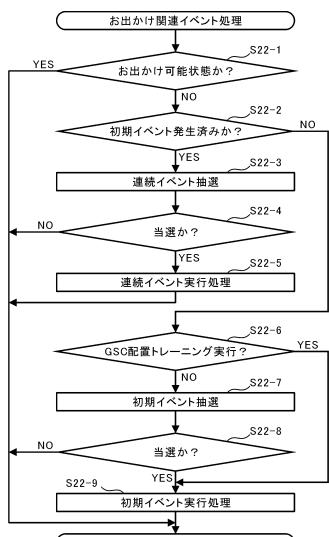


FIG.63

【図 6 4】

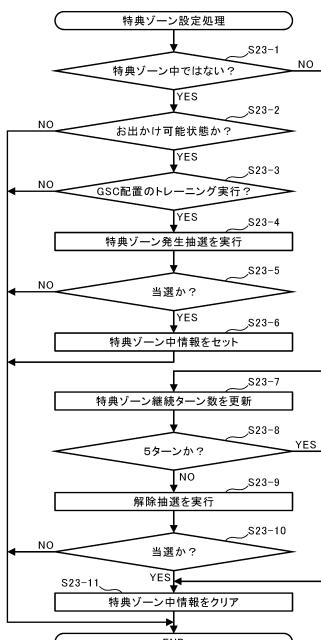


FIG.64

10

20

【図 6 5】

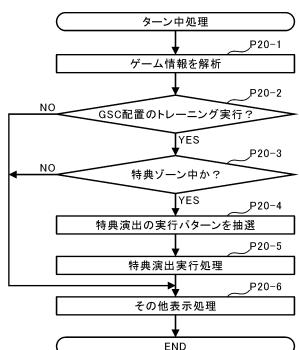
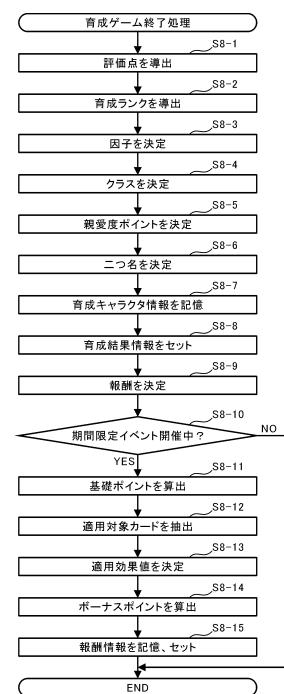


FIG.65

【図 6 6】



30

40

FIG.66

50

フロントページの続き

(56)参考文献 特開2021-041300 (JP, A)
 特開2020-174822 (JP, A)
 特開2017-006280 (JP, A)
 特開2020-025796 (JP, A)
 特開2018-064767 (JP, A)

(58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)
A63F 9/24
A63F 13/00 - 13/98